下田市地域防災計画

資料編

令和８年８月

下田市防災会議

目　　次

下田市における災害基礎資料等

基礎資料…… 1
気象注意報・警報の発表区域……4
気象等の予報及び警報の種類と発表基準…… 5
降水量……8
最大日降水量……9
降水日数……10
平均気温……11
過去、下田市にあった大雨降水量対比表……12
過去に伊豆に被害を及ぼした地震……13

第４次地震被害想定

第４次地震被害想定…… 15
気象庁震度階級関連解説表……53

南海トラフ地震臨時情報

南海トラフ地震に関する情報について…… 54
南海トラフ地震臨時情報の情報発表までの流れ…… 55
避難指示の種類……56

急傾斜崩壊危険区域

急傾斜地崩壊危険区域一覧表…… 57

道路・河川等

市道主要道路一覧表…… 59
市内河川名一覧表……62
主要道路中のトンネル一覧表…… 68

津波関係

過去の下田市を襲った津波……67
津波注意報、警報、地震及び津波情報の種類…… 70

ヘリポート

下田市指定防災ヘリポート……73
ヘリポートの具備すべき条件…… 74

無線情報等

静岡県デジタル防災通信システム　回線構成図…… 75
通信情報網図…… 76

緊急時における配備体制等

配備基準……77
令和８年度災害対策本部体制要員表……79
災害対策本部編成図……81
広報文例……82
広域避難地一覧表……84

同報無線及び行政無線

行政無線配置表……85
同時通報用無線配置表……85
下田市防災行政無線……86
下田市デジタル通信システム（防災無線）配備一覧表……87
下田市同時通報用無線・静岡県防災行政無線一覧表……92
行政無線配備車一覧表……93
緊急通行車両一覧表……94
下田市同時通報用無線子局設置場所一覧表……96

緊急時における給水関係

避難地応急給水計画……99
上下水道課　災害等における応急対策(復旧準備)及び復旧活動……100
応急給水活動フローチャート……101
水道施設一覧表……102
下水道施設一覧表……103
災害時協力井戸一覧表……105

標章関係

本部の掲示板・標章・腕章……108
水防信号及び標識……109

災害救助法関係

災害救助法適用基準……111
被害程度の認定基準……115
災害救助法費用限度額・災害救助内容の早見表……116
医療救護体制一覧表（要救護者の搬送体制）……121

災害時における避難所及び備蓄関係

指定緊急避難場所一覧……122
指定避難所一覧……125
広域避難場所等配備品一覧表……127
津波避難ビル一覧表……129
家庭で備える非常持出品……130
災害時に援助可能な給食施設一覧表……131

災害発生後７日間確保すべき１日あたりの水量..... 132
消防関係
消防組織編成図、消防の組織機構..... 133
下田消防本部職員及び車両配置状況..... 134
下田市消防団編成表..... 135
消防団詰所及び機械器具置場..... 136
下田市消防団火災発生地区別分団出動表..... 137
下田市消防団火災・災害動員表..... 138
下田市消防団車両一覧表..... 139
貯水槽一覧表..... 140
ガス事業者一覧表、類別危険物施設..... 142
消防法施行令..... 143

自主防災
主要防災資機材整備状況一覧表..... 146

海抜表示
海抜表示箇所数..... 150

緊急時における避難及び連絡先一覧表等
一般・地震災害時における防災関係機関一覧表..... 152
突発的災害に係る応急対策連絡先..... 154
令和８年度下田市防災会議委員名簿..... 155
市内建設業者一覧表..... 156
下田市指定給水装置工事事業者一覧表..... 157
下田市下水道排水設備等工事指定工事人..... 158
主たる広報内容と取材先、報道機関一覧表..... 160
観光客避難宿泊所一覧表（下田温泉旅館協同組合加盟）..... 161
下田海上保安部保有船舶一覧表..... 162
医療関係団体一覧表、医薬品等調達予定先一覧表..... 163
一般診療所等一覧表..... 164
病院一覧表、歯科診療所一覧表..... 166
学校・こども園・保育園一覧表..... 167
下田市内指定文化財一覧表..... 168
社会教育施設一覧表..... 171
広域受援計画（活動拠点）..... 172
要配慮者利用施設一覧表..... 173

協定・覚書等
相互応援..... 176
医療・救護・遺体措置..... 216
物資（食料、生活必需品等）・燃料・資機材等..... 259

輸送・運搬.....302
情報・通信.....315
復旧・復興、被災者支援.....338
避難場所・避難所等.....388
その他.....419

基 礎 資 料

1　自然環境

（1） 地　勢

下田市は、静岡県の東南部、伊豆半島の南部東側に位置し、東は相模灘、西は天城山系、南は太平洋と三方を自然に囲まれ、市域は東西13.00km、南北16.00km、面積は104.38㎢の広がりを持ち、海抜2.5m（市役所）となっている。

市域は、総面積のうち約76％が山林・原野、約10％が田畑・宅地と市域のほとんどが森林で占められており、平坦な土地は極めて限られている。

（2） 地形と地質

ア　地形の概要

下田市の地形は、大中小の起伏山地と河川沿岸流域に形成された谷底平野、須崎や白浜等の台地及び丘陵地に大きく区分される。

水系は、天城山系を源とする稲生沢川水系と大賀茂川水系に大別される。その他、丘陵地を源とする小河川が多数流れている。稲梓の山に源を発する稲生沢川（流路延長15.1km）は上流で二つに分かれているが、椎原で本流となり、当市の中心部を縦貫しながら南下し、下田湾に流出している。本流域の東側には、須崎半島とこれに連なる海岸線、西側には上流を大賀茂に発し吉佐美の浜に注ぐ小規模ながら格子状の流路をとっている大賀茂川（流路延長4.5km）と、更にその西側には田牛川（流路延長3.0km）及びこれに連なる海岸線によって占められている。

（ア） 主要な山

山　名	位　置	標　高	備　考
婆　娑　羅　山	加増野地内	608m	松崎町との境界点をなす
大　平　山	箕作地内	428m	
高　根　山	河内地内	343m	長田、原田地区に接する
万　蔵　山	中　地　内	200m	柿崎、原田地区に接する
下　田　富　士	本郷地内	192m	
相　の　山	広岡地内	252m	
三　倉　山	大賀茂地内	201m	
志　戸　山	吉佐美地内	201m	南伊豆町との境界点をなす

（イ） 主要な河川

河川の名称	流路延長	流域地名
稲　生　沢　川	15.1km	加増野、横川、相玉、箕作、須原、宇土金、落合、河内、立野、蓮台寺、本郷
大　賀　茂　川	4.5km	大賀茂、吉佐美
田　牛　川	3.0km	田牛

イ　地質（新南豆風土誌より）

大別すると、稲生沢を中心とする「湯ヶ島層群」と、大賀茂川流域を中心とする「南伊豆層群」及び、須崎半島から東海岸に連なる「白浜層群」の三層群に大別することができる。

（ア） 湯ヶ島層群

主に変朽安山岩、緑色凝灰岩等の緑色岩類で厚さ100m、須原、滑川、横川、椎原、相玉、箕作、大沢等の山地を形成し、稲生沢川に沿って河内、蓮台寺、本郷にまで露

出している。須原の北の山を作っている同層群は河津町湯ヶ野、大鍋に続くものであり、滑川の西方では松崎町中川に通ずる峠付近では沸石、方解石を含む変朽安山岩の露出が見られ石切場付近は、緑色凝灰岩、緑色凝灰岩角礫岩である。稲生沢川の合流点、椎原付近では、安山岩あるいは変朽安山岩となり、火山性礫岩が横川に分布し、緑色凝灰岩と断層で接しており横川温泉の湧出場所にはこの断層が見られる。この西側には緑色凝灰岩、東側には火山性礫岩が分布している。この断層が横川谷を作り、温泉を湧出させている。稲生沢川に沿って箕作、落合から南に変朽安山岩の露頭が続き、蓮台寺、河内付近では著しく熱水溶涎の作用を受け、黄鉄鉱染が見られ大沢、本郷の石切場を見ると、この一帯は緑色凝灰岩で形成していることが窺われる。

（イ） 南伊豆層群

下部は安山岩の溶岩、上部は白色の凝灰岩より成る厚さ50m。大賀茂川の流域では白色の石英粗面岩質凝灰岩が広く分布し、多々戸、大浜、吉佐美、大賀茂入口を結ぶ線で、火山角礫岩（南伊豆層群下部層）が見られる。この層は、吉佐美から南へ田牛を経て南伊豆町湊付近まで続いている。多々戸浜の東側では、砂質凝灰岩と凝灰角礫岩の互層（南伊豆層群中部層）で形成され、下田から吉佐美を経て日野に至る道路では、白色の石英粗面岩質凝灰岩の露出が見られる。また、下田から大賀茂を経て南伊豆町上賀茂に至る道路にも同質の凝灰岩が分布し、大賀茂トンネル付近で安山岩の岩脈により貫かれている。下田富士は複輝石安山岩でできているが、北麓は浮石質の凝灰岩、南麓では凝灰質砂岩が分布している。また、下田小学校裏には変朽安山岩の露出が見られ周囲には安山岩礫を含んだ凝灰岩が分布している。隣接する了仙寺の裏では偽層発達した砂質凝灰岩となり、が見られ、白浜層群原田層に覆われている。また、万蔵山北西麓（下田－原田間の旧道）にも同岩層が分布している。弁天島、柿崎神社付近には、凝灰質砂岩が分布しており、上の山部落には原田層の露頭が続いている。上の山から外浦までは変朽安山岩（湯ヶ島層群）が分布し、板見岬の西で板見層（白浜層群下部）に覆われている。板見岬では板見層基底部の緑色凝灰岩と石英粗面岩が同時に堆積し、これらが湯ヶ島層群を不整合に覆っている露頭が見られる。須崎半島全体を見ると、東側は湯ヶ島層群、西側が南伊豆層群に大別できるが、港周辺は安山岩地帯である。白浜海岸には板見層の上位にある原田層が分布し、西側の高根山麓で湯ヶ島層群を不整合に覆っている。また、下田から原田に通ずる旧道に沿っては、主に原田層が分布しているがこの間に４箇所も湯ヶ島層群が露出しているから、原田層堆積当時、湯ヶ島層群は北側に高地を作り、溺谷を形成していたと推定され、これを埋めるようにして原田層が堆積して行ったものと考えられる。また、板戸の海岸には、原田層の下位に安山岩質塊状溶岩が分布し、緑色凝灰角礫岩が露出して、浮石質凝灰岩で覆われているのが見られる。これの断層を見ることができる。

（ウ） 白浜層群

原田層	凝灰質岩石を主とし時に火山角礫岩をはさむ。一般に層理があり偽層著しく、化石を含む厚さ125m
板見層	変朽安山岩の溶岩をはさむ帯緑紫色の火山層岩を主とし貝化石を含む厚さ100m

下田市の東方地域は湯ヶ島層群、南伊豆層群、白浜層群が複雑に分布している。

赤間付近には柱状節理の斜長石英粗面岩が露出しているが、万蔵山の主部は加理石英粗面岩である。間戸ヶ浜には白色凝灰岩、凝灰角礫岩（南伊豆層群中部層）

ウ　気　候

下田市の気候は、近海を北上する黒潮の影響により年平均17℃程度と全般に温暖であり、降水量も年間1,900㎜を超える。

このように植物の成育に適した気候条件を有するため温帯系の広葉樹や針葉樹、亜熱帯系の植物も自生し、四季を通じて多様な草花や果実が成育しており自然の生産力に極めて恵まれた地域となっている。

過去の日最大風速は、1959年８月14日に観測された東の風48.8m/sが最も強く、最近10

年間の日最大風速は、2018年７月28日の33.0m/sで、これは東北東の風であった。
過去の最大瞬間風速で最も強かったのは、2004年10月９日に67.6m/sで、これも東北東の風であった。
降水量は、５～10月にかけて月間降水量が約200mm以上となることもあるが、冬期は少ない。

２　社会環境

（１）人　口

下田市の令和７年の人口は、19,016人、10,246世帯（令和７年度下田市統計書）である。

（２）老年人口

老年人口（65歳以上）は、8,447人（44.4%）であり、高齢化が急速に進展している状況にある。また、老年人口の内、75歳以上は5,096人であり、老齢人口の６割超（全体の26.8%）を占めている。

（３）人口密度

本市の面積は104.38㎢であり、人口密度は182.1人/㎢（＝1.8人/ha）である。本市の人口は近年減少傾向にあり、人口密度もそれに連動して減少している。（令和７年度下田市統計）

（４）土地利用面積

（令和７年度下田市統計書）

区　　分	総　数	宅　地	農耕地	山　林	原　野	その他
面　　積（㎢）	104.38	3.80	6.87	59.12	20.95	13.64
構 成 比（%）	100.00	3.7	6.6	56.7	20.0	13.0

（５）建　物

令和８年１月１日時点の本市内の建物棟数は、課税家屋総数約15,800棟（固定資産課税台帳データ）で、このうち約８割超が木造家屋となっている。

（６）道 路

本市内の道路は、国道３路線（135号、136号、414号）約26.7㎞、県道５路線約21.3km、市道703路線約233.8kmより形成され、総延長約281.9kmとなっている。（令和７年度下田市統計書）
市内で交通量の多い道路は、国道135号（柿崎3-15）10,941台/12h、国道414号（東中6-8）8,725台/12h、国道136号（吉佐美字白坂555-2）8,690台/12h（令和３年交通センサス）である。

（７）橋 梁

本市域の道路にかけられている橋梁は、202橋、1,796m（令和７年度下田市統計書）となっている。

（８）鉄 道

本市内には、伊豆急行線の伊豆急下田駅、蓮台寺駅、稲梓駅の３駅が設置されており、都市計画区域内には伊豆急下田駅と蓮台寺駅の２駅が立地している。
令和７年における伊豆急下田駅の乗降人員（定期利用分を除く）は、総数が870.6千人、乗車人員が364.4千人、降車人員が506.1千人（令和７年版新南伊豆のすがた）となっている。

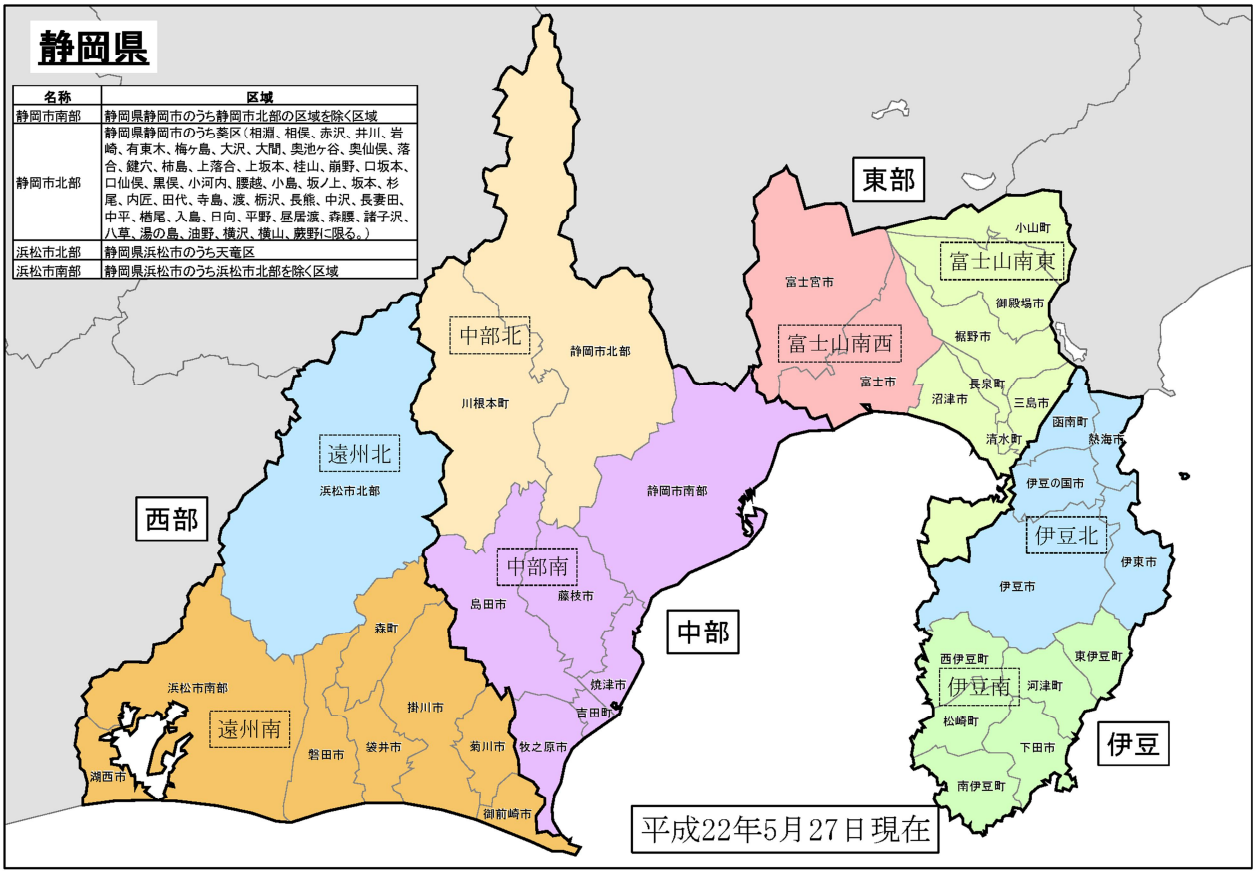
気象注意報･警報の発表区域

概　要

静岡地方気象台で発表する気象に関する注意報及び警報の発表区域が、伊豆南、伊豆北、富士山南東、富士山南西、中部南、中部北、遠州南、遠州北の８区域にて発表していたが、より効果的な防災活動に役立てる為区域を個別の市町を対象として発表することとした。

実施年月日：平成22年５月27日

静　岡　県：35の市町を対象区域（静岡市、浜松市は２区分）



細分の効果

梅雨前線などによる集中豪雨や、雷雲による大雨の場合、狭い範囲に集中して降ることがある。また、大雨の区域は時間とともに移動する。このように局地性の高い現象や、時間を追って警戒を要する区域が変化する現象に対しては、地域を限定して発表することにより、対象となる地域が明確になり、段階的な防災対応と早めの体制解除ができることとなる。

気象等の予報及び警報等の種類と発表基準

気象業務法に基づく、静岡県における気象等の予報及び警報等の種類及び発表基準は次のとおりである。

特別警報の指標及び危険警報・警報・注意報発表基準一覧表

令和8年5月28日現在
発表官署　静岡地方気象台

下田市	府県予報区	静岡県		
	一次細分区域	伊豆		
	市町村等をまとめた地域	伊豆南		
特別警報	レベル5大雨	表面雨量指数基準	別紙1－1のレベル5大雨特別警報の基準値以上となる1km格子がおおむね30個以上まとまって出現し、さらに激しい雨が降り続くと予想される場合	
		流域雨量指数基準	別紙1－2のレベル5大雨特別警報の基準値以上となる1km格子がおおむね20個以上まとまって出現し、さらに激しい雨が降り続くと予想される場合	
	レベル5土砂災害	60分雨量及び土壌雨量指数基準	別紙2－1の基準値以上となる1km格子がおおむね10個以上まとまって出現し、さらに激しい雨が降り続くと予想される場合	
	レベル5高潮	水位（高潮予報区間に限る）又は潮位	別紙4のレベル5高潮特別警報の基準値に到達することが予想される場合	
	暴風	中心気圧930hPa以下又は最大風速50m/s以上の台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹くと予想される場合		
	暴風雪	中心気圧930hPa以下又は最大風速50m/s以上の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合		
	大雪	府県程度の広がりをもって50年に一度の積雪深となり、かつ、その後も警報級の降雪が丸一日程度以上続くと予想される場合		
	波浪	中心気圧930hPa以下又は最大風速50m/s以上の台風や同程度の温帯低気圧により高波になると予想される場合		
危険警報	レベル4大雨	表面雨量指数基準	別紙1－3の対象格子において別紙1－1のレベル4大雨危険警報の基準値に到達することが予想される場合	
		流域雨量指数基準	別紙1－4の対象河川の格子において別紙1－2のレベル4大雨危険警報の基準値に到達することが予想される場合	
	レベル4土砂災害	60分雨量及び土壌雨量指数基準	別紙2－2のレベル4土砂災害危険警報の基準値に到達することが予想される場合（おおむね2時間先までに基準値に到達することが予想される場合に発表）	
	レベル4高潮	水位（高潮予報区間に限る）又は潮位	別紙4のレベル4高潮危険警報の基準値に到達することが予想される場合（基準値に到達することが予想される場合に、おおむね6時間前までに発表）	
警報	レベル3大雨	表面雨量指数基準	別紙1－1のレベル3大雨警報の基準値に到達することが予想される場合	
		流域雨量指数基準	別紙1－2のレベル3大雨警報の基準値に到達することが予想される場合	
		複合基準*1	別紙1－2のレベル3大雨警報の基準値に到達することが予想される場合	
	レベル3土砂災害	60分雨量及び土壌雨量指数基準	別紙2－2のレベル4土砂災害危険警報の基準値に到達することが予想される場合（おおむね3～6時間先に基準値に到達することが予想される場合に発表）	
	レベル3高潮	水位（高潮予報区間に限る）又は潮位	別紙4のレベル4高潮危険警報の基準値に到達することが予想される場合（基準値に到達することが予想される場合に、おおむね12時間前までに発表）	
	暴風	平均風速	陸上	20m/s
			海上	25m/s
	暴風雪	平均風速	陸上	20m/s　雪を伴う
			海上	25m/s　雪を伴う
	大雪	降雪の深さ	平地	12時間降雪の深さ10cm
			山地	12時間降雪の深さ20cm
	波浪	有義波高	6.0m	
注意報	レベル2大雨	表面雨量指数基準	別紙1－1のレベル2大雨注意報の基準値に到達することが予想される場合	
		流域雨量指数基準	別紙1－2のレベル2大雨注意報の基準値に到達することが予想される場合	
		複合基準*1	別紙1－2のレベル2大雨注意報の基準値に到達することが予想される場合	
	レベル2土砂災害	60分雨量及び土壌雨量指数基準	別紙2－3のレベル2土砂災害注意報の基準値に到達することが予想される場合	
	レベル2高潮	水位（高潮予報区間に限る）又は潮位	別紙4のレベル4高潮危険警報の基準値に到達することが予想される場合（基準値に到達することが予想される場合に、おおむね18時間前までに発表）	
	強風	平均風速	陸上	12m/s
			海上	15m/s
	風雪	平均風速	陸上	12m/s　雪を伴う
			海上	15m/s　雪を伴う
	大雪	降雪の深さ	平地	12時間降雪の深さ5cm
			山地	12時間降雪の深さ10cm
	波浪	有義波高	3.0m	
	雷	落雷等により被害が予想される場合		
	融雪			
	濃霧	視程	陸上	100m
			海上	500m
	乾燥	最小湿度30%で、実効湿度50%		
	なだれ	1.降雪の深さが30cm以上あった場合 2.積雪が40cm以上あって最高気温が15℃以上の場合		
	低温	冬期：最低気温-4℃以下		
	霜	早霜・晩霜期に最低気温4℃以下		
	着氷・着雪	著しい着氷（雪）が予想される場合		

2　特別警報発表基準一覧

現象の種類	発　表　基　準
氾　濫	台風や集中豪雨等により河川の氾濫の起こるおそれが著しく大きくなることが予想される場合
大　雨	台風や集中豪雨等により浸水害の起こるおそれが著しく大きい降雨量に相当する大雨が予想される場合
土砂災害	台風や集中豪雨等により土砂崩れの起こるおそれが著しく大きい降雨量に相当する大雨が予想される場合
暴　風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹くと予想される場合
高　潮	台風や温帯低気圧等に伴う海面の異常上昇により浸水害の起こるおそれが著しく大きくなることが予想される場合
波　浪	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合
大　雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合
津　波	高いところで３メートルを超える津波が予想される場合 （大津波警報を特別警報に位置づける）
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合 （噴火警報（居住地域）を特別警報に位置づける）
地　震 （地震動）	震度６弱以上の大きさの地震動が予想される場合 （緊急地震速報（震度６弱以上）を特別警報に位置づける）

3　気象等の注意報並び警報の発表・切り替え・解除

（1）　気象等の注意報・気象情報等の発表

静岡地方気象台が必要に応じて発表する。

（2）　気象等の注意報・警報の切り替え・解除

ア　注意報及び警報は、その種類にかかわらず、これらの新たな注意報、または警報が行われたときに切り替えられる。

イ　注意または警報は、必要がなくなった場合には、当該注意報または警報を解除する。

4　水防活動用の気象等の注意報・警報

水防活動の利用に適合する注意報及び警報は、大雨・高潮・洪水の注意報及び大雨・高潮・洪水の警報をもってこれに代える。

5　特定河川に対する洪水注意報・警報

水防法第10条及び気象業務法第14条の２により、天竜川下流、菊川、安倍川、狩野川及び大井川については、それぞれ国土交通省中部地方整備局の各担当工事事務所と静岡地方気象台共同で河川名を付し、洪水注意報・洪水警報・洪水情報を発表する。また、富士川洪水予報については、国土交通省関東地方整備局甲府工事事務所と甲府地方気象台及び静岡地方気象台共同で河川名を付し、洪水注意報・洪水警報・洪水情報を発表する。

6　水防警報等

水防警報等は、次の水防関係等において発表する。

ア　水防情報は、県防災対策（水防）本部長（土木部河川班）。

イ　水防法第10条の４により国土交通大臣が指定した河川〈第23節　水防計画〉の水防警報は国土交通大臣（沼津・甲府・静岡河川工事事務所・浜松工事事務所長）が行う。

ウ　知事が指定した河川の水防警報は県災害対策（水防）本部長（土木部河川班）、またはその指定に基づいて土木事務所長が行う。

7　火災気象情報

消防法第22条により、静岡地方気象台長は、火災の危険が大きいと認められる気象状況となったときは、その状況を知事に通報する。この通報を受けた知事は、直ちに市町村長に通報する。

8　通信途絶時の注意報、警報等伝達経路

障害等により通常の通信経路が途絶した場合は、あらかじめ定めた各機関の障害用ＦＡＸへ伝達する。このＦＡＸによる経路も途絶した場合は、状況により可能な範囲で県防災行政無線等の手段により伝達に努める。

降　　水　　量

（観測地点：石廊崎）

年度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
昭和50年	104.5	122.0	91.5	168.0	204.5	250.5	264.5	175.0	145.0	256.5	181.0	66.5	2029.5
51	13.0	146.0	240.0	99.5	273.0	340.0	338.0	188.5	165.2	252.0	143.0	51.0	2249.2
52	35.5	56.5	250.0	152.5	147.5	155.0	186.5	348.5	299.5	39.0	196.0	70.5	1937.0
53	65.0	38.0	141.5	151.5	160.0	259.5	138.5	102.0	86.5	206.0	70.5	70.0	1489.0
54	68.5	139.5	83.5	165.0	169.5	156.5	260.5	207.0	134.4	300.5	193.5	105.5	1983.9
55	197.0	26.0	155.0	249.5	289.5	293.0	187.5	147.5	125.5	309.0	130.5	85.0	2195.0
56	38.5	60.0	207.0	232.5	66.0	134.0	203.0	134.5	168.0	314.0	183.0	25.0	1765.5
57	94.0	101.0	106.0	153.5	140.5	187.0	351.0	472.0	584.5	115.0	199.5	44.5	2548.5
58	68.0	43.5	208.0	338.5	124.0	352.5	141.0	421.0	347.0	207.0	98.0	41.0	2389.5
59	27.5	82.0	108.0	73.5	99.0	395.0	37.0	73.0	115.5	24.5	34.0	47.5	1116.5
60	30.5	97.0	190.0	135.0	117.0	344.0	113.0	124.0	116.5	43.0	93.5	28.5	1432.0
61	31.5	18.5	176.5	166.0	309.5	120.0	211.5	87.5	152.5	81.5	77.0	111.0	1543.0
62	161.5	46.5	201.0	66.6	211.0	180.5	266.0	160.5	203.0	195.0	92.5	52.0	1836.1
63	43.0	31.0	132.5	146.5	157.5	333.5	141.0	451.0	317.5	116.0	47.0	1.5	1918.0
平成元年	115.0	247.5	169.0	166.0	136.0	517.0	186.5	215.5	164.5	187.5	173.0	45.0	2322.5
2	113.0	157.0	118.0	152.5	151.5	157.5	104.5	119.0	257.0	117.5	196.5	44.0	1688.0
3	71.5	96.5	214.5	161.5	160.5	205.0	116.0	134.0	320.0	462.0	136.5	76.0	2154.0
4	39.0	48.0	181.0	209.0	267.0	320.0	91.5	95.0	117.0	344.5	113.5	72.5	1898.0
5	120.5	127.0	117.0	145.0	101.5	338.5	491.0	127.0	294.5	182.5	203.0	110.0	2357.5
6	30.0	137.5	133.0	79.5	171.0	107.5	19.5	36.5	226.5	69.0	109.0	17.5	1136.5
7	41.0	48.0	176.0	217.5	338.5	239.5	155.5	0.5	81.5	143.5	95.0	21.5	1558.0
8	欠測	30.0	199.0	31.5	86.5	181.5	303.5	167.0	164.0	101.0	111.0	89.0	1464.0
9	18.0	64.5	90.5	218.0	195.0	226.0	264.5	29.0	93.5	29.0	84.0	76.5	1388.5
10	110.5	164.0	108.0	224.5	179.0	335.5	110.5	168.0	346.5	140.0	40.5	45.0	1972.0
11	21.5	46.0	209.0	146.0	198.0	169.0	299.0	154.0	95.0	161.5	96.0	18.0	1613.0
12	71.0	29.0	208.5	107.5	142.5	350.0	185.5	49.5	245.0	182.0	101.5	30.5	1702.5
13	欠測	75.5	131.5	122.5	121.0	148.5	7.5	149.0	206.5	258.5	115.5	71.5	1407.5
14	100.0	40.5	146.0	50.5	104.5	253.0	245.0	197.0	123.0	204.0	33.5	70.5	1567.5
15	153.0	90.0	153.0	87.0	179.5	121.5	195.5	381.0	70.5	87.5	415.5	25.5	1959.5
16	21.5	83.0	119.0	67.5	欠測	170.0	76.0	77.5	159.5	440.5	139.0	124.5	1478.0
17	欠測	65.5	欠測	140.5	104.5	279.0	189.5	250.5	78.0	173.0	243.5	5.0	1529.0
18	134.0	128.5	77.5	234.5	欠測	142.5	241.5	405.5	86.0	123.5	99.5	92.0	1765.0
19	53.0	73.5	92.5	106.5	221.0	101.0	455.5	16.5	241.0	218.0	16.5	欠測	1595.0
20	55.0	64.5	148.0	283.5	213.0	373.0	13.0	169.5	248.5	99.0	62.0	64.0	1793.0
21	177.5	108.5	128.0	134.0	131.5	246.0	221.5	115.5	40.0	208.5	126.0	90.0	1727.0
22	45.5	192.5	152.5	245.0	154.5	229.5	151.0	104.0	188.5	177.5	105.0	134.0	1879.5
23	1.5	187.0	55.5	125.0	258.0	205.5	124.5	76.0	152.0	194.5	136.0	40.5	1556.0
24	15.0	200.5	189.0	208.5	274.5	181.0	48.0	41.0	193.0	172.5	245.0	160.0	1928.0
25	45.5	121.0	71.0	235.5	88.0	217.5	70.0	63.0	122.0	218.0	153.5	58.0	1463.0
26	58.5	79.0	179.0	137.5	256.0	135.5	128.5	61.0	119.0	255.5	78.0	126.0	1613.5
27	107.5	81.0	217.0	102.5	72.0	279.0	532.5	163.5	307.0	70.0	208.5	94.0	2234.5
28	46.5	97.0	180.5	180.0	164.0	236.0	110.5	218.0	291.5	169.0	138.5	116.5	1948.0
29	32.0	70.5	111.5	161.5	130.5	194.0	16.0	76.5	177.5	458.5	169.0	32.5	1630.0
30	93.5	9.0	165.0	92.0	253.5	296.0	75.5	81.5	420.5	96.0	66.5	103.0	1752.0
令和元年	24.5	93.5	114.5	206.5	271.5	564.0	347.0	88.5	230.0	387.5	119.5	75.0	2522.0
2	88.0	120.0	236.0	106.5	123.5	259.0	686.0	51.5	154.0	182.5	38.5	39.5	2085.0
3	69.0	70.0	169.5	150.5	236.5	231.5	372.0	336.0	108.0	138.5	83.5	132.0	2097.0
4	39.0	79.0	134.0	280.5	220.0	321.0	331.5	295.0	185.5	81.5	111.0	47.0	2125.0
5	64.0	64.0	128.5	150.0	268.0	310.0	52.0	159.5	226.5	108.5	91.0	124.5	1746.5
6	45.5	158.0	254.5	234.5	220.0	471.5	157.5	205.0	112.5	191.5	112.5	11.5	2174.5
7	36.0	27.5	272.0	130.5	314.5	166.0	24.5	23.0	178.5	115.5	18.5	56.5	1363.0
平均	67.4	89.8	156.8	159.4	183.2	250.6	196.8	160.6	191.9	184.5	124.0	66.8	1816.2

※「欠測」がある年の合計は、「欠測」のある月を除いた合計
※各月の平均値は、欠測のある年を除いて求めた

（出典：気象庁　過去の気象データ検索）

最 大 日 降 水 量

（観測地点:石廊崎）

年度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	最大日降水量
昭和50年	33.5	65.0	30.0	60.0	54.5	82.0	91.5	53.5	56.0	75.0	68.0	29.5	91.5
51	9.0	47.0	69.0	28.0	84.0	112.0	257.5	63.5	41.0	94.5	67.0	16.0	257.5
52	12.0	18.5	94.5	42.5	59.5	42.0	96.5	113.0	98.5	13.0	74.0	22.0	113.0
53	13.5	18.5	55.0	27.5	54.5	102.0	59.5	58.0	26.0	56.5	31.0	30.0	102.0
54	34.0	42.5	25.0	54.5	92.0	58.0	79.5	67.5	42.0	61.5	41.5	42.0	92.0
55	69.0	13.5	36.5	74.0	98.0	72.0	41.0	44.5	47.0	127.5	45.5	37.0	127.5
56	15.0	33.0	81.0	46.0	17.0	49.0	54.5	56.0	79.5	214.0	78.0	7.0	214.0
57	60.0	36.5	32.0	63.0	52.0	76.5	130.0	158.5	177.0	36.0	40.0	14.5	177.0
58	15.5	14.5	39.0	105.0	70.0	87.0	75.0	186.5	52.5	35.5	39.0	19.5	186.5
59	6.0	42.5	31.0	27.0	51.0	110.0	21.5	29.0	38.0	6.5	14.0	14.5	110.0
60	19.0	53.0	84.5	27.5	41.5	101.0	38.5	40.5	62.0	12.5	26.0	12.5	101.0
61	21.5	9.0	61.0	37.5	85.5	40.5	65.0	44.5	52.5	27.5	43.5	24.5	85.5
62	63.0	16.5	45.5	25.0	67.0	55.0	69.0	64.0	38.5	48.5	33.5	20.0	69.0
63	9.5	16.5	22.0	37.5	43.0	58.0	94.5	90.5	115.5	37.0	20.5	1.0	115.5
平成元年	33.5	128.5	30.0	64.0	29.0	173.5	46.0	137.5	36.5	33.5	96.5	23.0	173.5
2	42.0	30.5	49.5	40.0	39.5	42.5	43.0	52.5	94.5	36.0	81.5	27.5	94.5
3	36.5	67.0	44.5	57.0	35.5	48.0	53.5	77.5	111.5	134.5	76.0	15.5	134.5
4	15.0	19.0	46.0	84.5	77.0	76.0	38.5	43.0	51.0	152.0	23.0	17.0	152.0
5	72.0	57.0	27.0	41.5	22.5	81.5	235.5	57.5	99.0	42.5	124.0	35.5	235.5
6	14.0	50.0	65.5	22.5	30.5	54.0	5.5	21.0	45.0	25.5	66.5	5.0	66.5
7	22.5	11.5	40.5	38.0	158.0	113.0	59.5	0.5	34.0	103.5	45.5	20.0	158.0
8	10.5	13.5	48.5	11.5	28.0	90.0	128.5	124.0	77.5	32.0	19.0	55.0	128.5
9	9.0	37.0	38.0	92.0	39.5	62.5	105.0	24.0	68.5	12.0	29.0	53.0	105.0
10	44.5	79.0	33.0	79.5	51.0	80.0	37.5	69.0	97.0	55.0	18.0	18.0	97.0
11	13.0	15.0	50.0	39.5	79.5	30.0	127.0	48.0	38.5	142.0	38.5	10.5	142.0
12	22.0	15.0	57.5	52.5	44.5	47.5	55.5	40.5	66.0	60.5	43.5	10.5	66.0
13	51.0	25.5	36.5	42.5	31.0	55.5	6.0	92.5	61.5	60.5	39.0	51.5	92.5
14	39.5	13.5	43.5	22.5	25.5	59.5	110.0	63.5	40.0	75.5	17.5	18.0	110.0
15	70.0	30.5	52.0	21.5	47.0	24.0	45.0	198.5	42.5	29.5	145.0	12.0	198.5
16	12.0	57.5	46.5	36.5	36.5	41.5	30.0	47.5	69.0	90.0	39.0	62.0	90.0
17	33.5	16.5	26.0	64.5	25.0	130.0	69.0	164.5	52.5	53.0	198.0	4.5	198.0
18	125.0	48.5	27.5	110.0	40.5	37.5	71.5	267.0	49.0	50.5	17.0	65.5	267.0
19	19.0	21.5	31.5	34.0	118.5	47.5	141.0	11.0	91.0	139.5	5.0	55.0	141.0
20	14.5	34.0	42.5	94.5	52.5	140.0	8.5	105.0	78.5	34.0	19.0	28.5	140.0
21	97.5	36.0	38.5	36.0	30.0	72.5	40.5	33.0	22.5	44.5	45.0	60.0	97.5
22	11.0	64.5	47.5	41.5	60.0	62.5	44.5	59.0	56.0	63.0	45.0	29.0	64.5
23	1.5	78.0	19.5	37.0	55.5	46.5	58.5	24.0	50.0	61.0	68.5	13.5	78.0
24	6.0	64.0	40.5	70.0	108.5	61.0	19.0	15.5	39.0	64.5	66.0	47.5	108.5
25	20.0	25.5	35.0	72.0	48.5	87.0	33.5	21.5	44.5	77.5	57.5	18.5	87.0
26	23.0	20.0	64.0	38.5	55.0	37.5	62.5	32.0	64.5	76.0	13.5	44.5	76.0
27	35.0	16.0	62.5	18.0	25.5	83.5	143.5	81.0	50.0	23.5	56.5	30.5	143.5
28	34.5	67.0	58.5	52.0	48.5	74.5	89.0	124.0	60.0	49.5	31.5	39.0	124.0
29	16.0	30.0	31.0	47.0	57.5	87.0	10.5	47.0	69.5	178.0	36.0	19.0	178.0
30	45.5	4.0	50.0	32.5	82.0	85.0	52.5	40.0	66.5	32.0	24.5	32.0	85.0
令和元年	19.5	31.5	28.5	51.0	95.5	127.5	97.0	47.0	166.5	180.0	29.0	15.5	180.0
2	26.0	26.0	55.0	54.5	36.5	52.5	193.5	35.5	30.0	61.0	16.0	22.5	193.5
3	31.5	60.0	48.0	41.0	63.5	85.0	214.0	79.5	29.0	50.5	35.0	64.0	214.0
4	22.5	47.0	44.0	54.0	84.0	113.5	89.5	82.5	39.0	29.0	24.0	14.5	113.5
5	45.5	23.0	28.0	47.0	76.0	78.0	27.5	46.5	48.5	41.0	61.5	40.5	78.0
6	33.0	23.0	69.0	49.5	53.5	202.0	60.0	89.5	43.5	48.0	51.0	3.0	202.0
7	31.0	14.0	113.5	43.0	78.5	45.5	12.0	20.5	150.5	43.0	7.0	22.5	150.5
平均	31.0	35.8	46.6	48.8	57.6	76.1	75.2	70.4	63.9	65.3	47.6	27.3	133.4

（出典:気象庁　過去の気象データ検索）

降　水　日　数

（観測地点:石廊崎）

年度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
昭和50年	7	8	7	13	11	14	10	14	10	17	8	7	126
51	3	10	11	13	16	18	11	10	13	12	7	6	130
52	4	4	13	10	8	16	7	13	10	7	12	7	111
53	11	5	9	11	10	12	5	13	8	12	7	8	111
54	4	7	10	12	6	10	11	13	11	11	14	7	116
55	11	4	11	12	11	12	12	9	9	11	7	5	114
56	5	7	14	11	9	9	11	10	12	10	12	5	115
57	5	8	12	11	8	13	14	14	13	11	12	6	127
58	6	6	13	14	10	13	7	4	19	14	8	5	119
59	6	5	9	8	6	17	6	4	10	9	6	7	93
60	3	5	13	11	10	13	5	9	7	8	8	4	96
61	3	3	10	10	11	9	13	7	10	8	5	11	100
62	9	9	10	7	10	10	10	7	15	11	6	7	111
63	8	6	16	8	11	16	8	13	14	8	4	1	113
平成元年	6	12	12	10	13	10	12	5	10	11	7	4	112
2	6	17	10	13	11	10	6	5	17	11	9	6	121
3	7	4	15	9	9	14	11	8	14	15	6	7	119
4	6	4	16	9	12	12	6	10	6	17	11	7	116
5	9	5	14	9	8	13	12	14	13	10	4	12	123
6	6	7	8	10	10	9	6	6	17	8	8	6	101
7	3	7	12	17	14	13	8	0	6	7	8	2	97
8	7	5	8	7	7	12	8	4	5	10	13	6	92
9	3	5	8	7	12	11	10	2	5	4	10	6	83
10	10	11	8	14	16	18	13	12	16	15	3	6	142
11	4	5	14	9	9	13	12	13	7	4	5	4	99
12	6	2	8	9	9	16	8	3	16	10	8	9	104
13	9	6	9	9	11	7	2	3	10	9	9	4	88
14	6	5	9	8	11	13	9	7	12	9	6	10	105
15	6	10	14	11	13	16	16	12	3	7	16	4	128
16	4	5	12	6	12	7	7	7	14	16	8	7	105
17	10	9	10	7	10	11	9	9	5	13	4	1	98
18	4	7	7	11	17	11	13	6	6	12	10	7	111
19	7	8	8	12	6	8	15	2	10	7	6	7	96
20	7	5	10	10	11	13	3	7	9	8	7	7	97
21	11	7	10	6	10	12	13	6	5	10	11	7	108
22	6	10	14	14	8	13	11	3	9	12	5	11	116
23	1	11	7	8	13	13	7	8	13	8	8	6	103
24	5	9	10	9	9	12	6	6	11	7	8	10	102
25	5	10	8	7	8	10	8	7	8	10	9	6	96
26	4	9	8	11	11	10	10	6	8	10	11	7	105
27	7	6	12	13	7	13	13	6	13	5	14	7	116
28	3	7	7	13	9	13	4	6	15	9	12	7	105
29	5	6	9	8	4	10	2	8	15	17	9	3	96
30	5	3	8	8	12	13	5	5	21	6	11	9	106
令和元年	2	8	11	14	12	16	19	8	8	12	9	12	131
2	9	12	10	6	10	14	17	4	19	10	6	5	122
3	6	3	11	8	14	11	9	16	14	9	7	7	115
4	5	5	14	14	13	10	13	14	12	8	9	6	123
5	7	7	11	7	12	10	4	12	14	11	6	8	109
6	6	13	15	16	13	12	8	12	8	13	8	3	127
7	3	4	12	10	16	11	5	2	6	11	4	5	89
平均	6	7	11	10	11	12	9	8	11	10	8	6	110

※1.0mm以上の降水があった日数

（出典:気象庁　過去の気象データ検索）

平　均　気　温

（観測地点:石廊崎）

年度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
昭和50年	7.3	7.1	9.4	14.3	18.1	20.8	24.2	25.7	24.7	18.9	15.0	9.6	16.3
51	7.6	9.4	10.6	13.8	17.7	21.0	23.4	24.8	22.6	18.6	13.7	9.7	16.1
52	6.2	6.8	10.9	14.9	17.7	20.7	24.5	24.7	24.0	19.8	16.9	12.4	16.6
53	7.9	6.4	10.0	14.1	17.9	22.0	25.9	27.1	23.5	18.9	14.7	11.5	16.7
54	9.6	10.3	10.9	14.1	17.7	22.1	23.7	25.9	24.0	20.4	15.8	12.3	17.2
55	7.8	6.4	10.2	13.8	18.1	21.9	23.5	23.5	22.8	19.2	15.4	9.2	16.0
56	5.9	7.1	10.2	14.6	17.7	20.7	24.6	25.3	22.1	18.4	13.0	10.3	15.8
57	8.0	7.3	11.0	14.2	19.6	20.6	21.8	25.2	22.1	18.7	15.8	11.3	16.3
58	8.3	7.2	9.8	15.2	18.6	20.2	23.5	26.0	23.1	18.8	13.8	9.0	16.1
59	6.1	5.0	7.4	12.3	16.6	20.8	25.0	26.5	22.7	18.5	14.7	10.1	15.5
60	6.3	8.1	10.2	14.5	18.3	20.1	24.8	26.2	23.3	19.0	14.9	9.4	16.3
61	6.3	6.2	9.9	14.3	17.1	20.2	23.4	25.4	23.5	17.9	14.5	11.7	15.9
62	8.6	8.5	10.7	14.5	18.6	21.0	25.1	26.4	23.4	19.7	15.1	11.4	16.9
63	9.8	6.8	9.9	14.7	17.7	21.0	22.4	25.6	23.5	18.6	13.0	9.9	16.1
平成元年	10.2	9.2	10.6	14.9	17.6	19.8	23.4	25.8	24.3	18.8	15.5	11.0	16.8
2	8.2	9.7	11.5	15.2	17.8	21.9	24.4	27.1	24.5	20.0	16.6	11.4	17.4
3	8.1	7.5	11.0	15.1	17.3	21.5	24.4	24.9	24.0	19.5	15.1	11.5	16.7
4	9.3	8.5	11.3	15.6	17.0	20.2	23.9	25.1	23.1	18.4	15.1	11.4	16.6
5	9.0	9.6	9.8	13.9	17.1	20.1	21.7	23.8	22.4	18.3	15.7	10.8	16.0
6	8.8	8.0	9.3	15.6	18.6	21.5	26.5	27.2	24.5	20.8	15.6	11.7	17.3
7	8.2	8.1	10.3	14.6	18.3	20.0	24.5	26.8	22.9	20.2	14.1	9.6	16.5
8	7.8	6.9	10.0	12.2	17.5	20.7	24.4	25.1	22.5	19.0	15.5	10.9	16.0
9	7.9	8.2	11.3	14.8	18.0	20.8	23.6	25.6	23.5	19.1	16.0	11.3	16.7
10	7.8	9.3	11.7	16.7	19.7	21.3	24.6	26.3	24.2	20.8	15.8	11.6	17.5
11	8.7	8.5	11.5	14.7	18.4	21.1	24.6	26.8	25.5	20.6	16.0	10.9	17.3
12	9.4	7.2	10.4	14.6	18.8	21.0	24.9	26.5	24.6	19.6	15.5	10.6	16.9
13	7.1	8.5	10.7	15.1	18.6	21.5	26.0	25.8	23.4	19.7	14.5	10.1	16.8
14	8.4	8.6	12.6	16.0	18.1	20.3	25.6	26.5	23.3	19.4	12.7	9.9	16.8
15	7.6	8.0	9.9	15.4	18.5	21.5	22.5	24.9	23.9	18.6	16.3	11.1	16.5
16	8.0	9.1	10.7	16.0	19.1	22.4	26.3	26.1	24.9	19.1	17.1	12.5	17.6
17	8.1	7.8	10.5	15.0	17.5	21.2	23.9	26.1	23.8	19.7	14.9	7.6	16.3
18	7.3	8.4	10.4	13.5	17.9	20.9	23.0	25.6	23.5	20.0	15.4	10.8	16.4
19	9.0	10.1	11.4	14.1	18.4	21.4	23.3	26.7	24.1	19.3	14.9	10.9	17.0
20	7.7	7.1	11.7	15.4	18.4	20.2	25.4	26.4	23.7	20.0	14.6	11.5	16.8
21	8.4	9.9	10.6	15.2	19.1	21.0	23.8	25.3	22.7	19.1	15.3	10.9	16.8
22	8.3	8.4	10.5	13.3	17.8	21.8	26.1	27.1	24.5	20.0	14.9	11.3	17.0
23	6.5	9.2	9.4	14.2	17.8	21.4	25.2	26.1	24.5	19.6	16.4	9.9	16.7
24	7.4	7.5	10.7	14.5	18.6	20.5	24.6	26.7	25.0	20.0	14.6	9.2	16.6
25	7.1	7.8	12.8	15.3	18.7	21.2	24.6	27.3	24.5	20.8	14.3	9.8	17.0
26	8.4	7.8	10.8	14.1	18.0	21.1	24.2	25.3	22.8	19.4	15.8	9.1	16.4
27	8.4	8.1	11.3	14.6	18.9	20.2	24.3	26.4	22.9	19.3	16.0	12.3	16.9
28	8.7	9.0	11.4	16.1	19.0	21.2	24.0	26.4	24.4	20.3	14.7	11.9	17.3
29	8.5	8.9	9.7	14.5	18.8	20.7	25.5	26.2	23.7	19.2	15.0	9.5	16.7
30	7.5	7.4	12.8	16.6	19.1	21.6	26.7	27.3	23.6	20.2	16.3	11.7	17.6
令和元年	9.0	10.0	12.0	14.4	19.1	21.6	23.9	27.2	25.4	21.2	15.9	12.3	17.7
2	10.4	10.4	12.4	14.4	19.1	22.5	24.0	27.7	24.8	19.1	16.7	11.0	17.7
3	8.6	10.4	13.6	15.2	18.7	21.9	25.3	26.5	23.4	20.0	15.6	10.9	17.5
4	7.6	7.5	12.6	15.8	18.7	21.8	25.8	26.6	25.0	19.2	17.1	10.3	17.3
5	8.6	9.6	13.9	16.3	18.8	22.1	25.9	27.8	26.3	20.1	16.4	11.7	18.1
6	10.1	10.3	11.3	16.9	19.0	22.2	26.9	28.3	26.5	22.1	16.6	110.8	26.8
7	9.0	7.8	12.0	15.6	18.7	23.7	27.1	27.8	25.9	20.3	15.3	11.9	17.9
平均	8.1	8.3	10.9	14.8	18.3	21.2	24.5	26.1	23.9	19.5	15.3	12.7	17.0

（出典:気象庁　過去の気象データ検索）

過去、下田市にあった大雨降水量対比表

昭和50年10月8日集中豪雨			昭和51年7月11日集中豪雨			平成3年9月10日伊豆半島南部の集中豪雨						
時間	降水量(mm)		時間	降水量(mm)		時間	降水量(mm)		降水量(mm)		降水量(mm)	
							下田土木事務所		須原（静大）		落合浄水場	
	石廊崎測候所	土木事務所雨量計		石廊崎測候所	土木事務所雨量計		時間雨量	総雨量	時間雨量	総雨量	時間雨量	総雨量
16時～18時	0.0	0.5	降り始めより3時まで	17.0	5.5	0～1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
18～19		0.0	3時～4時	0.5	0.0	1～2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
19～20	0.5	0.0	4～5	2.0	1.5	2～3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～21	0.0	0.0	5～6	16.5	14.0	3～4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
21～22	6.5	9.0	6～7	37.0	18.0	4～5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
22～23	1.5	5.0	7～8	15.5	28.0	5～6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
23～24	4.0	20.5	8～9	27.5	44.0	6～7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0～1	5.5	2.5	9～10	19.0	32.0	7～8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1～2	1.5	2.0	10～11	20.0	37.0	8～9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2～3	27.5	17.5	11～12	39.0	58.0	9～10	4.0	4.0	9.0	9.0	0.0	0.0
3～4	21.0	47.5	12～13	0.0	15.5	10～11	0.0	4.0	16.0	25.0	5.0	5.0
4～5	6.5	31.5	13～14	0.0	0.0	11～12	11.0	15.0	14.0	39.0	10.0	15.0
5～6	5.0	2.0	14～15	19.0	36.0	12～13	17.0	32.0	17.0	56.0	9.0	24.0
6～7	1.0	4.0	15～16	2.5	9.0	13～14	39.0	71.0	23.0	79.0	23.0	47.0
7～8	0.0	1.0	16～17	6.0	17.5	14～15	3.0	74.0	45.0	124.0	80.0	127.0
8～9	0.0	0.0	17～18	0.0	5.5	15～16	1.0	75.0	52.0	176.0	90.0	217.0
9～10	3.5	6.5	18～19	6.5	0.0	16～17	0.0	75.0	50.0	226.0	60.0	277.0
10～11	3.5	2.0	19～20	28.0	14.0	17～18	0.0	75.0	49.0	275.0	20.0	297.0
11～12		0.5	20～21	18.0	25.0	18～19	0.0	75.0	27.0	302.0	11.0	308.0
12～13			21～22	0.5	16.0	19～20	0.0	75.0	24.0	326.0	2.0	310.0
			22～23	0.0	15.0	20～21	0.0	75.0	49.0	375.0	2.0	312.0
			23～24	0.0	0.0	21～22	0.0	75.0	16.0	391.0	0.0	312.0
			0～1	0.0	1.5	22～23	0.0	75.0	1.0	392.0	1.0	313.0
			1～5	1.5	5.0	23～24	0.0	75.0	0.0	392.0	0.0	313.0
合計	87.5	152.0	合計	276.0	398.0	合計	75.0	75.0	392.0	392.0	313.0	313.0

過去に伊豆に被害を及ぼした地震

西暦年月日 和暦年月日	東　　経 北　　緯 震央地名	M 深さ(h)	被害等級 津波規模 県内最大震度	
684.11.29 天武13.10.14	134.0 32.5 南海・西海道	8.4	〔Ⅳ〕 3 Ⅳ	津波による被害が多少あったと推定される。
818 弘仁 9. 7	139.3 35.2 関東諸国	7.9	〔Ⅳ〕 1	県東境で多少の被害があったか。
841 承和 8	138.9 35.1 伊豆	7.0	〔Ⅱ〕 Ⅵ+	伊豆:里落完たからず。人あるいは傷き、あるいは圧没された。
878.11.1 元慶 2.9.29	139.3 35.5 関東諸国	7.4	〔Ⅱ〕 Ⅴ	相模・武蔵がとくに強かったという。県東境にも被害が推定される相模国分寺に被害。
887. 8.26 仁和 3. 7.30	135.3 33.0 五畿七道	8.6	〔Ⅳ〕 3 Ⅳ	津波による被害が多少あったと推定される。
1099. 2.22 康和 1. 1.24	135.5 33.0 南海道	8.4	〔Ⅳ〕 Ⅳ	津波による被害が多少あったと推定される。
1293. 5.27 正応 6. 4.13	鎌倉	7.1	〔Ⅱ〕	鎌倉で大被害。伊豆での被害の可能性あり。
1361. 8. 3 正平16. 6.24	135.0 33.0 畿内・土佐・阿波	8.4	〔Ⅳ〕 3 Ⅳ	津波による被害が多少あったか？
1498. 9.20 明応 7. 8.25	138.2 34.1 東海道	8.6	〔Ⅳ〕 3	伊豆・仁科郷海溢れて陸地に上ること18～19町。寺川以下の田園水没する。
1605. 2. 3 慶長 9.12.16	134.9 33.0 東海・南海・西海	7.9	〔Ⅳ〕 3 Ⅵ	仁科郷海溢れ陸を浸すこと12～13町。
1633. 3. 1 寛永10. 1.21	139.2 35.2 駿豆相	7.1	〔Ⅱ〕 1 Ⅴ	熱海に津波。家・田畑流失。箱根で岩くずれ道を塞ぐ。通行の人馬の死あり。
1648. 6.12 慶安 1. 4.22	139.2 35.2 小田原	7.1	〔Ⅰ〕 Ⅳ	県東境に微小被害推定される。
1703.12.31 元禄16.11.23	139.8 34.7 関東諸国	8.2	〔Ⅳ〕 3 Ⅳ～Ⅴ	箱根山崩。町宿大分崩死あり。番所半分潰れ、石垣棚崩倒。箱根－三島間少し損じ、三島は別条なし 伊豆東海岸に津波、死は380余（宇佐美）・163(須玖美)・27(下田)下田で潰・流失 332軒・半潰 160軒、破船81、川奈・熱海・竹麻・仁科・片浦に津波。
1707.10.28 宝永 4.10. 4	135.9 33.2 五畿七道	8.4	〔Ⅳ〕 4 Ⅵ	震度はⅤ以下。津波が各地を襲う下田で流失・皆潰 857軒、半潰55軒、死11人、破痛船53。
1729. 3. 8 享保14. 2. 9				伊豆で大地割れ、川筋に水涌く。 余震20日すぎまで小津波か？
1782. 8.23 天明 2. 7.15	139.2 35.2 武相	7.3	〔Ⅰ〕 1 Ⅳ～Ⅴ	田方郡でつよく、箱根で石垣崩れ小田原に津波。甲分の猿橋くずれる 伊豆北部に小被害の可能性あり。
1853. 3.11 嘉永 6. 2. 2	139.1 35.3 小田原	6.5	〔Ⅰ〕 Ⅳ	箱根で落石・山崩。関所破損。 御殿場で潰家１、修善寺・三島その他で損所ありという。

西暦年月日 和暦年月日	東　　経 北　　緯 震央地名	M 深さ(h)	被害等級 津波規模 県内最大震度	
1854.12.23 嘉永 7.11.4	137.8 34.0 東海・東山・南海	8.4	〔Ⅳ〕 3 Ⅶ	震度Ⅴ。下田以西の沿岸に津波。 下田計 875軒のうち 840流失・皆潰。 30半潰水入、無事は４軒のみ 人口 3,851人のうち死 122。
1891.10.28 明治24	136.6 35.6 愛知・岐阜	7.9	Ⅴ～Ⅵ	吉奈・湯ケ島＋15℃、湯ケ野＋５℃。 蓮台寺－ｘ℃、３～４日で復旧。
1923. 9. 1 大正12	139.3 35.2 関東南部	7.9	Ⅴ	熱海に津波（12ｍ)、網代で 7.2ｍ被害なし。下田で浸水
1923. 9.10 大正12	139.4 34.8 大島近海	5.8		稲取・下河津付近で道路破損等小被害。
1926. 8. 3 大正15	139.8 35.4 東京湾中部	6.2 35km		熱海で壁落数戸
1930. 3.22 昭和 5	139.1 34.8 伊東付近	5.8 20km		伊東で屋根瓦の落下、壁の亀裂あり。
1930.11.26 昭和 5	139.0 35.1 北伊豆	7.0 0～5km	Ⅵ	死259、傷566、住家全壊2,077、半壊5,424、焼失75。丹那断層を生じ、発光現象がみられた。伊東・大場・長岡・函南村間宮で火災。
1934. 3.21 昭和 9	138.9 34.8 天城山	5.5 0～10km	Ⅴ	湯ケ島－天城峠間で崖崩れ10余、墓石の転倒（湯ケ島・与市坂・白田・上河津)。半島の温泉に異常。
1935. 7.11 昭和10	138.4 35.0 静岡付近	6.3 10km	Ⅵ	蓮台寺温泉の水位が５日前から70cm上昇。震後急下降。８月５日までに262cm下降する。
1944.12. 7 昭和19	136.2 33.7 東海沖	8.0 0～30km	Ⅵ	下田で津波高さ 2.1ｍ
1946.12.21 昭和21	135.6 33.0 南海沖	8.1 30km		津波の高さ下田２ｍ、須崎１ｍ
1960. 5.23 昭和35	73.5W 38.0S チリ地震津波	8.5	0	下田で波高 1.8m
1974. 5. 9 昭和49	138°48′ 34°34′ 伊豆半島沖	6.9 10km	Ⅴ	死・不明38、傷102、家屋全壊134、半壊240、全焼５、山（がけ）くずれ101、中木・入間・石廊崎で被害大。断層を生ず。温泉の異常あり
1976. 8.18 昭和51	138°57′ 34°47′ 河津沖	5.4 0km	Ⅲ	河津町付近で家屋半壊３戸、一部破損61戸ここでの震度はⅤか。
1978. 1.14 昭和53	139°15′ 34°46′ 伊豆大島近海	7.0 0km	Ⅴ	河津町・東伊豆町を中心として被害あり。

第４次地震被害想定

１　第４次地震被害想定

○　地震によって、県下の各地でどのような現象が発生し、どの程度の被害を受けるかを定量的に試算した結果を示し、的確かつ効果的な防災対策の樹立に資するものである。

○　試算については、本県において、その発生の切迫性が指摘され、かつ、最大級の災害が想定される地震として、中央防災会議「東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会報告」などを踏まえ、駿河トラフ・南海トラフ沿いと相模トラフ沿いで発生するレベル１・２の地震・津波を対象とした。

区　　分	レベル１の地震・津波	レベル２の地震・津波
駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波	東海地震 東海・東南海地震 東海・東南海・南海地震	南海トラフ巨大地震（内閣府（2012））（※１）
相模トラフ沿いで発生する地震・津波	大正型関東地震	元禄型関東地震（※２）

※１　南海トラフ巨大地震（内閣府（2012））の断層モデルは、現時点での科学的知見に基づき検討されたものであり、今後の科学的知見の蓄積を踏まえて検証され、場合によっては修正される可能性があることに留意するものとする。

※２　相模トラフ沿いでは約200～400年間隔で海溝型（プレート境界型）の地震が発生しており、このうち元禄16年(1703年）元禄関東地震は大正12年(1923年）大正関東地震に比べ広い震源域を持つ既往最大の地震とされている。国から相模トラフ側でのあらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波が提示されるまでの間、当該地震を相模トラフ側のレベル２の地震・津波と位置付ける。

注）内閣府（2012）：南海トラフ巨大地震による津波高・浸水域等（第二次報告）及び被害想定（第一次報告）について（以下同じ）

○　なお、この試算値は、今後、適切かつ効果的な地震対策の推進、さらに県民の防災への自助・共助の努力を積み重ねることによって、大幅に減少させることができると考えられる。

２　駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生するレベル１の地震・津波（東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震）の被害想定の結果

（１）概　説

○　この試算は、駿河トラフから南海トラフの領域を震源域に、東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震が発生した場合を想定して行ったものである。

○　試算に当たっては、地質や地盤、海岸現況等の基本データを利用し、過去の地震被害例等を参考に数値計算を行い、地震動・液状化等の各種危険度の想定をしている。なお、強震断層モデルは、レベル１の地震とレベル２の地震との間で地震動の強さに本質的な差がないとの前提の下、暫定的にレベル２の地震と同じもの（内閣府（2012）の基本ケース）を使用している。津波断層モデルは、中央防災会議（2003）の東海・東南海・南海地震のモデルを使用している。

注）中央防災会議（2003）：「東南海、南海地震等に関する専門調査会」（第16回）報告書

○　これらの結果を基に、地震動・液状化、人工造成地、津波、山・崖崩れ及び延焼火災に起因する建物被害とともに、ブロック塀・石塀及び屋外落下物等の物的被害や人的被害の試算をしている。

○　また、地震予知がなく地震が発生した場合と警戒宣言が発せられた後地震が発生した場合について、それぞれ試算をしている。

（2） 建物等被害に係る想定結果 （単位：棟）

予知なく地震が発生した場合										
項　目	被害区分	下　田　市			賀茂地区			静岡県全体		
		冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕
地震動	全　壊	約30			約200			約171,000		
	半　壊	約400	約400	約400	約1,500	約1,500	約1,500	約165,000	約163,000	約156,000
液状化	全　壊	約40			約200			約1,800		
	半　壊	約100	約100	約100	約600	約600	約600	約6,400	約6,300	約6,100
人工造成地	全　壊	—			—			約17,000		
	半　壊	—	—	—	—	—	—	約51,000	約51,000	約51,000
津　波	全　壊	約100			約800			約2,400		
	半　壊	約700	約700	約700	約2,300	約2,300	約2,300	約4,900	約4,900	約4,900
山･崖崩れ	全　壊	約60			約300			約2,500		
	半　壊	約100	約100	約100	約600	約600	約600	約5,800	約5,800	約5,800
火　災	全　焼	—	—	—	—	—	約10	約22,000	約28,000	約66,000
建物棟数		14,387			45,007			1,418,505		
建物被害想定	全壊及び焼失	約230	約230	約230	約1,500	約1,500	約1,510	約217,000	約223,000	約260,000
	半　壊	約1,300	約1,300	約1,300	約5,000	約,5,000	約5,000	約233,000	約232,000	約224,000
建物被害率	全壊及び焼失	約2%	約2%	約2%	約3%	約3%	約3%	約15%	約16%	約18%
	半　壊	約9%	約9%	約9%	約11%	約11%	約11%	約16%	約16%	約16%

（単位：棟）

予知あり地震が発生した場合				
項　目	被害区分	下　田　市	賀茂地区	静岡県全体
地震動	全　壊	約30	約200	約171,000
	半　壊	約400	約1,500	約169,000
液状化	全　壊	約40	約200	約1,800
	半　壊	約100	約600	約6,500
人工造成地	全　壊	—	—	約17,000
	半　壊	—	—	約51,000
津　波	全　壊	約100	約800	約2,400
	半　壊	約700	約2,300	約5,000
山･崖崩れ	全　壊	約60	約300	約2,500
	半　壊	約100	約600	約5,800
火　災	全　焼	—	—	約2,500
建物棟数		14,387	45,007	1,418,505
建物被害想定	全壊及び焼失	約230	約1,500	約197,000
	半　壊	約1,300	約5,000	約237,000
建物被害率	全壊及び焼失	約2%	約3%	約14%
	半　壊	約9%	約11%	約17%

ブロック塀等転倒数	約 23,000件
屋外落下物が発生する建物数	約 47,000棟

「—」：被害わずか
注）・端数処理のため合計値が各数値の和に一致しない場合がある。
・全壊：災害の被害認定統一基準による自治体判定基準に基づく全壊
・半壊：災害の被害認定統一基準による自治体判定基準に基づく半壊

(3) 人的被害に係る想定結果 （単位：人）

予知なく地震が発生した場合											
項目		被害区分	下田市			賀茂地区			静岡県全体		
			冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕
建物倒壊（うち屋外収容物移動・転倒、屋内落物）		死者数	— (—)	— (—)	— (—)	約10 (—)	— (—)	— (—)	約5,500 (約700)	約2,700 (約500)	約4,300 (約500)
		重傷者	— (—)	約30 (—)	約10 (—)	約30 (約10)	約90 (—)	約30 (—)	約19,000 (約2,600)	約30,000 (約2,100)	約19,000 (約1,600)
		軽傷者	約70 (約10)	約200 (約10)	約80 (約10)	約300 (約30)	約400 (約20)	約260 (約10)	約49,000 (約9,700)	約52,000 (約7,800)	約42,000 (約7,600)
津波	早期避難率高＋呼びかけ	死者数	約50	—	—	約3,600	約1,100	約1,300	約7,400	約2,500	約3,200
		重傷者	—	—	—	約200	約80	約200	約400	約100	約200
		軽傷者	—	—	—	約500	約200	約100	約800	約300	約400
	早期避難率低	死者数	約300	約100	約200	約4,000	約2,500	約3,200	約9,000	約5,700	約7,300
		重傷者	約40	約20	約20	約300	約200	約230	約500	約400	約400
		軽傷者	約70	約40	約50	約600	約400	約460	約1,000	約700	約900
山・崖崩れ		死者数	—	—	—	約20	約10	約20	約200	約90	約200
		重傷者	—	—	—	約10	約10	—	約100	約60	約100
		軽傷者	—	—	—	約10	約10	—	約100	約60	約100
火災		死者数	—	—	—	—	—	—	約800	約500	約2,100
		重傷者	—	—	—	—	—	—	約600	約600	約1,400
		軽傷者	—	—	—	—	—	—	約1,200	約1,600	約3,700
ブロック塀の転倒屋外落下物		死者数	—	—	—	—	—	—	—	約10	約20
		重傷者	—	—	—	—	—	—	約10	約100	約200
		軽傷者	—	—	—	—	—	—	約10	約200	約400
死傷者数合計	早期避難率高＋呼びかけ	死者数	約50	—	—	約3,630	約1,110	約1,320	約14,000	約5,900	約9,900
		重傷者	—	約30	約10	約240	約180	約140	約20,000	約31,000	約21,000
		軽傷者	約70	約200	約80	約810	約610	約450	約51,000	約54,000	約47,000
	早期避難率低	死者数	約300	約100	約200	約4,030	約2,510	約3,220	約16,000	約9,000	約14,000
		重傷者	約40	約50	約40	約340	約300	約250	約20,000	約31,000	約21,000
		軽傷者	約140	約240	約100	約910	約810	約780	約51,000	約54,000	約47,000
自力脱出困難者数・要救助者数		地震動	—	—	—	約10	約10	約10	約32,000	約27,000	約29,000
		津波	約200	約500	約300	約860	約1,700	約1,080	約1,800	約3,600	約2,400

（単位：人）

予知あり地震が発生した場合											
項目		被害区分	下田市			賀茂地区			静岡県全体		
			冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕
建物倒壊（うち屋外収容物移動・転倒、屋内落物）		死者数	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	約1,600 (約100)	約800 (約100)	約1,200 (約100)
		重傷者	— (—)	約10 (—)	— (—)	約10 (—)	約30 (—)	— (—)	約5,300 (約600)	約 8,700	約5,500 (約400)
		軽傷者	約20 (—)	約50 (—)	約20 (—)	約80 (10)	約100 (—)	約70 (—)	約14,000 (約2,100)	約 15,000	約12,000 (約1,700)
津波	早期避難率高＋呼びかけ	死者数	約30	約10	約20	約500	約300	約400	約1,000	約700	約800
		重傷者	—	—	—	約40	約30	約20	約60	約40	約50
		軽傷者	約10	—	約10	約70	約50	約70	約100	約80	約100
	早期避難率低	死者数	約30	約10	約20	約500	約300	約400	約1,000	約700	約800
		重傷者	—	—	—	約40	約30	約20	約60	約40	約50
		軽傷者	約10	—	約10	約70	約50	約70	約100	約80	約100
山・崖崩れ		死者数	—	—	—	—	—	—	約30	約10	約20
		重傷者	—	—	—	—	—	—	約20	約10	約10
		軽傷者	—	—	—	—	—	約10	約20	約10	約10
火災		死者数	—	—	—	—	—	—	約30	約10	約20
		重傷者	—	—	—	—	—	—	約20	約50	約50
		軽傷者	—	—	—	—	—	—	約100	約100	約100
ブロック塀の転倒屋外落下物		死者数	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		重傷者	—	—	—	—	—	—	—	約10	約10
		軽傷者	—	—	—	—	—	—	—	約10	約20
死傷者数合計	早期避難率高＋呼びかけ	死者数	約30	約10	約20	約500	約300	約400	約2,700	約	約2,100
		重傷者	—	約10	約10	約50	約60	約50	約5,400	約	約5,600
		軽傷者	約30	約50	約10	約150	約150	約140	約14,000	約	約12,000
	早期避難率低	死者数	約30	約10	約20	約500	約300	約400	約2,700	約	約2,100
		重傷者	—	約10	約30	約50	約60	約50	約5,400	約	約5,600
		軽傷者	約30	約50	約30	約150	約150	約140	約14,000	約	約12,000
自力脱出困難者数・要救助者数		地震動	—	—	—	—	—	—	約9,100	約	約8,300
		津波	約20	約60	約30	約90	約190	約120	約200	約400	約300

「—」：被害わずか

注）・端数処理のため合計値が各数値の和に一致しない場合がある。

・倒　壊：建物が構造的に倒壊・崩壊した状態を指し、岡田・高井（1999）による建物破壊パターンチャートのＤ５以上相当。全壊に含まれる。

・重傷者：１ヶ月以上の治療を要する負傷者

・軽傷者：１ヶ月未満の治療を要する負傷者

※　夏・昼発災（予知なし）の場合、海水浴客の津波による死者数の増分は、約2,200人（早期避難率高＋呼びかけ）～約9,200人（早期避難率低）

※　予知あり時における発災時の津波からの避難行動は、早期避難率低と同じとした。

3　駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生するレベル２の地震・津波（南海トラフ巨大地震）の被害想定の結果

（1） 概 説

○ この試算は、東側を駿河湾における南海トラフのトラフ軸（富士川河口断層帯を含む）とし、南西側（日向灘側）を九州・パラオ海嶺の北側でフィリピン海プレートが厚くなる領域までを震源域に、マグニチュード９程度の地震が発生した場合を想定して行ったものである。

○ 試算に当たっては、地質や地盤、海岸現況等の基本データを利用し、中央防災会議（2011）等を参考に数値計算を行い、地震動・液状化等の各種危険度の想定をしている。

注）中央防災会議（2011）：「東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会報告」

○ これらの結果を基に、地震動・液状化、人工造成地及び山・崖崩れ及び延焼火災に起因する建物被害とともに、ブロック塀・石塀及び屋外落下物等の物的被害や人的被害の試算をしている。

○ また、地震予知がなく地震が発生した場合と警戒宣言が発せられた後地震が発生した場合について、それぞれ試算をしている。

※　地震動については、「基本ケース」、「陸側ケース」及び「東側ケース」で検討されているが、本資料編では、下田市において最も被害が大きくなる「東側ケース」を記載するものとする。

(2) 建物等被害に係る想定結果

【地震動：東側ケース、津波：ケース①】　（単位：棟）

予知なく地震が発生した場合										
項目	被害区分	下　田　市			賀茂地区			静岡県全体		
		冬・深	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕
地震動	全　壊	約90			約700			約191,000		
	半　壊	約600	約600	約600	約2,300	約2,300	約2,300	約178,000	約177,000	約168,000
液状化	全　壊	約40			約200			約1,800		
	半　壊	約90	約90	約90	約300	約300	約300	約5,900	約5,800	約5,600
人工造成地	全　壊	—			—			約17,000		
	半　壊	—	—	—	—	—	—	約50,000	約50,000	約50,000
津波	全　壊	約3,400			約9,700			約26,000		
	半　壊	約600	約600	約600	約1,700	約1,700	約1,700	約30,000	約29,000	約27,000
山崖崩れ	全　壊	約90			約400			約2,700		
	半　壊	約200	約200	約200	約800	約800	約800	約6,300	約6,300	約6,300
火災	全　焼	—	—	—	—	—	約10	約19,000	約24,000	約66,000
建物棟数		14,387			45,007			1,418,505		
建物被害想定	全壊及び焼　失	約3,620	約3,620	約3,620	約11,000	約11,000	約11,010	約257,000	約262,000	約304,000
	半　壊	約1,490	約1,490	約1,490	約5,100	約5,100	約5,100	約270,000	約268,000	約257,000
建物被害率	全壊及び焼　失	約25%	約25%	約25%	約24%	約24%	約25%	約18%	約18%	約21%
	半　壊	約10%	約10%	約10%	約11%	約11%	約11%	約19%	約19%	約18%

（単位：棟）

予知あり地震が発生した場合				
項　　目	被害区分	下　田　市	賀茂地区	静岡県全体
地震動	全　焼	約90	約700	約191,000
	半　壊	約600	約2,300	約181,000
液状化	全　壊	約40	約200	約1,800
	半　壊	約90	約300	約6,000
人工造成地	全　壊	―	―	約17,000
	半　壊	―	―	約50,000
津　波	全　壊	約3,400	約9,700	約26,000
	半　壊	約600	約1,700	約31,000
山･崖崩れ	全　壊	約90	約400	約2,700
	半　壊	約200	約800	約6,300
火　災	全　壊	―	―	約2,200
建物棟数		14,387	45,007	1,418,505
建物被害想定	全壊及び焼失	約3,620	約11,000	約240,000
	半　壊	約1,490	約5,100	約274,000
建物被害率	全壊及び焼失	約25%	約24%	約17%
	半　壊	約10%	約11%	約19%

ブロック塀等転倒数	約25,000件
屋外落下物が発生する建物数	約58,000棟

「―」：被害わずか
注）・端数処理のため合計値が各数値の和に一致しない場合がある。
・全壊：災害の被害認定統一基準による自治体判定基準に基づく全壊
・半壊：災害の被害認定統一基準による自治体判定基準に基づく半壊

（3） 人的被害に係る想定結果

【地震動：東側ケース、津波：ケース①】 （単位：人）

予知なく地震が発生した場合											
項目		被害区分	下田市			賀茂地区			静岡県全体		
			冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕
建物倒壊（うち屋外収容物移動・転倒、屋内落物）		死者数	約10 (—)	— (—)	— (—)	約30 (—)	約10 (—)	約20 (—)	約6,000 (約700)	約3,000 (約500)	約4,700 (約500)
		重傷者	約10 (—)	約100 (—)	約30 (—)	約90 (約10)	約300 (約10)	約120 (—)	約21,000 (約2,700)	約34,000 (約2,200)	約21,000 (約1,700)
		軽傷者	約200 (10)	約300 (10)	約200 (10)	約600 (約40)	約800 (約30)	約530 (約30)	約53,000 (約10,000)	約55,000 (約8,300)	約45,000 (約8,100)
津波	早期避難率高＋呼びかけ	死者数	約2,000	約500	約500	約12,000	約6,700	約7,800	約65,000	約31,000	約36,000
		重傷者	約10	—	—	約50	約20	約20	約2,300	約900	約1,100
		軽傷者	約10	—	—	約100	約30	約30	約4,500	約1,800	約2,100
	早期避難率低	死者数	約5,100	約2,900	約3,100	約17,000	約11,000	約13,000	約95,000	約62,000	約72,000
		重傷者	約40	約30	約30	約100	約70	約90	約4,000	約2,500	約2,900
		軽傷者	約70	約60	約60	約200	約100	約160	約7,700	約4,800	約5,500
山・崖崩れ		死者数	約10	—	約10	約30	約10	約20	約200	約100	約200
		重傷者	—	—	—	約20	約10	—	約200	約60	約100
		軽傷者	—	—	—	約20	約10	—	約200	約60	約100
火災		死者数	—	—	—	—	—	—	約600	約400	約1,600
		重傷者	—	—	—	—	—	—	約400	約500	約1,300
		軽傷者	—	—	—	—	—	—	約900	約1,300	約3,400
ブロック塀の転倒屋外落下物		死者数	—	—	—	—	—	—	—	約10	約20
		重傷者	—	—	—	—	—	—	約10	約100	約200
		軽傷者	—	—	—	—	—	—	約20	約200	約400
死傷者数合計	早期避難率高＋呼びかけ	死者数	約2,020	約500	約510	約12,060	約6,720	約7,840	約72,000	約34,000	約42,000
		重傷者	約20	約100	約40	約160	約330	約170	約23,000	約35,000	約24,000
		軽傷者	約210	約300	約200	約720	約840	約30	約58,000	約59,000	約51,000
	早期避難率低	死者数	約5,120	約2,900	約3,110	約17,060	約11,020	約13,040	約102,000	約65,000	約78,000
		重傷者	約50	約130	約70	約210	約380	約250	約25,000	約37,000	約26,000
		軽傷者	約270	約360	約200	約820	約910	約160	約62,000	約62,000	約55,000
自力脱出困難者数・要救助者数		地震動	約10	約10	約10	約80	約50	約60	約33,000	約29,000	約30,000
		津波	約500	約2,800	約1,300	約2,600	約7,700	約4,300	約23,000	約33,000	約26,000

（単位：人）

予知あり地震が発生した場合											
項目		被害区分	下田市			賀茂地区			静岡県全体		
			冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕
建物倒壊（うち屋外収容物移動・転倒、屋内落物）		死者数	— (—)	— (—)	— (—)	約10 (—)	— (—)	約10 (—)	約1,700 (約200)	約900 (約100)	約1,400 (約100)
		重傷者	— (—)	約30 (—)	約10 (—)	約20 (—)	約80 (—)	約30 (—)	約5,900 (約600)	約9,700 (約500)	約6,100 (約400)
		軽傷者	約40 (—)	約100 (—)	約50 (—)	約200 (約10)	約200 (約10)	約160 (—)	約15,000 (約2,200)	約16,000 (約1,800)	約13,000 (約1,800)
津波	早期避難率高＋呼びかけ	死者数	約600	約300	約400	約1,900	約1,300	約1,500	約11,000	約7,200	約8,300
		重傷者	—	—	—	約10	約10	—	約500	約300	約300
		軽傷者	約10	約10	約10	約30	約20	約10	約900	約600	約600
	早期避難率低	死者数	約600	約300	約400	約1,900	約1,300	約1,500	約11,000	約7,200	約8,300
		重傷者	—	—	—	約10	約10	—	約500	約300	約300
		軽傷者	約10	約10	約10	約30	約20	約10	約900	約600	約600
山・崖崩れ		死者数	—	—	—	—	—	—	約30	約10	約20
		重傷者	—	—	—	—	—	—	約20	約10	約10
		軽傷者	—	—	—	—	—	—	約20	約10	約10
火災		死者数	—	—	—	—	—	—	約40	約20	約30
		重傷者	—	—	—	—	—	—	約50	約50	約50
		軽傷者	—	—	—	—	—	—	約100	約100	約100
ブロック塀の転倒屋外落下物		死者数	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		重傷者	—	—	—	—	—	—	—	約10	約10
		軽傷者	—	—	—	—	—	—	—	約10	約20
死傷者数合計	早期避難率高＋呼びかけ	死者数	約600	約300	約400	約1,910	約1,300	約1,510	約13,000	約8,100	約9,700
		重傷者	—	約30	約10	約30	約90	約30	約6,400	約10,000	約6,500
		軽傷者	約50	約110	約60	約230	約220	約180	約16,000	約16,000	約14,000
	早期避難率低	死者数	約600	約300	約400	約1,910	約1,300	約1,510	約13,000	約8,100	約9,700
		重傷者	—	約30	約10	約30	約90	約30	約6,400	約10,000	約6,500
		軽傷者	約50	約110	約60	約230	約220	約180	約16,000	約16,000	約14,000
自力脱出困難者数・要救助者数		地震動	—	—	—	約20	約10	約10	約9,500	約8,400	約8,800
		津波	約60	約300	約200	約300	約870	510	約2,700	約3,800	約3,000

「—」：被害わずか

注）・端数処理のため合計値が各数値の和に一致しない場合がある。

・倒　壊：建物が構造的に倒壊・崩壊した状態を指し、岡田・高井（1999）による建物破壊パターンチャートのＤ５以上相当。全壊に含まれる。

・重傷者：１ヶ月以上の治療を要する負傷者

・軽傷者：１ヶ月未満の治療を要する負傷者

※　夏・昼発災の場合、海水浴客の津波による死者数の増分は、約13,000人（早期避難率高＋呼びかけ）～約30,000人（早期避難率低）

4　相模トラフ沿いで発生するレベル１の地震・津波（大正型関東地震）の被害想定の結果

（1）　概説

○　この試算は、南関東地域直下の地震のうち、本県に最も大きな影響が想定される元禄型関東地震が発生した場合を想定して行ったものである。

○　試算に当たっては、地質や地盤、海岸現況等の基本データを利用し、過去の地震被害例等を参考に数値計算を行い、地震動・液状化危険度及び津波高の想定をしている。

○　これらの結果を基に、地震動・液状化、人工造成地、津波、山・崖崩れ及び延焼火災に起因する建物被害とともに、ブロック塀・石塀及び屋外落下物等の物的被害や人的被害の試算をしている。

（2）　建物等被害に係る想定結果

（単位：棟）

予知なく地震が発生した場合										
項　目	被害区分	下　田　市			賀茂地区			静岡県全体		
		冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕
地震動	全　壊	—			—			約10,000		
	半　壊	約10	約10	約10	約100	約100	約100	約27,000	約27,000	約26,000
液状化	全　壊	約40			約100			約800		
	半　壊	約90	約90	約90	約400	約400	約400	約3,100	約3,100	約3,100
人工造成地	全　壊	—			—			約40		
	半　壊	—	—	—	—	—	—	約100	約100	約100
津　波	全　壊	約40			約60			約900		
	半　壊	約300	約300	約300	約400	約400	約400	約2,300	約2,300	約2,300
山･崖崩れ	全　壊	約10			約30			約500		
	半　壊	約30	約30	約30	約60	約60	約60	約1,100	約1,100	約1,100
火　災	全　焼	—	—	—	—	—	—	約200	約300	約1,600
建物棟数		14,387			45,007			1,418,505		
建物被害想定	全壊及び焼失	約90	約90	約90	約190	約190	約190	約13,000	約13,000	約14,000
	半　壊	約430	約430	約430	約960	約960	約960	約33,000	約33,000	約33,000
建物被害率	全壊及び焼失	約1%	約1%	約1%	約2%	約2%	約2%	約1%	約1%	約1%
	半　壊	約3%	約3%	約3%	約2%	約2%	約2%	約2%	約2%	約2%

ブロック塀等転倒数	約 2,500件
屋外落下物が発生する建物数	約 1,900棟

「—」：被害わずか

注）・端数処理のため合計値が各数値の和に一致しない場合がある。
　　・全壊：災害の被害認定統一基準による自治体判定基準に基づく全壊
　　・半壊：災害の被害認定統一基準による自治体判定基準に基づく半壊

（３） 人的被害に係る想定結果 （単位:人）

予知あり地震が発生した場合											
項目		被害区分	下田市			賀茂地区			静岡県全体		
			冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕
建物倒壊（うち屋外収容物移動・転倒、屋内落物）		死者数	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	約100 (約40)	約50 (約20)	約90 (約30)
		重傷者	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	約1,100 (約200)	約1,400 (約100)	約1,000 (約100)
		軽傷者	— (—)	約40 (—)	約10 (—)	約30 (約10)	約100 (約10)	約30 (—)	約5,100 (約800)	約4,600 (約700)	約4,200 (約600)
津波	早期避難率高＋呼びかけ	死者数	約10	—	—	約40	約10	約20	約2,300	約600	約900
		重傷者	—	—	—	—	—	—	約100	約50	約70
		軽傷者	—	—	—	約10	—	—	約200	約50	約100
	早期避難率低	死者数	約80	約40	約60	約100	約70	約100	約2,900	約1,700	約2,400
		重傷者	約10	—	約10	約10	約10	約10	約200	約100	約200
		軽傷者	約20	約10	約10	約30	約10	約20	約400	約300	約400
山・崖崩れ		死者数	—	—	—	—	—	—	約40	約20	約30
		重傷者	—	—	—	—	—	—	約30	約10	約20
		軽傷者	—	—	—	—	—	—	約30	約10	約20
火災		死者数	—	—	—	—	—	—	—	—	約10
		重傷者	—	—	—	—	—	—	—	約10	約30
		軽傷者	—	—	—	—	—	—	約10	約10	約70
ブロック塀の転倒屋外落下物		死者数	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		重傷者	—	—	—	—	—	—	—	約20	約30
		軽傷者	—	—	—	—	—	—	—	約20	約50
死傷者数合計	早期避難率高＋呼びかけ	死者数	約10	—	—	約40	約10	約20	約2,500	約700	約1,000
		重傷者	—	—	—	—	—	—	約1,200	約1,500	約1,200
		軽傷者	—	約40	約10	約40	約100	約40	約5,400	約4,700	約4,500
	早期避難率低	死者数	約80	約40	約60	約100	約70	約100	約3,000	約1,800	約2,500
		重傷者	約10	—	約10	約10	約10	約10	約1,300	約1,600	約1,300
		軽傷者	約20	約50	約20	約60	約110	約50	約5,600	約4,900	約4,700
自力脱出困難者数・要救助者数		地震動	—	—	—	—	—	—	約600	約400	約500
		津波	約60	約200	約100	約80	約270	約140	約900	約1,800	約1,200

「—」：被害わずか

注）・端数処理のため合計値が各数値の和に一致しない場合がある。

・倒　壊：建物が構造的に倒壊・崩壊した状態を指し、岡田・高井（1999）による建物破壊パターンチャートのＤ５以上相当。全壊に含まれる。

・重傷者：１ヶ月以上の治療を要する負傷者

・軽傷者：１ヶ月未満の治療を要する負傷者

※　夏・昼発災の場合、海水浴客の津波による死者数の増分は、約1,600人（早期避難率高＋呼びかけ）～約4,600人（早期避難率低）

5　相模トラフ沿いで発生するレベル２の地震・津波（元禄型関東地震）の被害想定の結果

（1） 概　説

○　この試算は、南関東地域直下の地震のうち、本県に最も大きな影響が想定される元禄型関東地震が発生した場合を想定して行ったものである。

○　試算に当たっては、地質や地盤、海岸現況等の基本データを利用し、過去の地震被害例等を参考に数値計算を行い、地震動・液状化危険度及び津波高の想定をしている。

○　これらの結果を基に、地震動・液状化、人工造成地、津波、山・崖崩れ及び延焼火災に起因する建物被害とともに、ブロック塀・石塀及び屋外落下物等の物的被害や人的被害の試算をしている。

(2) 建物等被害に係る想定結果

（単位:棟）

予知なく地震が発生した場合										
項　目	被害区分	下　田　市			賀茂地区			静岡県全体		
		冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕
地震動	全　壊	—			約10			約19,000		
	半　壊	約20	約20	約20	約200	約200	約200	約40,000	約39,000	約39,000
液状化	全　壊	約40			約200			約1,000		
	半　壊	約100	約100	約100	約500	約500	約500	約3,700	約3,700	約3,700
人工造成地	全　壊	—			—			約80		
	半　壊	—	—	—	—	—	—	約300	約300	約300
津　波	全　壊	約300			約600			約2,400		
	半　壊	約1,200	約1,200	約1,200	約1,900	約1,900	約1,900	約6,300	約6,300	約6,200
山･崖崩れ	全　壊	—			約30			約600		
	半　壊	約10	約10	約10	約80	約80	約80	約1,400	約1,400	約1,400
火　災	全　焼	—	—	—	—	—	—	約400	約600	約3,700
建物棟数		14,387			45,007			1,418,505		
建物被害想定	全壊及び焼失	約340	約340	約340	約840	約840	約840	約23,000	約24,000	約27,000
	半　壊	約1,330	約1,330	約1,330	約2,680	約2,680	約2,680	約51,000	約51,000	約50,000
建物被害率	全壊及び焼失	約2%	約2%	約2%	約2%	約2%	約2%	約2%	約2%	約2%
	半　壊	約9%	約9%	約9%	約6%	約6%	約6%	約4%	約4%	約4%

ブロック塀等転倒数	約 3,600件
屋外落下物が発生する建物数	約 4,000棟

「—」：被害わずか

注）・端数処理のため合計値が各数値の和に一致しない場合がある。
　　・全壊：災害の被害認定統一基準による自治体判定基準に基づく全壊
　　・半壊：災害の被害認定統一基準による自治体判定基準に基づく半壊

（３） 人的被害に係る想定結果 （単位：人）

予知なく地震が発生した場合											
項目		被害区分	下田市			賀茂地区			静岡県全体		
			冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕
建物倒壊（うち屋外収容物移動・転倒、屋内落物）		死者数	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	約200 (約70)	約100 (約40)	約200 (約50)
		重傷者	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	約10 (—)	— (—)	約1,900 (約300)	約2,300 (約100)	約1,800 (約200)
		軽傷者	— (—)	約50 (—)	約10 (—)	約40 (約10)	約100 (約10)	約30 (—)	約7,900 (約1,300)	約6,600 (約1,000)	約4,900 (約1,000)
津波	早期避難率高＋呼びかけ	死者数	約100	約10	約10	約200	約30	約40	約4,700	約1,400	約1,900
		重傷者	約10	—	—	約10	—	—	約100	約60	約70
		軽傷者	約10	—	—	約20	—	—	約300	約100	約100
	早期避難率低	死者数	約600	約300	約400	約900	約500	約600	約5,700	約3,500	約4,700
		重傷者	約60	約50	約10	約100	約60	約10	約300	約200	約300
		軽傷者	約100	約90	約10	約200	約100	約20	約500	約400	約500
山・崖崩れ		死者数	—	—	—	—	—	—	約50	約20	約40
		重傷者	—	—	—	—	—	—	約30	約10	約20
		軽傷者	—	—	—	—	—	—	約30	約10	約20
火災		死者数	—	—	—	—	—	—	約10	—	約20
		重傷者	—	—	—	—	—	—	—	約10	約60
		軽傷者	—	—	—	—	—	—	約20	約30	約200
ブロック塀の転倒屋外落下物		死者数	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		重傷者	—	—	—	—	—	—	—	約30	約40
		軽傷者	—	—	—	—	—	—	—	約40	約90
死傷者数合計	早期避難率高＋呼びかけ	死者数	約100	約10	約10	約200	約30	約40	約5,000	約1,500	約2,100
		重傷者	約10	—	—	約10	約10	約10	約2,100	約2,400	約2,000
		軽傷者	約10	約50	約10	約60	約100	約50	約8,300	約6,800	約5,300
	早期避難率低	死者数	約600	約300	約400	約900	約500	約600	約6,000	約3,600	約4,900
		重傷者	約60	約50	約10	約100	約70	—	約2,200	約2,600	約2,200
		軽傷者	約100	約140	約20	約240	約200	約40	約8,500	約7,200	約5,700
自力脱出困難者数・要救助者数		地震動	—	—	—	—	—	—	約1,100	約800	約1,000
		津波	約300	約1,200	約600	約500	約1,700	約930	約2,300	約5,100	約3,200

「—」：被害わずか

注）・端数処理のため合計値が各数値の和に一致しない場合がある。

・倒　壊：建物が構造的に倒壊・崩壊した状態を指し、岡田・高井（1999）による建物破壊パターンチャートのＤ５以上相当。全壊に含まれる。

・重傷者：１ヶ月以上の治療を要する負傷者

・軽傷者：１ヶ月未満の治療を要する負傷者

※　夏・昼発災の場合、海水浴客の津波による死者数の増分は、約2,400人（早期避難率高＋呼びかけ）～約6,500人（早期避難率低）

6　駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生するレベル１の地震・津波（東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震）の被害想定の結果

（1） ライフラインの被害

①　上水道

区　分	給水人口（千人）	断 水 率　(%)				断水人口　(千人)			
		直　後	１日後	７日後	１ヶ月後	直　後	１日後	７日後	１ヶ月後
静岡県全体	約3,716	96	93	58	2	約3,584	約3,462	約2,144	約63
賀 茂 地 区	約72	93	86	55	4	約67	約62	約40	約2.6
下　田　市	約24	98	97	56	0	約24	約24	約14	―

【復旧予測】

レ ベ ル １	95%復旧　４週間程度

※　津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

②　下水道

区　分	処理人口（千人）	機能支障率　(%)				機能支障人口　(千人)			
		直　後	１日後	７日後	１ヶ月後	直　後	１日後	７日後	１ヶ月後
静岡県全体	約2,236	12	53	7	0	約257	約1,176	約153	約9.6
賀 茂 地 区	約13	3	3	2	0	約0.4	約0.4	約0.3	―
下　田　市	約11	3	3	2	0	約0.3	約0.3	約0.3	―

【復旧予測】

レ ベ ル １	95%復旧　２週間程度

※　津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

③　電　力

【停電率、停電軒数】

区　分	需要家数（千軒）	停 電 率　(%)				停電軒数　(千軒)			
		直　後	１日後	７日後	１ヶ月後	直　後	１日後	７日後	１ヶ月後
静岡県全体	約2,247	89	79	6	3	約1,996	約1,786	約129	約77
賀 茂 地 区	約69	89	78	2	2	約61	約54	約1.7	約1.7
下　田　市	約23	89	78	3	3	約20	約18	約0.7	約0.7

【復旧予測】

レ ベ ル １	95%復旧　１週間程度

※　津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

④　通　信

【固定電話（不通回線率、不通回線数）】

区　分	回 線 数（千回線）	不通回線率　(%)				不通回線数　(千回線)			
		直　後	１日後	７日後	１ヶ月後	直　後	１日後	７日後	１ヶ月後
静岡県全体	約833	90	81	6	1	約748	約677	約54	約4.7
賀 茂 地 区	約33	89	79	4	4	約30	約26	約1.4	約1.4
下　田　市	約10	89	79	4	4	約8.9	約7.9	約0.4	約0.4

【復旧予測】

レ ベ ル １	95%復旧　１週間程度

※　津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

【携帯電話（停波基地局率、不通ランク）】

区　　分	停波基地局率　(%)				不通ランク			
	直　後	１日後	７日後	１ヶ月後	直　後	１日後	７日後	１ヶ月後
静岡県全体	7	81	11	7	―	A	―	―
賀 茂 地 区	2	79	4	4	―	A	―	―
下　田　市	1	79	4	4	―	A	―	―

※不通ランク　「A」：停電による停波基地局率と固定電話不通回線の少なくとも一方が50%を超える。
「B」：停電による停波基地局率と固定電話不通回線の少なくとも一方が40%を超える。
「C」：停電による停波基地局率と固定電話不通回線の少なくとも一方が30%を超える。
「―」：上記ランクA、B、Cのいずれも該当しない。

【復旧予測】

レ ベ ル １	95%復旧　１週間程度

※　津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

⑤　ガ　ス

【都市ガス（供給停止率、供給停止戸数）】

区　　分	需要家数（戸）	供給停止戸数（戸）	供給停止率（%）	復旧対象戸数（戸）
静岡県全体	約494,000	約380,000	77	約189,000
賀 茂 地 区	約2,200	約2,200	100	約1,500
下　田　市	約2,200	約2,200	100	約1,500

【復旧予測】

レ ベ ル １	95%復旧　４週間程度

※　津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

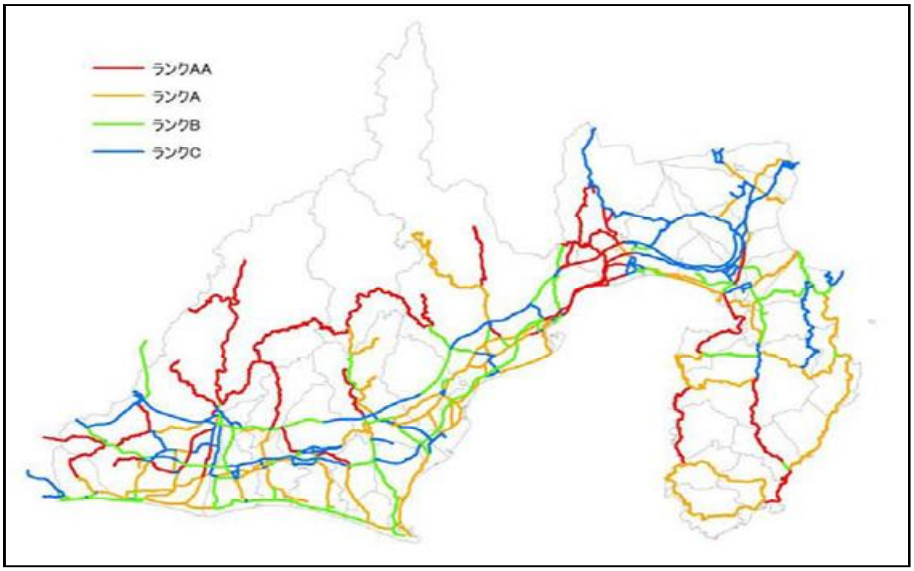
【ＬＰガス（機能支障率、要点検需要家数）】

区　　分	需要家数（戸）	機能支障率（%）	要点検需要家数（戸）
静岡県全体	約855,000	32	約271,000
賀 茂 地 区	約33,000	14	約4,600
下　田　市	約11,000	11	約1,200

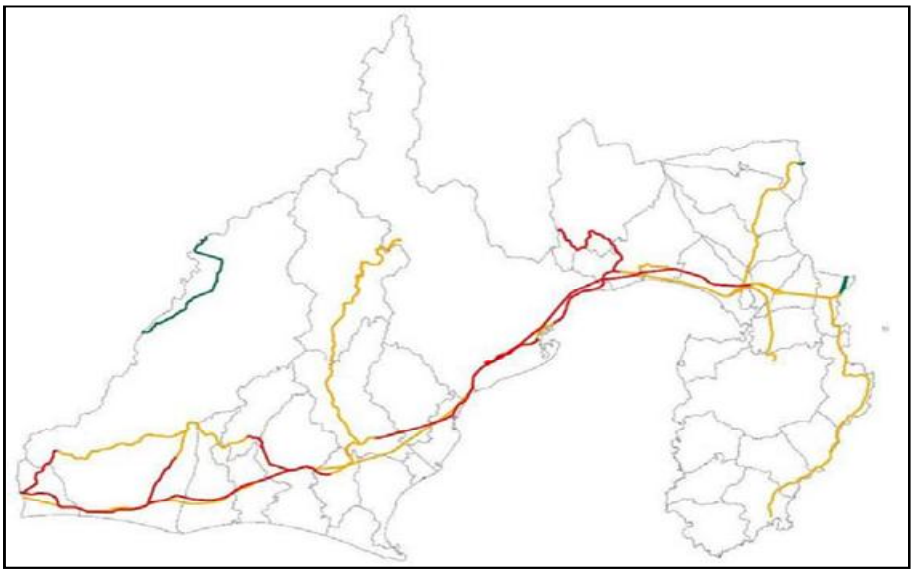
（２）　交通施設等の被害

①　道路施設

（緊急輸送路）



② 鉄道施設



影響度ランク（①・②共通）

影響度ランク	被害規模	運行再開までの日数目安	被害のイメージ
AA	大	１ヶ月以上	橋梁の落橋、倒壊、大変形／津波による流失　等
A	中	１週間～１ヶ月	線路上への異物侵入（建物、道路上工作物、津波堆積物）／橋梁の亀裂、損傷／地すべり／盛土、切土被害／軌道変状 等
B	小	当日～１週間	液状化／その他小規模な被害　等
C	なし	―	―

③ 港湾施設

【地震後に使用可能な防災拠点港湾の取扱能力】

区　分	港湾・漁港数	耐震強化岸壁数	取扱能力　（ｔ　／日）
レベル１	17	29	77,355　（県 全 体） 5,959　（賀茂地区） 1,240　（下 田 市）

（３） 生活支障等

① 避難者

【避難者数（発災～１ヶ月後）】　（単位:人）

区　分	１日後			１週間後			１ヶ月後		
	避難者数			避難者数			避難者数		
		避難所	避難所外		避難所	避難所外		避難所	避難所外
静岡県全体	833,766	502,134	331,632	1,221,752	613,963	607,789	836,665	250,999	585,665
賀 茂 地 区	11,895	7,756	4,139	12,942	7,350	5,593	5,069	1,521	3,548
下　田　市	3,263	2,131	1,132	4,119	2,231	1,888	739	222	518

② 物資不足

【給水、食料、毛布の不足量（市町の備蓄のみで対応した場合）】 （単位：人）

区分		住民分		観光・出張客分を考慮した場合
		１～３日目の計	４～７日目の計	１～３日目の計
静岡県全体	給水（トン）	3,052	164,171	3,581
	食料（食）	2,394,077	6,092,927	3,237,801
	毛布（枚）	565,248		808,654
賀茂地区	給水（トン）	12	2,011	20
	食料（食）	1,298	86,220	65,123
	毛布（枚）	0		10,439
下田市	給水（トン）	0	770	0
	食料（食）	623	29,822	33,323
	毛布（枚）	0		5,579

③ 医療機能支障

区分	医療対応力不足数	
	入院対応	外来対応
静岡県全体	約30,000	約21,000
賀茂地区	約600	約70
下田市	約70	—

④ 住機能（応急仮設住宅等）

【中期的住機能支障（発災後約１ヶ月～２年間）】 （単位：世帯）

区分	応急仮設住宅等の需要 ※		
	応急仮設住宅	借上げ型応急住宅	公営住宅一時使用
静岡県全体	37,924 (59,212)	60,042 (60,044)	6,420 (6,420)
賀茂地区	127 (309)	214 (364)	33 (62)
下田市	24 (60)	33 (93)	14 (37)

※ アンケート結果に基づく推計（借上げ型応急住宅、公営住宅および民間賃貸住宅の入居上限を考慮）
※ 上段：自宅が全壊・焼失した世帯の需要、下段：自宅が全壊・焼失、半壊した世帯の需要

【長期的住機能障害（発災後約２年～数年以降）】 （単位：世帯）

区分	災害公営住宅の需要 ※			
	計	全壊世帯の需要	うち年収400万円未満	半壊世帯の需要
静岡県全体	85,386	61,725	38,105	23,662
賀茂地区	556	224	215	332
下田市	145	44	42	102

※ アンケート結果に基づく推計

⑤　し尿・ごみ・瓦礫

【仮設トイレ不足量】　（単位：基（仮設トイレ基数換算））

区　　分	市町の仮設トイレ等の備蓄のみで対応した場合	
	仮設・簡易トイレを活用	仮設・簡易・マンホールトイレを活用
静岡県全体	3,123	2,710
賀茂地区	5	5
下田市	0	0

【災害廃棄物、津波堆積物】　（単位：千トン）

区　　分	合　　計	災害廃棄物	津波堆積物
静岡県全体	30,786～31,675	29,995	791～1,680
賀茂地区	255～394	131	124～263
下田市	61～104	23	38～80

（4）被害経済

（単位：兆円）

区　　分	直接的被害	間接的被害
予知なし	20.30	3.90
予知あり	17.39	2.93

（5）その他の被害

①　エレベーター閉じ込め

区　　分	閉じ込め者数			閉じ込めにつながり得る物的被害	
	朝	昼	夕	建物棟数	エレベーター台数
静岡県全体	約500	約1,900	約800	約800	約2,600
賀茂地区	約10	約30	約10	約30	約100
下田市	―	約10	―	約10	約30

②　災害時要援護者の被災・生活支障

【１週間後の避難所避難者に占める要援護者数】

区　　分	65歳以上の高齢単身者	５歳未満乳幼児	身体障害者	知的障害者	精神障害者	要介護認定者(要支援者を除く)	難病患者	妊産婦	外国人
静岡県全体	約16,000	約27,000	約20,000	約4,200	約2,500	約19,000	約3,900	約11,000	約11,000
賀茂地区	約500	約200	約400	約60	約30	約400	約40	約90	約50
下田市	約100	約70	約80	約10	約10	約90	約10	約30	約20

※　属性間で重複あり

③　文化財被害

【被災可能性のある重要文化財及び登録博物館】

区　　分	総　　数	要因別内訳		
		地　震　動	火　　災	津　　波
静岡県全体	262	259	44	11
賀 茂 地 区	3	1	0	2
下　田　市	1	0	0	1

※　国・県・市町指定の重要文化財（建造物）及び登録博物館を対象とする。
※　冬夕発災、風速５m/sの場合
※　要因間の重複あり

④　孤立集落の発生

【孤立可能性がある集落数】

区　　分	孤立可能性のある集落数
静　岡　県　全　体	84
賀　　茂　　地　　区	1
下　　田　　市	0

7　駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生するレベル２の地震・津波（南海トラフ巨大地震）の被害想定の結果

（1） ライフラインの被害

①　上水道

（東側ケース）

区　　分	給水人口（千人）	断 水 率　(%)				断水人口　(千人)			
		直　後	1日後	7日後	1ヶ月後	直　後	1日後	7日後	1ヶ月後
静岡県全体	約 3,716	97	93	59	8	約3,609	約3,474	約2,202	約296
賀 茂 地 区	約 72	96	90	60	11	約70	約65	約43	約8.2
下　田　市	約 24	99	98	61	0	約24	約24	約15	―

【復旧予測】

東側ケース	95%復旧　６週間程度

※　津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

②　下水道

（東側ケース）

区　　分	処理人口（千人）	機能支障率　(%)				機能支障人口　(千人)			
		直　後	1日後	7日後	1ヶ月後	直　後	1日後	7日後	1ヶ月後
静岡県全体	約2,236	52	67	44	7	約1,152	約1,506	約979	約154
賀 茂 地 区	約13	100	100	87	14	約13	約13	約12	約1.9
下　田　市	約11	100	100	87	14	約11	約11	約9.7	約1.6

【復旧予測】

東側ケース	95%復旧　５週間程度

※　津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

③　電　力

【停電率、停電軒数】

（東側ケース）

区　　分	需要家数（千軒）	停 電 率　(%)				停電軒数　(千軒)			
		直　後	1日後	7日後	1ヶ月後	直　後	1日後	7日後	1ヶ月後
静岡県全体	約2,247	89	80	8	6	約2,001	約1,795	約182	約142
賀 茂 地 区	約69	91	83	23	23	約63	約57	約16	約16
下　田　市	約23	92	84	28	28	約21	約19	約6.4	約6.4

【復旧予測】

東側ケース	95%復旧　１週間程度

※　津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

④　通　信

【固定電話（不通回線率、不通回線数）】

（東側ケース）

区　　分	回 線 数（千回線）	不通回線率　（%）				不通回線数　（千回線）			
		直　後	１日後	７日後	１ヶ月後	直　後	１日後	７日後	１ヶ月後
静岡県全体	約833	90	82	13	6	約752	約683	約112	約51
賀 茂 地 区	約33	93	86	39	39	約31	約29	約13	約13
下　田　市	約10	94	88	46	45	約9.4	約8.8	約4.6	約4.6

【復旧予測】

レ ベ ル １	95%復旧　２週間程度

※　津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

【携帯電話（停波基地局率、不通ランク）】

（東側ケース）

区　　分	停波基地局率　（%）				不通ランク			
	直　後	１日後	７日後	１ヶ月後	直　後	１日後	７日後	１ヶ月後
静岡県全体	11	82	16	14	―	A	―	―
賀 茂 地 区	23	86	39	39	―	A	―	―
下　田　市	24	88	46	46	―	A	―	―

※不通ランク　「A」：停電による停波基地局率と固定電話不通回線の少なくとも一方が50%を超える。
「B」：停電による停波基地局率と固定電話不通回線の少なくとも一方が40%を超える。
「C」：停電による停波基地局率と固定電話不通回線の少なくとも一方が30%を超える。
「―」：上記ランクA，B，Cのいずれも該当しない。

【復旧予測】

レ ベ ル １	95%復旧　２週間程度

※　津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

⑤　ガ ス

【都市ガス（供給停止率、供給停止戸数）】

（東側ケース）

区　　分	需要家数（戸）	供給停止戸数（戸）	供給停止率（%）	復旧対象戸数（戸）
静岡県全体	約494,000	約394,000	80	約202,000
賀 茂 地 区	約2,200	約2,200	100	約1,400
下　田　市	約2,200	約2,200	100	約1,400

【復旧予測】

レ ベ ル １	95%復旧　５週間程度

※　津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

【ＬＰガス（機能支障率、要点検需要家数）】

（東側ケース）

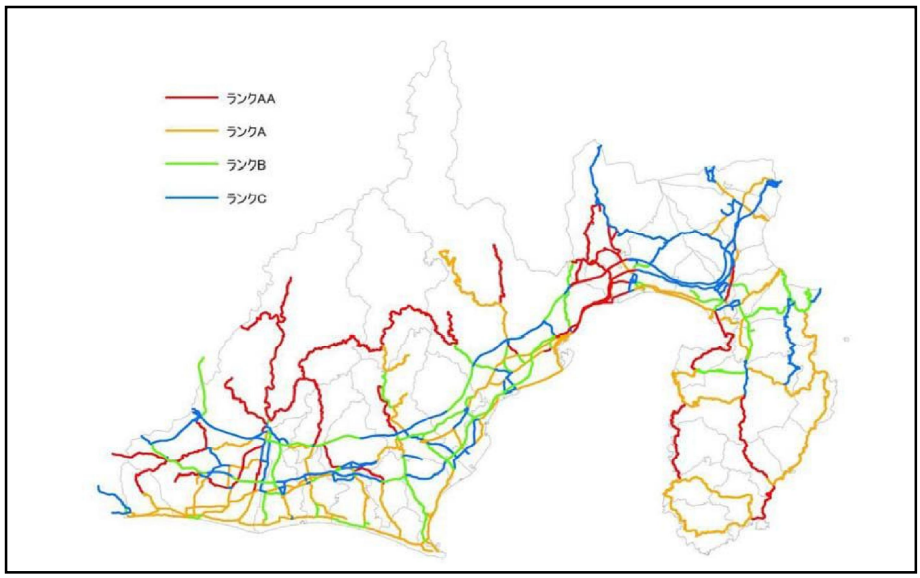
区　　分	需要家数（戸）	機能支障率（%）	要点検需要家数（戸）
静岡県全体	約855,000	38	約328,000

賀 茂 地 区	約33,000	35	約12,000
下　田　市	約11,000	35	約3,800

（２） 交通施設等の被害

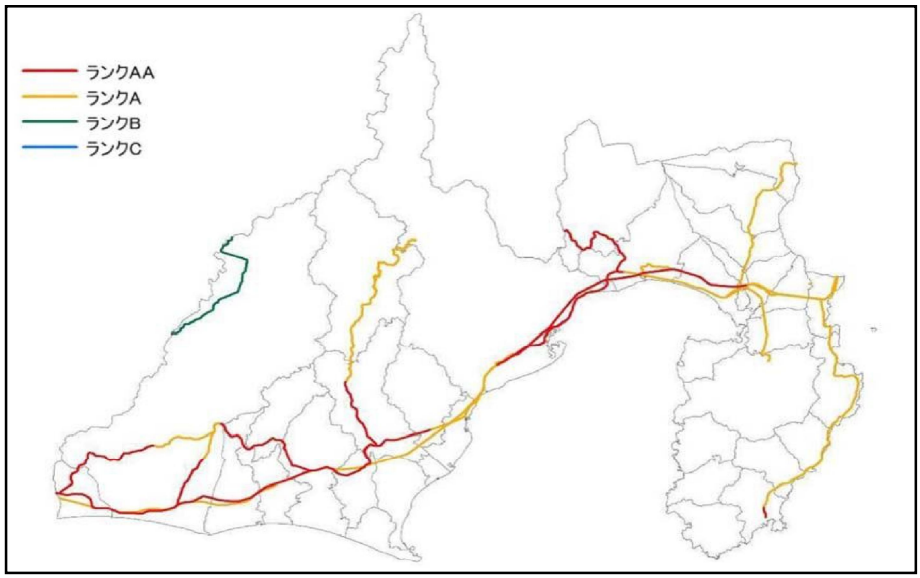
① 道路施設（緊急輸送路）

（東側ケース）



② 鉄道施設

（東側ケース）



影響度ランク（①・②共通）

影響度ランク	被害規模	運行再開までの日数目安	被害のイメージ
AA	大	１ヶ月以上	橋梁の落橋、倒壊、大変形／津波による流失　等
A	中	１週間～１ヶ月	線路上への異物侵入（建物、道路上工作物、津波堆積物） ／橋梁の亀裂、損傷／地すべり／盛土、切土被害／軌道変状 等
B	小	当日～１週間	液状化／その他小規模な被害　等

C	なし	―	―

③　港湾施設

【地震後に使用可能な防災拠点港湾の取扱能力】

区　　分	港湾・漁港数	耐震強化岸壁数	取扱能力　（ｔ　／日）
東側ケース	17	29	70,269　（県 全 体） 5,959　（賀茂地区） 1,240　（下 田 市）

（３）　生活支障等

①　避難者

【避難者数（発災～１ヶ月後）】

（東側ケース）　　（単位：人）

区　　分	１日後			１週間後			１ヶ月後		
	避難者数			避難者数			避難者数		
		避難所	避難所外		避難所	避難所外		避難所	避難所外
静岡県全体	1,077,534	663,816	413,719	1,312,814	703,083	609,731	1,059,546	317,864	741,682
賀 茂 地 区	34,446	22,171	12,276	26,503	17,079	9,424	23,117	6,935	16,182
下　田　市	12,213	7,840	4,373	9,039	5,630	3,409	6,541	1,962	4,579

②　物資不足

【給水、食料、毛布の不足量（市町の備蓄のみで対応した場合）】

（東側ケース）

区　　分		住　民　分		観光・出張客分を考慮した場合
		１～３日目の計	４～７日目の計	１～３日目の計
静岡県全体	給　水　（トン）	3,233	167,411	3,805
	食　料　（食）	3,227	7,410,821	4,132,029
	毛　布　（枚）	640,406		917,121
賀茂地区	給　水　（トン）	26	2,041	34
	食　料　（食）	101,298	263,309	186,265
	毛　布　（枚）	12,826		28,931
下田市	給　水　（トン）	0	807	0
	食　料　（食）	46,035	91,757	78,735
	毛　布　（枚）	5,532		12,799

③　医療機能支障

（東側ケース）

区　　分	医療対応力不足数	
	入院対応	外来対応
静　岡　県　全　体	約41,000	約29,000
賀　茂　地　区	約1,500	約300
下　田　市	約400	約200

④　住機能（応急仮設住宅等）

【中期的住機能支障（発災後約１ヶ月～２年間）】

（東側ケース）　（単位：世帯）

区　分	応急仮設住宅等の需要　※		
	応急仮設住宅	借上げ型応急住宅	公営住宅一時使用
静岡県全体	46,520 (71,065)	60,044 (60,044)	6,420 (6,420)
賀茂地区	1,178 (1,559)	1,471 (1,388)	158 (139)
下田市	451 (511)	466 (533)	56 (49)

※　アンケート結果に基づく推計（借上げ型応急住宅、公営住宅および民間賃貸住宅の入居上限を考慮）
※　上段：自宅が全壊・焼失した世帯の需要、下段：自宅が全壊・焼失、半壊した世帯の需要

【長期的住機能障害（発災後約２年～数年以降）】

（東側ケース）　（単位：世帯）

区　分	災害公営住宅の需要　※			
	計	全壊世帯の需要	うち年収400万円未満	半壊世帯の需要
静岡県全体	94,996	68,226	42,120	26,770
賀茂地区	2,070	1,735	1,667	334
下田市	723	609	582	114

※　アンケート結果に基づく推計

⑤　し尿・ごみ・瓦礫

【仮設トイレ不足量】

（東側ケース）　（単位：基（仮設トイレ基数換算））

区　分	市町の仮設トイレ等の備蓄のみで対応した場合	
	仮設・簡易トイレを活用	仮設・簡易・マンホールトイレを活用
静岡県全体	4,369	4,217
賀茂地区	119	119
下田市	53	53

【一般廃棄物（生活ごみ）】　（単位：トン／月）

区　分		合　計	災害廃棄物	津波堆積物
静岡県全体	家庭ごみ	約95,000	約94,000	約94,000
	粗大ごみ	約20,000	約9,500	約7,200
賀茂地区	家庭ごみ	約2,800	約2,700	約2,700
	粗大ごみ	約600	約300	約200
下田市	家庭ごみ	約900	約900	約900
	粗大ごみ	約200	約80	約60

【災害廃棄物、津波堆積物】

（東側ケース）　（単位：千トン）

区　分	合　計	災害廃棄物	津波堆積物
静岡県全体	38,872～43,756	34,525	4,347～9,231
賀茂地区	1,447～1,872	1,069	378～803

下　田　市	509～658	376	133～282

（4） 被害経済

（単位：兆円）

区　　分		直接的被害	間接的被害
予知なし	東側ケース	23.76	5.46
予知あり		20.90	4.30

（5） その他の被害

① エレベーター閉じ込め

（東側ケース）

区　　分	閉じ込め者数			閉じ込めにつながり得る物的被害	
	朝	昼	夕	建物棟数	エレベーター台数
静岡県全体	約600	約1,900	約800	約800	約2,600
賀茂地区	約10	約40	約10	約30	約100
下　田　市	―	約10	―	約20	約30

② 災害時要援護者の被災・生活支障

（東側ケース）

区　　分	65歳以上の高齢単身者	５歳未満乳幼児	身体障害者	知的障害者	精神障害者	要介護認定者(要支援者を除く)	難病患者	妊産婦	外国人
静岡県全体	約19,000	約30,000	約23,000	約4,900	約2,900	約22,000	約4,500	約12,000	約13,000
賀茂地区	約1,100	約500	約800	約100	約60	約800	約90	約200	約100
下　田　市	約400	約200	約200	約40	約20	約200	約30	約70	約40

※ 属性間で重複あり

③ 文化財被害

【被災可能性のある重要文化財及び登録博物館】

（東側ケース）

区　　分	総　　数	要因別内訳		
		地震動	火　災	津　波
静岡県全体	293	288	44	30
賀茂地区	5	3	0	4
下　田　市	1	0	0	1

※ 国・県・市町指定の重要文化財（建造物）及び登録博物館を対象とする。
※ 冬夕発災、風速５m/sの場合
※ 要因間の重複あり

④ 孤立集落の発生

【孤立可能性がある集落数】

区　　分	孤立可能性のある集落数

東　側　ケ　ー　ス	静岡県全体	96
	賀 茂 地 区	85
	下　田　市	91

8　相模トラフ沿いで発生するレベル１の地震・津波（大正型関東地震）の被害想定の結果

（1）　ライフラインの被害

①　上水道

【断水率、断水人口】

区　　分	給水人口（千人）	断 水 率　（%）				断水人口　（千人）			
		直　後	１日後	７日後	１ヶ月後	直　後	１日後	７日後	１ヶ月後
静岡県全体	約3,716	21	9	6	0	約793	約337	約207	―
賀 茂 地 区	約72	34	1	1	0	約24	約0.8	約0.5	―
下　田　市	約24	1	1	1	0	約0.1	約0.2	約0.1	―

【復旧予測】

レ ベ ル １	95%復旧　１週間程度

※　津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

②　下水道

【機能支障率、機能支障人口】

区　　分	処理人口（千人）	機能支障率　（%）				機能支障人口　（千人）			
		直　後	１日後	７日後	１ヶ月後	直　後	１日後	７日後	１ヶ月後
静岡県全体	約2,236	2	2	1	0	約53	約43	約26	約3.3
賀 茂 地 区	約13	1	1	1	0	約0.1	約0.1	約0.07	―
下　田　市	約11	1	1	1	0	約0.1	約0.1	約0.07	―

【復旧予測】

レ ベ ル １	95%復旧　数日程度

※　津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

③　電　力

【停電率、停電軒数】

区　　分	需要家数（千軒）	停 電 率　（%）				停電軒数　（千軒）			
		直　後	１日後	４日後	１週間後	直　後	１日後	４日後	１週間後
静岡県全体	約2,247	33	5	0	0	約735	約117	約4.9	約4.9
賀 茂 地 区	約69	89	14	1	1	約61	約9.7	約0.4	約0.4
下　田　市	約23	89	15	2	2	約20	約3.4	約0.3	約0.3

【復旧予測】

レ ベ ル １	95%復旧　数日程度

※　津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

④　通　信

【固定電話（不通回線率、不通回線数）】

区　　分	回 線 数（千回線）	不通回線率　（%）				不通回線数　（千回線）			
		直　後	１日後	１週間	１ヶ月後	直　後	１日後	１週間	１ヶ月後
静岡県全体	約833	34	6	0	0	約279	約48	約3.5	約3.1
賀 茂 地 区	約33	89	14	1	1	約29	約4.7	約0.2	約0.2
下　田　市	約10	89	15	2	2	約8.9	約1.5	約0.2	約0.2

【復旧予測】

レ ベ ル １	95%復旧　数日程度

※　津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

【携帯電話（停波基地局率、不通ランク）】

区　　分	停波基地局率　(%)				不通ランク			
	直　後	１日後	４日後	１週間後	直　後	１日後	４日後	１週間後
静岡県全体	0	6	0	0	—	—	—	—
賀 茂 地 区	0	14	1	1	—	—	—	—
下　田　市	0	15	2	2	—	—	—	—

※不通ランク　「A」：停電による停波基地局率と固定電話不通回線の少なくとも一方が50%を超える。
「B」：停電による停波基地局率と固定電話不通回線の少なくとも一方が40%を超える。
「C」：停電による停波基地局率と固定電話不通回線の少なくとも一方が30%を超える。
「—」：上記ランクA，B，Cのいずれも該当しない。

【復旧予測】

レ ベ ル １	95%復旧　数日程度

※　津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

⑤　ガ　ス

【都市ガス（供給停止率、供給停止戸数）】

区　　分	需要家数（戸）	供給停止戸数（戸）	供給停止率（%）	復旧対象戸数（戸）
静岡県全体	約494,000	約19,000	4	約12,000
賀 茂 地 区	約2,200	—	0	—
下　田　市	約2,200	—	0	—

【復旧予測】

レ ベ ル １	95%復旧　数日程度

※　津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

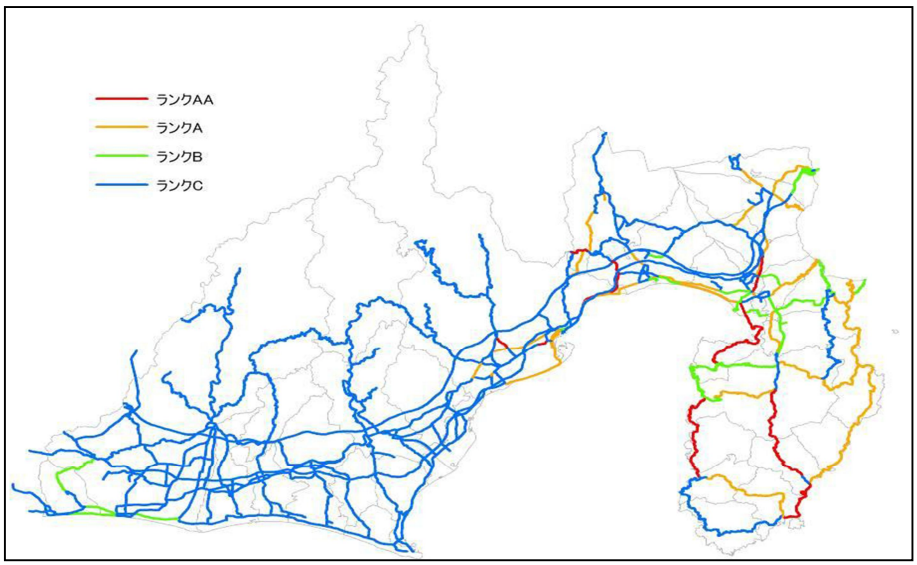
【ＬＰガス（機能支障率、要点検需要家数）】

区　　分	需要家数（戸）	機能支障率（%）	要点検需要家数（戸）
静岡県全体	約855,000	4	約32,000
賀 茂 地 区	約33,000	3	約1,000
下　田　市	約11,000	4	約400

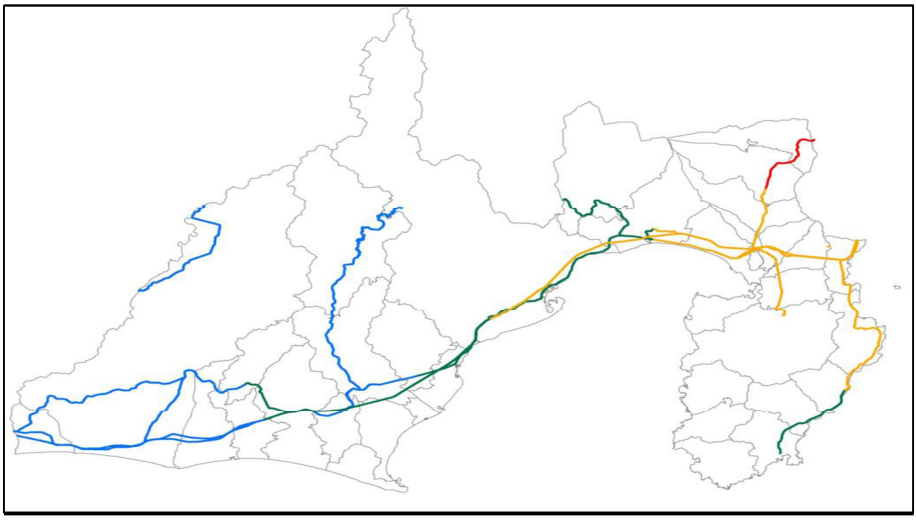
（２）交通施設等の被害

①　道路施設

（緊急輸送路）



② 鉄道施設



影響度ランク（①・②共通）

影響度ランク	被害規模	運行再開までの日数目安	被害のイメージ
AA	大	１ヶ月以上	橋梁の落橋、倒壊、大変形／津波による流失　等
A	中	１週間～１ヶ月	線路上への異物侵入（建物、道路上工作物、津波堆積物）／橋梁の亀裂、損傷／地すべり／盛土、切土被害／軌道変状 等
B	小	当日～１週間	液状化／その他小規模な被害　等
C	なし	―	―

③ 港湾施設

【地震後に使用可能な防災拠点港湾の取扱能力】

区　分	港湾・漁港数	耐震強化岸壁数	取扱能力　（ｔ　／日）
レ ベ ル 1	18	30	80,553　（県 全 体） 5,959　（賀茂地区） 1,240　（下 田 市）

（３）生活支障等の被害

① 避難者

【避難者数（発災～１ヶ月後）】

（単位：人）

区　分	１日後			１週間後			１ヶ月後		
	避難者数			避難者数			避難者数		
		避難所	避難所外		避難所	避難所外		避難所	避難所外
静岡県全体	56,964	34,848	22,116	96,146	48,387	47,760	47,457	14,237	33,220
賀 茂 地 区	2,079	1,349	730	688	350	338	568	170	398
下　田　市	1,409	924	485	272	141	131	241	72	168

② 物資不足

【給水、食料、毛布の不足量（市町の備蓄のみで対応した場合）】

区分		住民分		観光・出張客分を考慮した場合
		１～３日目の計	４～７日目の計	１～３日目の計
静岡県全体	給水（トン）	262	12,611	391
	食料（食）	63,327	341,168	540,359
	毛布（枚）	24,663		99,261
賀茂地区	給水（トン）	0	0	0
	食料（食）	0	495	47,360
	毛布（枚）	0		8,492
下田市	給水（トン）	0	0	0
	食料（食）	0	264	26,597
	毛布（枚）	0		4,971

③ 医療機能支障

区分	医療対応力不足数	
	入院対応	外来対応
静岡県全体	—	—
賀茂地区	—	—
下田市	—	—

④ 住機能（応急仮設住宅等）

【中期的住機能支障（発災後約１ヶ月～２年間）】 （単位：世帯）

区分	応急仮設住宅等の需要 ※		
	応急仮設住宅	借上げ型応急住宅	公営住宅一時使用
静岡県全体	1,801 (2,938)	2,483 (4,413)	1,058 (1,812)
賀茂地区	18 (43)	24 (68)	10 (27)
下田市	8 (20)	10 (31)	4 (12)

※ アンケート結果に基づく推計（借上げ型応急住宅、公営住宅および民間賃貸住宅の入居上限を考慮）
※ 上段：自宅が全壊・焼失した世帯の需要、下段：自宅が全壊・焼失、半壊した世帯の需要

【長期的住機能障害（発災後約２年～数年以降）】 （単位：世帯）

区分	災害公営住宅の需要 ※			
	計	全壊世帯の需要	うち年収400万円未満	半壊世帯の需要
静岡県全体	6,550	3,217	2,130	3,332
賀茂地区	105	32	31	73
下田市	49	14	13	36

※ アンケート結果に基づく推計

⑤　し尿・ごみ・瓦礫

【仮設トイレ不足量】　（単位：基（仮設トイレ基数換算））

区　　分	市町の仮設トイレ等の備蓄のみで対応した場合	
	仮設・簡易トイレを活用	仮設・簡易・マンホールトイレを活用
静岡県全体	17	0
賀茂地区	0	0
下田市	0	0

【災害廃棄物、津波堆積物】　（単位：千トン）

区　分	合　　計	災害廃棄物	津波堆積物
静岡県全体	1,672～1,900	1,469	203～431
賀茂地区	56～97	19	37～78
下田市	25～45	7	18～38

（4） 経済被害

（単位：兆円）

区　　分	直接的被害	間接的被害
大正型関東地震	1.65	0.145

（5） その他の被害

①　エレベーター閉じ込め

区　分	閉じ込め者数			閉じ込めにつながり得る物的被害	
	朝	昼	夕	建物棟数	エレベーター台数
静岡県全体	約200	約600	約300	約300	約1,100
賀茂地区	約10	約30	約10	約30	約100
下田市	—	約10	—	約10	約30

②　災害時要援護者の被災・生活支障

【１週間後の避難所避難者に占める要援護者数】

区　分	65歳以上の高齢単身者	５歳未満乳幼児	身体障害者	知的障害者	精神障害者	要介護認定者(要支援者を除く)	難病患者	妊産婦	外国人
静岡県全体	約1,800	約2,100	約1,600	約300	約100	約1,400	約300	約800	約600
賀茂地区	約20	約10	約20	—	—	約20	—	—	—
下田市	約10	—	約10	—	—	約10	—	—	—

③　文化財被害

【被災可能性のある重要文化財及び登録博物館】

区　分	総　数	要因別内訳		
		地震動	火　災	津　波
静岡県全体	18	17	0	1
賀茂地区	0	0	0	0
下田市	0	0	0	0

※　国・県・市町指定の重要文化財（建造物）及び登録博物館を対象とする。

※　冬夕発災、風速５m/sの場合
※　要因間の重複あり

④　孤立集落の発生

区　　分	孤立可能性のある集落数
静　岡　県　全　体	26
賀　　茂　　地　　区	0
下　　田　　市	0

9　相模トラフ沿いで発生するレベル２の地震・津波（元禄型関東地震）の被害想定の結果

（1）　ライフラインの被害

①　上水道

【断水率、断水人口】

区　　分	給水人口（千人）	断 水 率　（%）				断水人口　（千人）			
		直　後	１日後	７日後	１ヶ月後	直　後	１日後	７日後	１ヶ月後
静岡県全体	約3,716	25	13	8	0	約923	約477	約295	―
賀 茂 地 区	約72	35	2	1	0	約25	約1.2	約0.7	―
下　田　市	約24	1	1	1	0	約0.2	約0.3	約0.2	―

【復旧予測】

レ ベ ル ２	95%復旧　２週間程度

※　津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

②　下水道

【機能支障率、機能支障人口】

区　　分	処理人口（千人）	機能支障率　（%）				機能支障人口　（千人）			
		直　後	１日後	７日後	１ヶ月後	直　後	１日後	７日後	１ヶ月後
静岡県全体	約2,236	12	12	10	1	約271	約262	約215	約32
賀 茂 地 区	約13	83	83	72	11	約11	約11	約9.6	約1.5
下　田　市	約11	100	100	87	13	約11	約11	約9.6	約1.5

【復旧予測】

レ ベ ル ２	95%復旧　３週間程度

※　津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

③　電　力

【停電率、停電軒数】

区　　分	需要家数（千軒）	停 電 率　（%）				停電軒数　（千軒）			
		直　後	１日後	４日後	１週間後	直　後	１日後	４日後	１週間後
静岡県全体	約2,247	33	5	0	0	約736	約122	約9.3	約9.3
賀 茂 地 区	約69	89	16	2	2	約61	約11	約1.6	約1.6
下　田　市	約23	89	18	5	5	約20	約4.1	約1.2	約1.2

【復旧予測】

レ ベ ル ２	95%復旧　数日程度

※　津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

④　通　信

【固定電話（不通回線率、不通回線数）】

区　　分	回 線 数（千回線）	不通回線率　（%）				不通回線数　（千回線）			
		直　後	１日後	１週間	１ヶ月後	直　後	１日後	１週間	１ヶ月後
静岡県全体	約833	34	6	1	1	約280	約53	約7.5	約6.6
賀 茂 地 区	約33	89	17	4	4	約29	約5.5	約1.2	約1.2
下　田　市	約10	90	20	7	7	約9	約2	約0.7	約0.7

【復旧予測】

レ ベ ル ２	95%復旧　数日程度

※　津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

【携帯電話（停波基地局率、不通ランク）】

区　　分	停波基地局率　(%)				不通ランク			
	直　後	１日後	４日後	１週間後	直　後	１日後	４日後	１週間後
静岡県全体	1	6	1	1	—	—	—	—
賀 茂 地 区	1	17	4	4	—	—	—	—
下　田　市	2	20	7	7	—	—	—	—

※不通ランク　「A」：停電による停波基地局率と固定電話不通回線の少なくとも一方が50%を超える。
「B」：停電による停波基地局率と固定電話不通回線の少なくとも一方が40%を超える。
「C」：停電による停波基地局率と固定電話不通回線の少なくとも一方が30%を超える。
「—」：上記ランクA，B，Cのいずれも該当しない。

【復旧予測】

レ ベ ル ２	95%復旧　数日程度

※　津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

⑤　ガ　ス

【都市ガス（供給停止率、供給停止戸数）】

区　　分	需要家数（戸）	供給停止戸数（戸）	供給停止率（%）	復旧対象戸数（戸）
静岡県全体	約494,000	約61,000	12	約28,000
賀 茂 地 区	約2,200	約2,200	100	約2,000
下　田　市	約2,200	約2,200	100	約2,000

【復旧予測】

レ ベ ル ２	95%復旧　１週間程度

※　津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

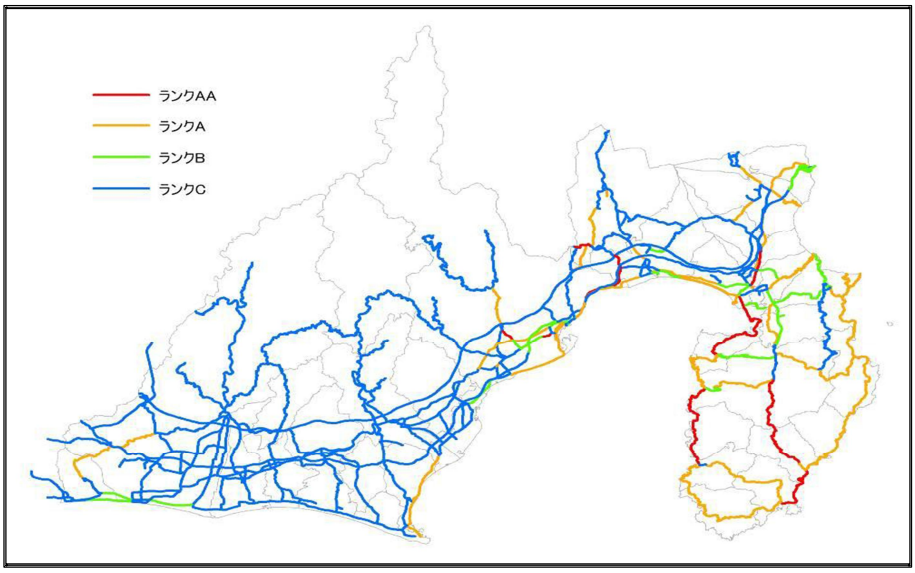
【ＬＰガス（機能支障率、要点検需要家数）】

区　　分	需要家数（戸）	機能支障率（%）	要点検需要家数（戸）
静岡県全体	約855,000	6	約52,000
賀 茂 地 区	約33,000	8	約2,500
下　田　市	約11,000	11	約1,200

（２）交通施設等の被害

①　道路施設

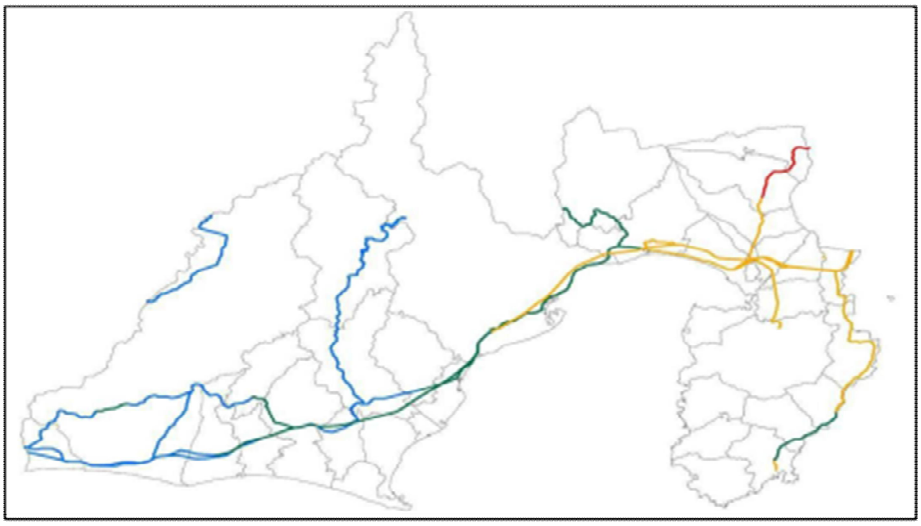
（緊急輸送路）



影響度ランク

影響度ランク	被害規模	運行再開までの日数目安	被害のイメージ
AA	大	１週間以上	橋梁の落橋、倒壊／地形の大変形　等
A	中	３日～１週間	道路閉塞（建物、道路上工作物、津波堆積物） ／橋梁の亀裂、損傷／地すべり／盛土、切土被害　等
B	小	当日～３日	液状化／その他小規模な被害　等
C	なし	―	―

② 鉄道施設



影響度ランク（①・②共通）

影響度ランク	被害規模	運行再開までの日数目安	被害のイメージ
AA	大	１ヶ月以上	橋梁の落橋、倒壊、大変形／津波による流失　等
A	中	１週間～１ヶ月	線路上への異物侵入（建物、道路上工作物、津波堆積物） ／橋梁の亀裂、損傷／地すべり／盛土、切土被害／軌道変状 等
B	小	当日～１週間	液状化／その他小規模な被害　等
C	なし	―	―

③ 港湾施設

【地震後に使用可能な防災拠点港湾の取扱能力】

区　　分	港湾・漁港数	耐震強化岸壁数	取扱能力　（ｔ　／日）
レ ベ ル ２	18	30	80,553　（県 全 体） 5,959　（賀茂地区） 1,240　（下 田 市）

※１：港湾・漁港の1日あたりの取扱能力の推定結果は「大正型関東地震」と同様。相模トラフ沿いの地震による地盤の注記は軽微であり水深は変化しないと想定。

（３） 生活支障等の被害

① 避難者

【避難者数（発災～１ヶ月後）】

（単位：人）

区　分	１日後			１週間後			１ヶ月後		
	避難者数			避難者数			避難者数		
		避難所	避難所外		避難所	避難所外		避難所	避難所外
静岡県全体	111,648	69,015	42,633	150,590	76,234	74,356	82,914	24,874	58,039
賀茂地区	7,948	5,192	2,756	1,973	1,069	904	1,797	539	1,258
下田市	4,367	2,864	1,503	871	486	384	831	249	581

② 物資不足

【給水、食料、毛布の不足量（市町の備蓄のみで対応した場合）】

区　分		住民分		観光・出張客分を考慮した場合
		１～３日目の計	４～７日目の計	１～３日目の計
静岡県全体	給水（トン）	363	19,324	492
	食料（食）	182,754	632,651	686,164
	毛布（枚）	36,292		126,595
賀茂地区	給水（トン）	0	0	0
	食料（食）	3,230	25,822	61,689
	毛布（枚）	0		9,354
下田市	給水（トン）	0	0	0
	食料（食）	2,683	20,181	35,383
	毛布（枚）	0		5,694

③ 医療機能支障

区　分	医療対応力不足数	
	入院対応	外来対応
静岡県全体	―	―
賀茂地区	約60	―
下田市	約60	―

④ 住機能（応急仮設住宅等）

【中期的住機能支障（発災後約１ヶ月～２年間）】　（単位：世帯）

区　分	応急仮設住宅等の需要　※		
	応急仮設住宅	借上げ型応急住宅	公営住宅一時使用
静岡県全体	3,328 (5,033)	4,588 (7,484)	1,956 (3,086)
賀茂地区	64 (128)	87 (197)	37 (79)
下田市	30 (64)	41 (99)	17 (40)

※　アンケート結果に基づく推計（借上げ型応急住宅、公営住宅および民間賃貸住宅の入居上限を考慮）
※　上段：自宅が全壊・焼失した世帯の需要、下段：自宅が全壊・焼失、半壊した世帯の需要

【長期的住機能障害（発災後約２年～数年以降）】　（単位：世帯）

区　分	災害公営住宅の需要　※			
	計	全壊世帯の需要	うち年収400万円未満	半壊世帯の需要
静岡県全体	10,940	5,946	4,046	4,994
賀茂地区	298	115	110	183
下田市	152	54	51	99

※　アンケート結果に基づく推計

⑤　し尿・ごみ・瓦礫

【仮設トイレ不足量】　（単位：基（仮設トイレ基数換算））

区　分	市町の仮設トイレ等の備蓄のみで対応した場合	
	仮設・簡易トイレを活用	仮設・簡易・マンホールトイレを活用
静岡県全体	76	52
賀茂地区	0	0
下田市	0	0

【災害廃棄物、津波堆積物】　（単位：千トン）

区　分	合　計	災害廃棄物	津波堆積物
静岡県全体	3,316～3,968	2,736	580～1,232
賀茂地区	175～292	70	104～221
下田市	76～129	28	47～100

（４）　経済被害

（単位：兆円）

区　分	直接的被害	間接的被害
元禄型関東地震	2.70	0.257

（５）　その他の被害

①　エレベーター閉じ込め

区　分	閉じ込め者数			閉じ込めにつながり得る物的被害	
	朝	昼	夕	建物棟数	エレベーター台数
静岡県全体	約200	約600	約300	約300	約1,100
賀茂地区	約10	約30	約10	約30	約100
下田市	―	約10	―	約10	約30

②　災害時要援護者の被災・生活支障

【１週間後の避難所避難者に占める要援護者数】

区　分	65歳以上の高齢単身者	５歳未満乳幼児	身体障害者	知的障害者	精神障害者	要介護認定者（要支援者を除く）	難病患者	妊産婦	外国人
静岡県全体	約2,900	約3,200	約2,500	約500	約200	約2,200	約400	約1,300	約900
賀茂地区	約70	約30	約50	約10	―	約50	約10	約10	約10
下田市	約30	約20	約20	―	―	約20	―	約10	―

③　文化財被害

【被災可能性のある重要文化財及び登録博物館】

区　　分	総　　数	要因別内訳		
		地震動	火　　災	津　　波
静岡県全体	28	23	0	5
賀 茂 地 区	2	0	0	2
下　田　市	2	0	0	2

※　国・県・市町指定の重要文化財（建造物）及び登録博物館を対象とする。
※　冬夕発災、風速５m/sの場合
※　要因間の重複あり

④　孤立集落の発生

区　　分	孤立可能性のある集落数
静　岡　県　全　体	35
賀　　茂　　地　　区	2
下　　田　　市	0

気象庁震度階級関連解説表

階級	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況
５弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。道路に被害が生じることがある。
５強	大半の人が、物につかまらないと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが多くなる。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。
６弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
６強	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
７		固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。

使用にあたっての留意事項

（１） 気象庁が発表している震度は、原則として地表や低層建物の一階に設置した震度計による観測値です。この資料は、ある震度が観測された場合、その周辺で実際にどのような現象や被害が発生するかを示すもので、それぞれの震度に記述される現象から震度が決定されるものではありません。

（２） 地震動は、地盤や地形に大きく影響されます。震度は震度計が置かれている地点での観測値であり、同じ市町村であっても場所によって震度が異なることがあります。また、中高層建物の上層階では一般に地表より揺れが強くなるなど、同じ建物の中でも、階や場所によって揺れの強さが異なります。

（３） 震度が同じであっても、地震動の振幅（揺れの大きさ）、周期（揺れが繰り返す時の１回あたりの時間の長さ）及び継続時間などの違いや、対象となる建物や構造物の状態、地盤の状況により被害は異なります。

（４） この資料では、ある震度が観測された際に発生する被害の中で、比較的多く見られるものを記述しており、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。また、それぞれの震度階級で示されている全ての現象が発生するわけではありません。

（５） この資料は、主に近年発生した被害地震の事例から作成したものです。今後、５年程度で定期的に内容を点検し、新たな事例が得られたり、建物・構造物の耐震性の向上等によって実状と合わなくなった場合には変更します。

（６） この資料では、被害などの量を概数で表せない場合に、一応の目安として、次の副詞・形容詞を用いています。

まれに わずか 大半 ほとんど	極めて少ない。めったにない。 わずか　数量・程度が非常に少ない。ほんの少し。 大半　半分以上。ほとんどよりは少ない。 ほとんど　全部ではないが、全部に近い。
が（も）ある、 が（も）いる	当該震度階級に特徴的に現れ始めることを表し、量的には多くはないがその数量・程度の概数を表現できかねる場合に使用。
多くなる	量的に表現できかねるが、下位の階級より多くなることを表す。
さらに多くなる	上記の「多くなる」と同じ意味。下位の階級で上記の「多くなる」が使われている場合に使用。

南海トラフ地震臨時情報

１南海トラフ地震に関する情報について

南海トラフの監視領域内（南海トラフの想定震源域及び想定震源域の海溝軸外側 50 ㎞程度までの範囲）でマグニチュード６．８以上の地震が発生した場合等、南海トラフ沿いで異常な現象が観測された場合、「南海トラフ地震に関連する情報」として、以下の２種類の情報が発表されます。

●南海トラフ地震臨時情報

「南海トラフ地震臨時情報」は、南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合のほか、観測された異常な現象の調査結果を発表する場合に発表されます。

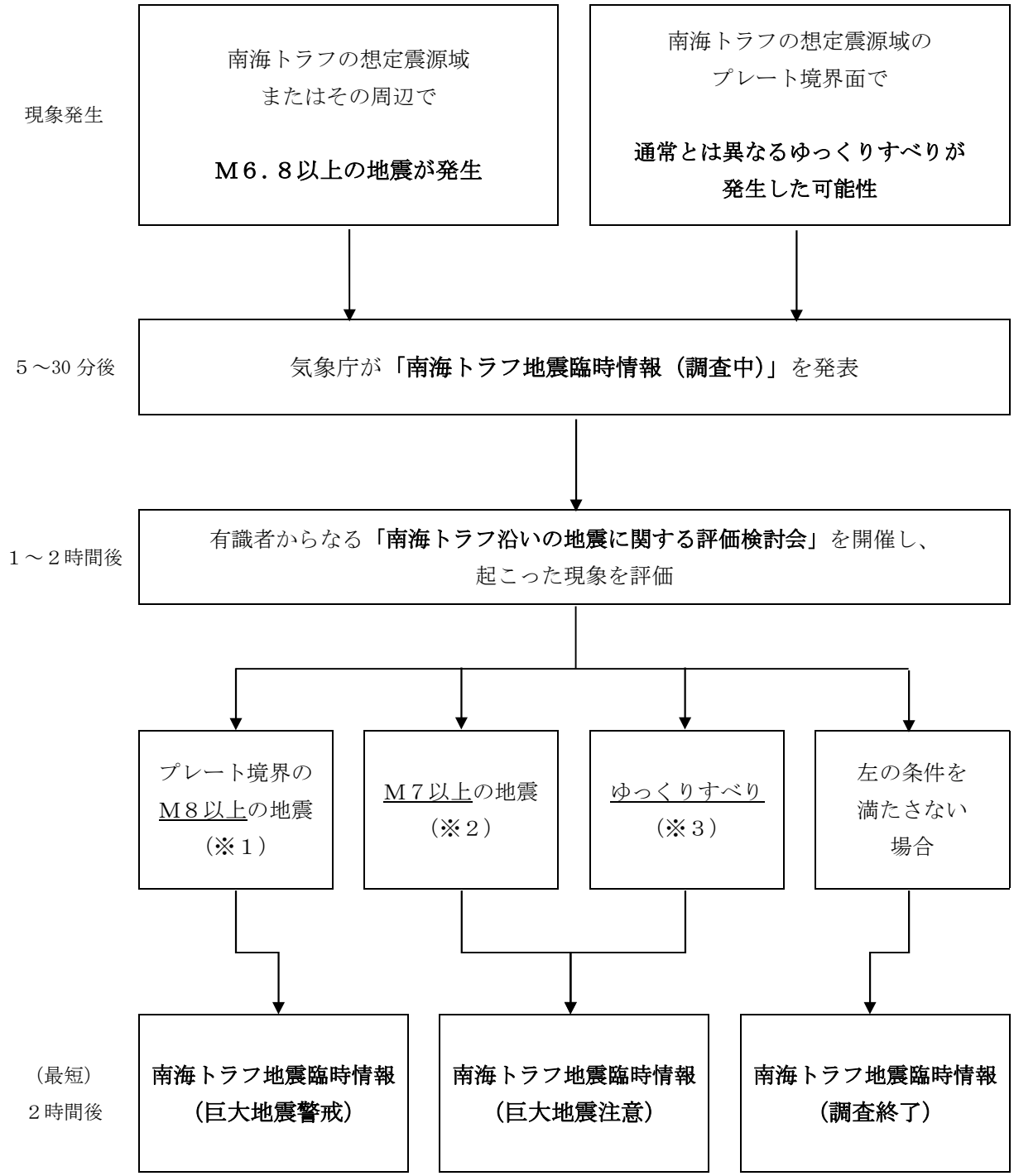
南海トラフ沿いで異常な現象を観測した場合、まず「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」が発表され、その後、有識者からなる「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」において起こった現象の評価によって、「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）」「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」「南海トラフ地震臨時情報（調査終了）」のいずれかが発表されます。

●南海トラフ地震関連解説情報

「南海トラフ地震関連解説情報」は、観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合や、「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（ただし南海トラフ地震臨時情報を発表する場合を除く）に発表されます。

※ すでに必要な防災対応がとられている際は、調査を開始した旨や調査結果を南海トラフ地震関連解説情報で発表する場合があります。

南海トラフ地震臨時情報の情報発表までの流れ



※１　南海トラフの想定震源域内のプレート境界においてＭ８．０以上の地震が発生した場合（半割れケース）

※２　南海トラフの想定震源域内のプレート境界においてＭ７．０以上、Ｍ８．０未満の地震が発生した場合、または南海トラフの想定震源域内のプレート境界以外や想定震源域の海溝軸外側 50 ㎞程度までの範囲でＭ７．０以上の地震が発生した場合（一部割れケース）

※３　ひずみ計等で有意な変化として捉えられる、短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合（ゆっくりすべりケース）

避難指示の種類

関係法令に基づいて、避難指示を行う者は次のとおりである。

実施責任者	区　分	災害の種類	根拠法令
市　長	指　示	災害全般	災害対策基本法第60条
警　察　官	指　示	災害全般	災害対策基本法第61条 警察官職務執行法第４条
知事又はその命を受けた職員	指　示	洪水・津波・高潮 地すべり	水防法第29条 地すべり等防止法第25条
水　防　管　理　者	指　示	洪水・津波・高潮	水防法第29条
自　衛　官	指　示	災害全般	自衛隊法第94条
海　上　保　安　官	指　示	災害全般	災害対策基本法第61条

急傾斜地崩壊危険区域一覧表

備考中の※は、区域が接していることを表す。　（令和８年３月31日）

区域名	地区名	指定年月日	告示番号	面積(㎡)	保全人家	着 工	概 成	備考
岩下星谷	６丁目	H18. 2. 3	132	606	6	17県単		
白浜板戸	白　浜	S61. 7. 1	624	1,417	5	60公共	61公共	
外　浦	柿　崎	S62. 1.30	86	6,250	27	61公共	1	※
外浦№.２	〃	H 2. 9. 4	768	7,222	6	2	7公共	※
外浦№.３	〃	H 9. 2.18	138	1,951	8			※
外浦№.４	〃	H16.11.09	1078	173	9			
高　浜	須　崎	H 6. 3. 1	160	7,171	13	4公共	7公共	※※
高浜№.２	〃	H10. 1.16	51	6,674	27	9	15公共	※※
須崎小白浜	〃	S62. 6. 9	576	7,725	22	62公共	3	※※※
須崎小白浜№.２	〃	H4.10.16	904	7,620	16	4	7公共	※※※
須崎下条	〃	S50. 8.26	743	5,500	54	55公共	60公共	
須崎坂条	〃	S58. 8.16	734	3,480	32	58公共	62公共	
須崎坂条№.２	〃	S62. 6.30	644	10,784	29	63公共	5公共	
須崎坂条№.３	〃	H10. 1.16	52	5,059	17	9公共	12公共	
須　崎	〃	S47.12.05	939	7,884	62	49公共	60	※
須崎№.２	〃	S58.10.14	894	1,750	5	58県単	59県単	
須崎№.３	〃	H7. 3.31	306	176	5	5	5公共	※
柿　崎	柿　崎	S55.11.25	988	2,800	25	55公共	58	※※
柿崎№.２	〃	S58. 3. 8	200	2,750	11	59	60公共	※※
柿崎宮ノ瀬	〃	H18. 3.31	427	1,543	10	17公共		
河内片瀬	河　内	H15. 9.16	864	9,129	10	15公共		
志　戸	〃	H 4. 6.16	534	11,798	15	3公共	8公共	
蓮台寺山崎	蓮台寺	H14. 3. 8	184	2,366	7	13公共	14公共	
立野中之瀬	立　野	H14. 7. 2	596	3,356	19	12公共	13公共	
高　馬	高　馬	S61.12.23	1136	9,309	34	61公共	１公共	※※※
高馬南	〃	H 5. 6. 1	543	1,926	11	5	8	※※※
中根石	中	H17. 8.23	1034	4,475	11	16公共	16	

区域名	地区名	指定年月日	告示番号	面積(㎡)	保全人家	着 工	概 成	備考
西本郷１丁目南	西本郷	H15. 1. 7	6	11,304	30	14公共		※
西本郷１丁目南№.２	〃	H18. 1.13	56	8,247	34			
西本郷１丁目	西本郷	H11. 3.23	268	5,483	18	10公共	11公共	※
西本郷１丁目№.２	〃	H13. 3.16	261	641	0	10	11	※
岩　下	６丁目	S50. 8.26	743	11,200	23	53公共	60	※※
岩下№.２	〃	S61.12.26	1152	3,607	3	61	61公共	※※
岩下西	〃	S63. 3.31	351	1,771	11	62公共	3公共	
淡島山	〃	S55. 3.28	268	2,100	17	54県費補助	56県費補助	
吉佐美里条	吉佐美	H16.12.10	1180	4,500	11	16公共		
田牛三太山	田　牛	H18. 9.26	917	3,427	11	17県単		
岩下小山田	６丁目	H19. 8.28	803	654	4			
柿崎腰越	柿　崎	H19. 1.30	76	915	5			
神出山	大　沢	H21. 1.06	5	5,227	2			
河内諏訪	河　内	H21. 3.31	371	6,279	15			
吉佐美多々戸№.１	吉佐美	H23. 8.19	627	4,336	7	23公共		
吉佐美多々戸№.２	〃	H23 8.19	628	4,127	4	26公共		
河内入沢	河　内	H22.10.05	671	7,137	10	22公共		
河内松尾	〃	H26. 9. 9	702	2,780	5	27県単		
広岡理源山	５丁目	H29. 1.6	4	4,891	15			
西本郷一丁目№3	西本郷	R元.9.20	1028	3,572	22			※※
長田A	白浜	R３.３.２	143	210	5			

市道主要道路一覧表

（令和８年３月31日）

番号	路　線　名	起点　～　終点	等級	延長(m)
1	新町本通線	１丁目111～１丁目102	2	51.8
2	寺町通線	１丁目206-2～１丁目857-1	2	118.5
3	中横町通線	２丁目386～２丁目1183-1-7	2	144.9
4	弥治川町七軒町通線	３丁目782-1～３丁目770-1	2	184.2
5	坂下大浦線	３丁目664-1～３丁目1038-1	2	507.5
6	臨港第６号線	武ガ浜872-3～武ガ浜870-11	2	397.6
7	大浦鍋田通線	３丁目1038-1～５丁目280-1	1	998.2
8	連尺町武ガ浜通線	１丁目186-1～武ガ浜1275-7	2	409.7
9	連尺町中島通線	１丁目11～１丁目10-5	2	57.1
10	坂下和歌の浦線	３丁目736-1～３丁目1174-1	2	517.1
11	伊勢町脇ノ田通線	２丁目535-1～４丁目367-4	2	408.6
12	弥治川橋戸通線	３丁目786-1～１丁目673-13	2	889.8
13	平滑中島線	４丁目149-1～１丁目137-1	2	672.0
14	補助幹線街路３号線	西本郷１丁目8-1～東本郷２丁目2-16	2	188.4
15	上大沢線	蓮台寺字大方502-2～大沢字東裏山1578	1・その他	3,240.7
16	立野横川１号線	大沢字洗戸1071-2～大沢字石ケ坪1440	1・その他	3,876.0
17	河内白浜２号線	河内字湯ケ田834-1～河内字諏訪入1372	2・その他	1,358.3
18	高根３号線	河内字上湯原276-1～河内字中河内822-2	2	174.4
19	赤間丸山線	中字赤間567-5～中字横沢806-7	1・その他	1,311.4
20	蓮台寺停車場線	河内字下湯原147-1～河内字冷田895-3	2	167.2
21	赤間白浜線	中字赤間567-5～中字金久保842-1	1	1,621.9
22	西中45号線	西中23-1～土浜高馬線交差点	2	284.3
23	立野お吉ケ淵線	立野字小立野154-6～河内字上湯原297-3	1	866.5
24	寝姿橋通線	東本郷２丁目3～中字横枕489-1	2	343.9
25	諏訪志戸線	河内字冷田895-3～河内字満昌532-1	2	1,720.4
26	中横枕１号線	中字池田469-7～中字池田459-1	2	191.0
27	中横枕２号線	中字潰石452-1～東中20-1	2	584.1
28	敷根線	敷根675-3～敷根750	1・3	967.7
29	敷根１号線	敷根606-4～旧岡方村字大山田526-1	1	1,991.7
30	土浜高馬線	西本郷１丁目671-1～本郷橋地先県道交差点	1	2,070.1

番号	路　線　名	起点　～　終点	等級	延長(m)
31	大山線	田牛字鈴野40-1～田牛字大山722-9	1	1,100.3
32	吉佐美大賀茂線	吉佐美字石田1009-1～吉佐美字井ノ木田1256-1	1	1,010.1
33	吉佐美田牛線	吉佐美字峰小路590-1～田牛字垣内328	1	4,787.1
34	桂　線	吉佐美字大賀茂川359-2～吉佐美字桂1322	2	1,027.7
35	奥条線	吉佐美字大川田1305-2～大賀茂字岑田297	2	653.6
36	入田２号線	吉佐美字広畑278-1～吉佐美広畑348-1	2	342.6
37	荒井墹原線	大賀茂字合歓木580-5～大賀茂字墹原811-6	2	978.3
38	多々戸１号線	吉佐美字一沢74-3～吉佐美字牛穴2048	2	344.2
39	堀切線	大賀茂字墹原808-1～大賀茂字兎田917-1	2・その他	765.3
40	田牛海岸線	吉佐美字浜条2618-1～吉佐美字垣内330	1	1,970.1
41	腰越本作線	柿崎字日和山713-2～柿崎字本作707-13	2	482.7
42	柿崎須崎１号線	柿崎字大坪408-4～柿崎字尾竹山1175	2	1,544.8
43	浜条田代線	柿崎字浜条150-4～柿崎字田代293-2	2	362.4
44	浜条境野線	柿崎字上の山364-2～柿崎字境野1290	2	930.4
45	浜田外浦線	柿崎字浜田651-1～柿崎字外浦807	1	841.1
46	須崎海岸線	須崎字小白浜513～須崎字越瀬1641-1	1	834.3
47	須崎外浦線	柿崎字外浦813～須崎字竹山1162	2	1,331.5
48	柿崎須崎２号線	須崎字原180-4～須崎字坂口649-1	2	866.4
49	須崎線	須崎字社の上725-1～須崎字坂口649-1	1	906.2
50	禅福寺線	白浜字浜412-2～白浜字チイノキ247-1	2	726.1
51	赤間白浜線	白浜字女郎山2786-1～白浜字宮ノ前1686-4	1	2,492.7
52	白浜縄地線	白浜字砥川207-1～白浜字峠3323-1	2	1,653.4
53	砥川１号線	白浜字チイノキ251-2～白浜字砥川149-1	2	303.6
54	板見境ノ久保線	白浜字先山2754-8～白浜字小ナデ2678-1	2	578.4
55	下ノ條線	白浜字下ノ條2215-1～白浜字下ノ條2296-2	2	335.5
56	小長田１号線	白浜字小長田1333-2～白浜字小長田1248-1	2	543.6
57	一色線	白浜字砥川149-1～白浜字一色82-1	2	404.2
58	学校道線	白浜字小長田1271-3～白浜字小長田1288-1	2・3	178.8
59	小長田４号線	白浜字小長田1272-1～白浜字小長田1273-1	2	108.9
60	小長田３号線	白浜字神明1536-3～白浜字ミタラシ2984	2・3	315.0

番号	路　線　名	起点　～　終点	等級	延長(m)
61	小長田２号線	白浜字小長田1319-1～白浜字林川1334	2	166.4
62	口村茅原野線	須原字原1364-1-3～須原字稲生路山62-1	2	460.5
63	箕作椎原線	箕作字宮ノ前314-4～椎原字宮ノ前266-1	1	345.1
64	須郷線	須原字筏場21-2～須原字土取戸2487	1	2,867.9
65	宇土金線	宇土金字鍛冶屋田61～椎原字諭手274-1	2	1,853.4
66	椎原１号線	相玉字荒井田570-1～椎原字芝30-1	1	1,842.2
67	北湯ケ野１号線	北湯ケ野字荒蒔274-2～北湯ケ野字三反田原58-4	1	1,168.8
68	北湯ケ野里線	椎原字滝ノ上64-1～北湯ケ野字荒井蒔274-2	1	94.8
69	滑川線	椎原字滝ノ上28～北湯ケ野字風早938-1	1	1,265.6
70	北湯ケ野２号線	北湯ケ野字三反田原58-4～横川字湯ケ野田777-4	1	157.3
71	落合１号線	落合字落合口42-1-1～落合字居村287-1	1	355.1
72	落合谷津１号線	落合字宮ノ前282-1～落合字大硲173-1	2・その他	1,148.8
73	北の沢八木山線	須原字小河原1076-2～須原字八木山829-1	2	927
74	坂戸線	須原字山田244-1～須原字坂戸505	2	1,559.2
75	加増野１号線	加増野字平田196-1～加増野字大棟282-1	2	927.8
76	横一線	横川字湯ケ野田777-16～横川字団栗原1092-1	1	2,559.5
77	北湯ケ野３号線	北湯ケ野字三反田原54-1～横川字山口15-6	2	500.7
78	落合縄地１号線	落合字宮ノ前287-1～落合字尾口461-1	1	314.1
79	落合縄地３号線	落合字奥野385～落合字流岩828	1	938.7
80	尾平１号線	北湯ケ野字風早938-1～北湯ヶ野字津出959-1	2	1,228.3
81	数沢洞線	箕作字数沢765-2～箕作字石詰り942-1	2・その他	1,238.2
82	箕作宇土金線	箕作字橋詰10-5～宇土金字鍛冶屋田61	2	95.6
83	加増野２号線	加増野字富田原487-8～加増野字切立558-2	2・その他	575.7
84	八楠線	横川字山口15-6～横川字蕨原207-1	2	349.2
85	箕作谷戸洞線	箕作字谷戸口388～箕作字水呑橋1085	2	616.6
86	落合縄地線２号線	落合字尾口461-1～落合字奥野385	1	564.4
87	稲梓駅前通線	箕作字三森874-1～落合字道庭98-2	2	471.6
	合　　計			79,626.8

市内河川名一覧表

（令和８年３月31日）

水系名	支派川		河川名	延長(km)	起点～終点	摘要
	第１	第２				
稲生沢川（二級河川）	稲梓川（二級河川）		坂戸川（準用河川）	1.21	須原452～２級河川稲梓川への合流点	
		坂戸川（準用河川）	平峯川	0.30		
			西山川	0.25		
			大山川	0.53		
			逆川（準用河川）	0.75	八木山川合流点～２級河川稲梓川の起点	
		逆川（準用河川）	小河原川	0.27		
			八木山川（準用河川）	1.03	須原762～逆川への合流点	
			八木山川	0.60		第３支派川(準)八木山川
			引沢川	0.70		
			茅原野川	0.50		
		須郷川（二級河川）	入谷川（準用河川）	0.68	須原1831～２級河川須郷川の起点	
			狩足川	1.46		
			庵ノ入川	0.50		第３支派川(準)入谷川
			畑山川	1.25		第３支派川(準)入谷川
			矢弦田川	1.18		第３支派川(準)入谷川
			大登山川	0.78		
			林ノ峯川	0.53		
			滝ノ元川	0.80		
			鳴沢川	0.80		
			日陰山川	0.27		
			神田川	0.31		
			谷戸洞川（準用河川）	0.97	箕作461-1～２級河川稲生沢川への合流点	
			数沢川（準用河川）	1.19	箕作947～２級河川稲生沢川への合流点	
			大畑川	0.16		
			薮田川	0.21		
			北湯ヶ野川（準用河川）	4.14	北湯ヶ野663～２級河川稲生沢川への合流点	

水系名	支派川		河川名	延長(km)	起点～終点	摘要
	第１	第２				
	北湯ヶ野川（準用河川）		滑川（準用河川）	0.87	北湯ヶ野536～北湯ヶ野川への合流点	
			長窪川	1.32		
			満金川	1.35		
			滝ノ上川	0.66		
			八楠川（準用河川）	1.68	横川72～２級河川稲生沢川への合流点	
稲生沢川（二級河川）			加増野川（準用河川）	1.99	加増野265-2～加増野川への合流点	
	加増野川（準用河川）		日影平川	0.58		
			婆娑羅川	0.25		
			荒田川	0.67		
			久保ノ沢川	0.35		
			大棟川（準用河川）	0.67	加増野282-1～加増野川への合流点	
	大棟川（準用河川）		梅ノ木田川	0.38		
			大棟川	0.35		
			大塚川（準用河川）	0.41	加増野143-2～２級河川稲生沢川への合流点	
	大塚川（準用河川）		大塚川	0.56		
			下夕田川	1.29		
			平旨川	0.25		
			横川川（準用河川）	2.61	横川1134～２級河川稲生沢川への合流点	
	横川川（準用河川）		垣ノ内川	0.88		
			梶沢川	1.00		
			上藤原川	0.86		
			荒増川	0.75		
			谷戸川	0.40		
			長福寺川	0.30		
			茶々丸川	0.25		
			深根川	0.12		
			落合川（準用河川）	1.66	落合181～２級河川稲生沢川への合流点	

水系名	支派川		河川名	延長(km)	起点～終点	摘要
	第１	第２				
	落合川（準用河川）		中山川	0.57		
			椎木ヶ坪川	0.20		
			里川（準用河川）	1.10	落合385～落合川への合流点	
		里川（準用河川）	奥野川	0.40		
			片瀬川	0.35		
			入沢川	0.31		
			諏訪川	0.80		
			角栗川	0.48		
			樫田川	0.43		
稲生沢川（二級河川）	蓮台寺川（二級河川）		下藤原川	0.84		
			於花越川	0.89		
			大方川	0.22		
			上大沢川（準用河川）	1.71	大沢224-1～２級河川蓮台寺川の起点	
			下大沢川（準用河川）	1.87	大沢583-2～２級河川蓮台寺川の起点	
		上大沢川（準用河川）	氏神沢川	0.23		
			桂岡川	0.25		
			一ノ坂川	0.24		
			砥石川	0.80		
			上大沢川	1.10		
			後田川	0.44		第３支派川上大沢川
			東谷川	0.47		第３支派川上大沢川
			滝沢川	0.62		
		下大沢川（準用河川）	松ノ木田川	0.39		
			間ノ峯川	0.20		
	敷根川（二級河川）		平田川（準用河川）	0.60	敷根737-1～２級河川敷根川の起点	
		平田川（準用河川）	平田川	0.47		
			赤間川（準用河川）	0.36	中531～２級河川稲生沢川への合流点	

水系名	支派川		河川名	延長(km)	起点～終点	摘要
	第１	第２				
			丸　山　川	0.77		
	平　滑　川（二級河川）		広　岡　川（準用河川）	1.09	旧岡方村510～２級河川平滑川の起点	
			高　馬　川	0.50		
			一　色　川（準用河川）	1.21	白浜6-1～海に至る	
			砥　川（準用河川）	0.25	白浜232～海に至る	
			御　嶽　川（準用河川）	0.26	白浜536～海に至る	
御　嶽　川（準用河川）			御　嶽　川	0.41		
			古　根　川（準用河川）	1.14	白浜948～海に至る	
古　根　川（準用河川）			広　田　川	1.25		
			長谷戸川	0.56		
			見合沢川	0.25		
			宮　前　川（準用河川）	1.37	白浜1333-2～海に至る	
宮　前　川（準用河川）			細　入　川	0.56		
			宮ノ前川	0.65		
宮　前　川（準用河川）			神　明　川（準用河川）	1.26	白浜1604～宮前川への合流点	
	神　明　川（準用河川）		大　坪　川	0.40		
			下　條　川（準用河川）	0.77	白浜2493～海に至る	
下　條　川（準用河川）			平　川	0.45		
			山　口　川（準用河川）	0.82	白浜2041-1～下條川への合流点	
	山　口　川（準用河川）		コイサワ川	0.25		
			峯　田　川	0.26		
			ヒヤリ川	0.58		
			上ノ山川（準用河川）	1.39	柿崎1184-1～海に至る	
			外　浦　川（準用河川）	0.55	柿崎1083～海に至る	
外　浦　川（準用河川）			竹　原　川	0.18		
			尾　竹　川	0.23		
			梨ノ木川	0.22		

水系名	支派川		河川名	延長(km)	起点～終点	摘要
	第１	第２				
			嵐　留　川	0.32		
			田ノ浦川	0.20		
			神　原　川	0.42		
神　原　川			長水瀬川	0.16		
			小白浜川	0.30		
			須　崎　川（準用河川）	0.99	須崎728-2～海に至る	
			西　越　川	0.12		
			福　浦　川	0.20		
			間戸浜川	0.10		
			鍋　田　川（準用河川）	0.51	5-254-4～海に至る	
鍋　田　川（準用河川）			エノケ窪川	0.10		
			多々戸川（準用河川）	0.90	吉佐美108～海に至る	
多々戸川（準用河川）			長久保川	0.28		
			入　田　川（準用河川）	0.89	吉佐美179～海に至る	
入　田　川（準用河川）			亀　石　川	0.45		
			傾　城　川	0.47		
			宮井戸川	0.84		
			大　浜　川（準用河川）	1.57	吉佐美2007～海に至る	
			田　牛　川（準用河川）	1.80	田牛7-1～海に至る	
田　牛　川（準用河川）			真　門　川	0.37		
			鈴　野　川	0.36		
			上　条　川	0.43		
			奥ノ入川	0.22		
			碁石浜川	0.27		
			長　谷　川	0.45		
			滝ノ浦川	0.23		
大賀茂川（二級河川）			浜　条　川	0.88		

水系名	支派川		河川名	延長(km)	起点～終点	摘要
	第１	第２				
			入　条　川	0.24		
			洗　田　川（準用河川）	0.89	吉佐美2351-4～２級河川大賀茂川への合流点	
			金　原　川	0.89		
			用　田　川	0.35		
			林　山　川（準用河川）	1.56	大賀茂1231-1～２級河川大賀茂川への合流点	
	林　山　川（準用河川）		笹　峯　川	0.28		
			芝　原　川	0.50		
			奥　条　川（準用河川）	0.79	大賀茂1307～２級河川大賀茂川への合流点	
	奥　条　川（準用河川）		笹　薮　川	0.74		
			桂　川（準用河川）	1.17	大賀茂399～２級河川大賀茂川への合流点	
	桂　川（準用河川）		山　畑　川	0.66		
			長久保川	0.35		
			白　岩　川（準用河川）	0.97	大賀茂1012～２級河川大賀茂川への合流点	
	白　岩　川（準用河川）		柳　沢　川	0.55		
			堀　切　川（準用河川）	0.88	大賀茂921～白岩山川への合流点	
		堀　切　川（準用河川）	堀　切　川	0.52		
			田　代　川	0.26		第３支派川堀　切　川
			清水谷戸川	0.30		
			楠木田川	0.30		

主要道路中のトンネル一覧表

（令和８年３月31日）

記号	所在地	トンネル名	形状			備考
			幅員(m)※	延長(m)	高さ(m)	
ア	４丁目（広岡）	乳峯トンネル	8.60	122.20	4.50	国道136号
イ	４丁目（広岡）	広岡トンネル	8.65	27.40	4.50	〃
ウ	５丁目（広岡）	下田第一トンネル	6.50	66.20	3.50	〃
エ	５丁目	下田第二トンネル	6.40	47.40	3.40	〃
オ	大賀茂	大賀茂トンネル	9.25	98.50	4.50	県　道
カ	大賀茂	八声トンネル	9.40	102.00	4.50	〃
キ	加増野	婆姿羅トンネル	8.00	208.50	4.50	〃
ク	５丁目	鍋田隧道	4.00	33.00	4.00	市　道
ケ	吉佐美	吉佐美隧道	3.80	106.80	3.80	〃
コ	田　牛	田牛隧道	3.60	110.00	3.60	〃
サ	田　牛	大山隧道	4.00	29.40	3.80	〃
シ	吉佐美	田牛第一トンネル	5.90	31.80	4.70	〃
ス	吉佐美	田牛第二トンネル	6.00	167.90	3.00	〃
セ	田　牛	田牛第三トンネル	5.00	111.20	4.70	〃
ソ	田　牛	田牛第四トンネル	5.00	141.60	3.50	〃
タ	立　野	立野トンネル	9.25	203.00	4.50	国道414号
チ	３丁目	和歌浦隧道	4.50	140.00	4.00	市　道

※幅員に関しては、市道：車道部、県道：車道＋路側

過去の下田市を襲った津波

日本歴	西 暦	震　源	規模	最高水位	死者	流出 全壊	半壊	浸水	沈没 破船
慶長 9.12.16	1605 2. 3	南海道沖① 房　総　沖②	M7.9						
元禄 16.11.23	1703 12.31	相模湾房総沖	M8.2		27	332	16		81
宝永 4.10. 4	1707 10.28	東海道及び 南　海　道	M8.4	下　田　5.6 岡　方　4.4 柿　崎　6.7	11	857	55		93
安政 1.11. 4 1.11. 5	1854 12.23 12.24	東　海　道　沖 南　海　道　沖	M8.4 M8.4	下　田　5.7 岡　方　4.8 柿　崎　6.7	122	841	30		30
大正12.	1923 9. 1	相　模　灘 小　田　原　沖	M7.9	柿　崎　4.6 外　浦　4.1		2	9	床上　14 床下 120	
昭和19.	1944 12. 7	熊　野　灘	M8.3	須崎町　2.1 大工町　1.9 柿　崎　2.5				186	86
昭和21.	1946 12.21	南　海　道　沖	M8.1					245	26
昭和27.	1952 11. 5	カムチャッカ 半　島　沖	M8.3	下　田　1.5				床下 120	
昭和35.	1960 5.24	チ　リ　沖	M8.3 ～ M8.5	下　田 1.14				床下　38	
昭和49.	1974 5. 9	伊豆半島南端	M6.9			23	42		
昭和53.	1978 1.14	伊豆大島沖	M7.0			12	24		

（国立天文台理科年表による）

津波注意報、警報、地震及び津波情報の種類

（静岡地方気象台）

（１） 津波予報

気象業務法に基づき、気象庁本庁は静岡県が属する津波予報区内に予想される津波の規模、範囲について津波予報を発表する。

また、予想される津波の到達時刻や高さ、実際に観測された津波の到達時刻や高さ等を津波情報として発表する。

津波予報の種類等は次のとおりである。

第１表　津波予報の種類、解説及び発表される津波の高さ

種　類	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表（波の高さ予想の区分）	巨大地震の場合の発表	
大津波警報（特別警報）	予想される津波の高さが高いところで３ｍを超える場合。	10m超（10m＜予想高さ）	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
		10m（５ｍ＜予想高さ≦10m）		
		５ｍ（３ｍ＜予想高さ≦５ｍ）		
津 波 警 報	予想される津波の高さが高いところで１ｍを超え、３m以下の場合。	３ｍ（１ｍ＜予想高さ≦３ｍ）	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、１ｍ以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	１ｍ（0.2m≦予想高さ≦１ｍ）	（表記しない）	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。

（注）１．津波による災害のおそれがないと予想される場合には、「津波の心配はない」旨または、「若干の海面変動があるかもしれないが、被害の心配はない」旨について地震情報に含めて発表する。
２．津波による災害のおそれがなくなったと認める場合、「津波警報解除」又は「津波注意報解除」として速やかに通知する。
３．「津波の高さ」とは、津波によって潮位が高くなった時点におけるその潮位と、その時点に津波がなかった場合の潮位との差であり、津波によって潮位が上昇した高さをいう。

（２） 津波予報区

日本の沿岸は66の津波予報区に分けられている。そのうち、下田市が属する津波予報区は、以下のとおりである。

第２表　下田市が属する津波予報区

府県予報区	一次細分区域
静　岡　県	伊　　豆
市町村等をまとめた地域	二次細分区域
伊　豆　南	下　田　市

第１図　静岡県及び周辺の県が属する津波予報区

（３） 地震及び津波情報の種類

地震情報及び津波情報の種類は次のとおりである。

第３表　地震情報の種類

地震情報の種類	発表基準	内　　容
震　度　速　報	・震度３以上	地震発生約１分半後に、震度３以上を観測した地域名（全国を188地域に区分）と地震の揺れの発現時刻を速報。
震源に関する情報	・震度３以上 （津波警報または注意報を発表した場合は発表しない）	地震の発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）を発表。 「津波の心配ない」または「若干の海面変動があるかもしれないが被害の心配はない」旨を付加。
震源・震度に関する情報	以下のいずれかを満たした場合 ・震度３以上 ・津波警報または注意報発表時 ・若干の海面変動が予想される場合 ・緊急地震速報（警報）を発表した場合	地震の発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）、震度３以上の地域名と市町村名を発表。 震度５弱以上と考えられる地域で、震度を入手していない地点がある場合は、その市町村名を発表。
各地の震度に関する情報	・震度１以上	震度１以上を観測した地点のほか、地震の発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）を発表。 震度５弱以上と考えられる地域で、震度を入手していない地点がある場合は、その地点名を発表。
遠地地震に関する情報	国外で発生した地震について以下のいずれかを満たした場合等 ・マグニチュード7.0以上 ・都市部など著しい被害が発生する可能性がある地域で規模の大きな地震を観測した場合	地震の発生時刻、発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）を概ね30分以内に発表。 日本や国外への津波の影響に関しても記述して発表。
そ の 他 の 情 報	・顕著な地震の震源要素を更新した場合や地震が多発した場合など	顕著な地震の震源要素更新のお知らせや地震が多発した場合の震度１以上を観測した地震回数情報等を発表。
推計震度分布図	・震度５弱以上	観測した各地の震度データをもとに、１km四方ごとに推計した震度（震度４以上）を図情報として発表。

第４表　津波情報の種類

種　　類	内　　容
津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報	各津波予報区の津波の到達予想時刻※や予想される津波の高さ（発表内容は津波警報・注意報の種類の表に記載）を発表する。 ※　この情報で発表される到達予想時刻は、各津波予報区でもっとも早く津波が到達する時刻である。場所によっては、この時刻よりも１時間以上遅れて津波が襲ってくることもある。
各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報	主な地点の満潮時刻・津波の到達予想時刻を発表する。
津波観測に関する情報　（＊１）	沿岸で観測した津波の時刻や高さを発表する。
沖合の津波観測に関する情報　（＊２）	沖合で観測した津波の時刻や高さ、及び沖合の観測値から推定される沿岸での津波の到達時刻や高さを津波予報区単位で発表する。

（＊１）津波観測に関する情報の発表内容について

警報・注意報の発表状況	観測された津波の高さ	内　　容
大津波警報を発表中	１ｍ超	数値で発表
	１ｍ以下	「観測中」と発表
津波警報を発表中	0.2m以上	数値で発表
	0.2m未満	「観測中」と発表
津波注意報を発表中	（すべての場合）	数値で発表（津波の高さがごく小さい場合は「微弱」と表現。）

（＊２）沖合の津波観測に関する情報の発表内容について

警報・注意報の発表状況	沿岸で推定される津波の高さ	内　　容
大津波警報を発表中	３ｍ超	沖合での観測値、沿岸での推定値とも数値で発表
	３ｍ以下	沖合での観測値を「観測中」、沿岸での推定値を「推定中」と発表
津波警報を発表中	１ｍ超	沖合での観測値、沿岸での推定値とも数値で発表
	１ｍ以下	沖合での観測値を「観測中」、沿岸での推定値を「推定中」と発表
津波注意報を発表中	（すべての場合）	沖合での観測値、沿岸での推定値とも数値で発表

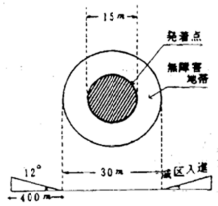
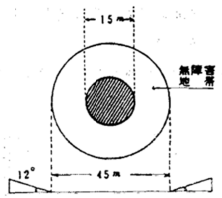
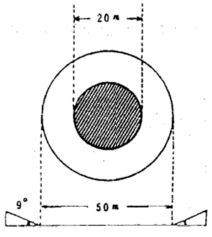
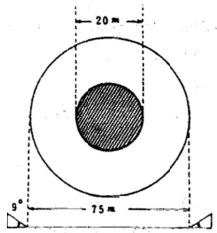
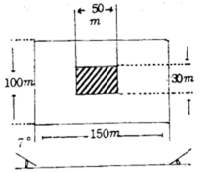
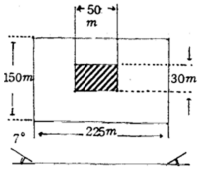
※　沿岸からの距離が100㎞を超えるような沖合の観測点では、津波予報区との対応付けが難しいため、沿岸での推定値は発表しない。また、観測値についても、他の観測点で観測値や推定値が数値で発表されるまでは、「観測中」と発表する。

下田市指定防災ヘリポート

	ヘリポート名称 及び所在地	ヘリサイズ	着陸面積 (m×m)	着陸帯 表面	離着陸時 散水要否	進入不可方向 ①北②北東③東 ④南東⑤南⑥南西 ⑦西⑧北西	津波浸水可能性 (最大クラス)
1	敷根公園健康広場 敷根757	大	100×75	砂質	要	なし	なし
2	吉佐美運動公園 吉佐美1900-1	中	50×50	砂地	要	①②⑧	あり
3	下田市グリーンエリアヘリポート 須崎1235-1	中	30×40	舗装	不要	①②③⑦⑧	なし
4	まどが浜海遊公園 柿崎字間戸浜7-8、7-9	中	45×45	芝生	不要	①②⑧	あり
5	福浦ヘリポート 須崎1801	中	30×30	舗装	不要	②③④	あり
6	原田区駐車場 白浜2733-5	中	30×50	採石・芝	不要	⑤⑥⑦	あり
7	下田セントラルホテルグラウンド 北湯ヶ野256-1	中	75×85	芝生	要	なし	なし
8	下大沢ヘリポート 下大沢字松ノ窪1254	中	25×25	砂質	要	なし	なし
9	白浜小学校グラウンド 白浜1324-1	中	70×70	砂質	要	①②③⑥⑦⑧	なし

ヘリポートの具備すべき条件

1 離着陸（発着）のため必要最小限度の地積

項目＼区分		昼間使用	夜間使用
発着場基準	OH－6J 小型 m（全長 9.30 全巾 8.05）		
	UH－1H 中型 m（全長 17.40 全巾 14.64）		
	CH－47J 大型 m（全長 30.18 全巾 16.26）		

（注）民間航空機を除く。
発着点とは、安全・容易に接地するため準備された地点。
無障害地帯 離着陸に障害とならない地域。
民間航空機については、全長及び全巾の長さ以上の着陸帯，進入区域の長さ500m、進入表面のこう配８分の1(7°)を最低限確保する必要がある。
ただし、捜査または救助のための特例として、航空法の適用が除外される場合を除く。

（2）地 表 面

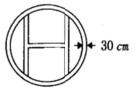
ア 舗装された場所が最も望ましい。

イ グラウンド等の場合、板、トタン、砂塵等が巻き上がらないよう処置すること（地表面が乾燥している場合は、砂塵の巻き上げ防止のため十分な散水を行う）。

ウ 草地の場合は硬質低草地であること。

2 着 陸 点

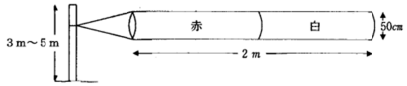
着陸点（直径30m）のほぼ中央に石灰等で直径10mの正円を画き、中央にHと記す。



3 着陸帯付近（着陸点中央からなるべく離れた地点で地形、施設等による風の影響の少ない場所）に吹き流 し、または旗をたてる。

（1）布 製

（2）風速 25m／秒速度に耐えられる強度



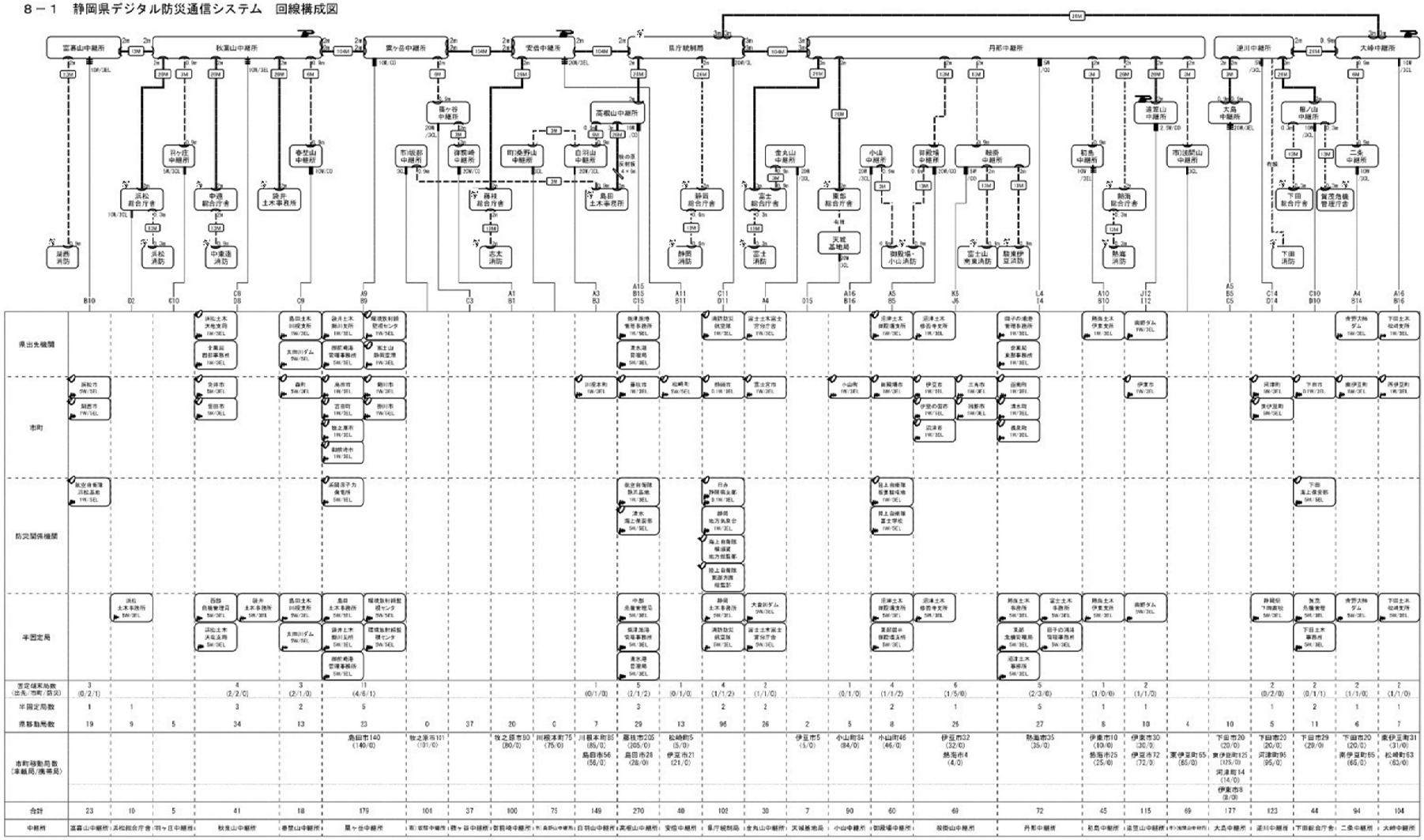
4 救急車等、車両の出入の便がよい場所であること。

5 電話等、通信手段の利用が可能であること。

6 離着陸地帯にみだりに人が近づかないよう配慮すること。

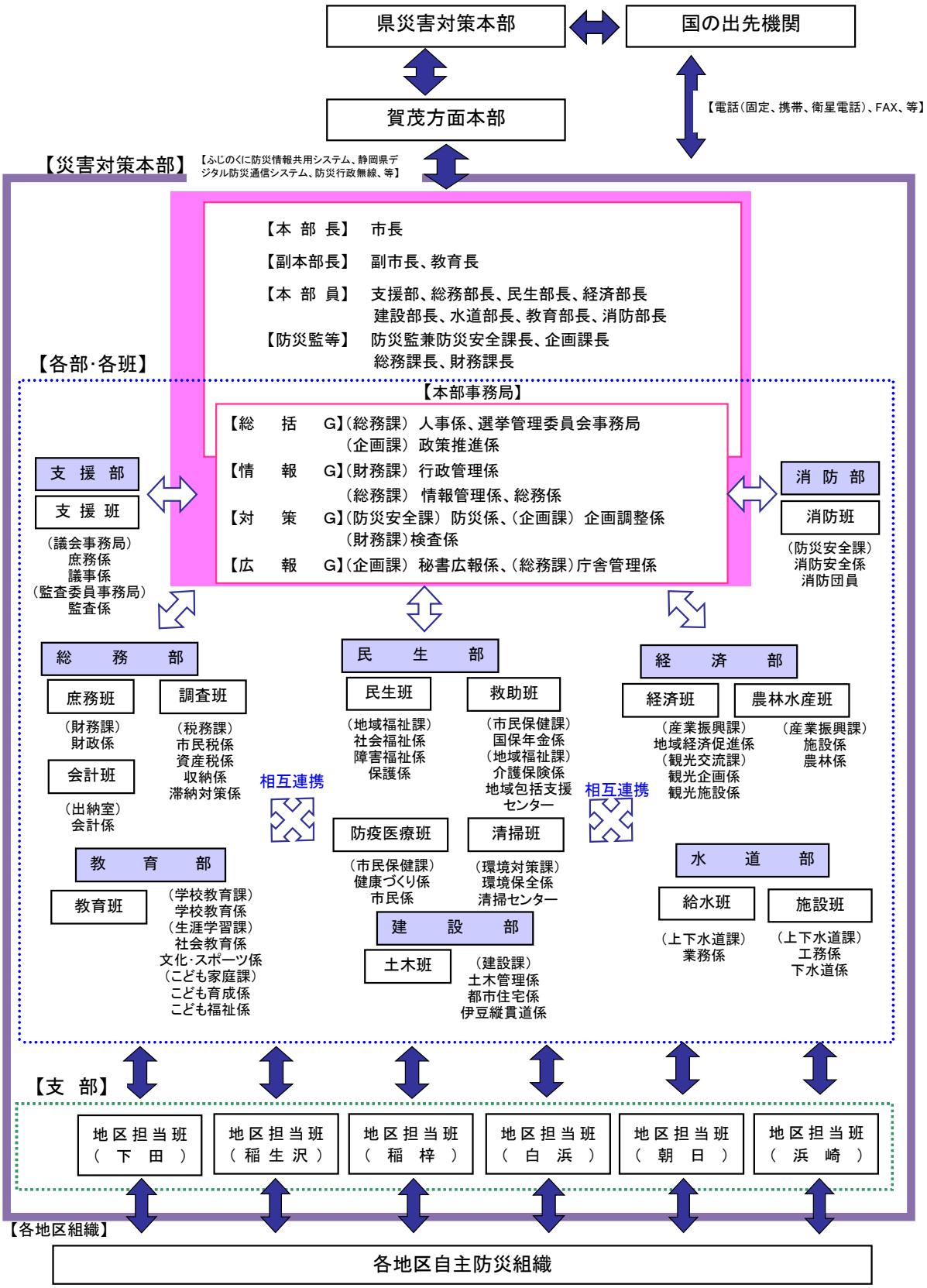
特に、ヘリコプターのテールローターには、注意がおろそかになる傾向があるので、機体の尾部には絶対に近づかないよう配慮する必要がある。

８－１　静岡県デジタル防災通信システム　回線構成図



令和７年４月１日現在

【通信情報網図】


県災害対策本部
国の出先機関
賀茂方面本部
【電話（固定、携帯、衛星電話）、FAX、等】
【災害対策本部】
【ふじのくに防災情報共用システム、静岡県デジタル防災通信システム、防災行政無線、等】
【本 部 長】 市長
【副本部長】 副市長、教育長
【本 部 員】 支援部、総務部長、民生部長、経済部長
建設部長、水道部長、教育部長、消防部長
【防災監等】 防災監兼防災安全課長、企画課長
総務課長、財務課長
【各部･各班】
【本部事務局】
【総 括 G】（総務課） 人事係、選挙管理委員会事務局
（企画課） 政策推進係
【情 報 G】（財務課） 行政管理係
（総務課） 情報管理係、総務係
【対 策 G】（防災安全課） 防災係、（企画課） 企画調整係
（財務課）検査係
【広 報 G】（企画課） 秘書広報係、（総務課）庁舎管理係
支 援 部
支 援 班
（議会事務局）
庶務係
議事係
（監査委員事務局）
監査係
消 防 部
消防班
（防災安全課）
消防安全係
消防団員
総 務 部
庶務班
（財務課）
財政係
調査班
（税務課）
市民税係
資産税係
収納係
滞納対策係
会計班
（出納室）
会計係
民 生 部
民生班
（地域福祉課）
社会福祉係
障害福祉係
保護係
救助班
（市民保健課）
国保年金係
（地域福祉課）
介護保険係
地域包括支援センター
防疫医療班
（市民保健課）
健康づくり係
市民係
清掃班
（環境対策課）
環境保全係
清掃センター
経 済 部
経済班
（産業振興課）
地域経済促進係
（観光交流課）
観光企画係
観光施設係
農林水産班
（産業振興課）
施設係
農林係
相互連携
相互連携
教 育 部
教育班
（学校教育課）
学校教育係
（生涯学習課）
社会教育係
文化･スポーツ係
（こども家庭課）
こども育成係
こども福祉係
建 設 部
土木班
（建設課）
土木管理係
都市住宅係
伊豆縦貫道係
水 道 部
給水班
（上下水道課）
業務係
施設班
（上下水道課）
工務係
下水道係
【支 部】
地区担当班（下田）
地区担当班（稲生沢）
地区担当班（稲梓）
地区担当班（白浜）
地区担当班（朝日）
地区担当班（浜崎）
【各地区組織】
各地区自主防災組織

配 備 基 準

【地震災害】

配備基準	体　制	配備部局（自動参集）	配備内容
市内で震度４の地震を観測し気象庁が発表したとき	事前配備体制 （情報収集体制）	防災安全課の職員及び関係各課（総務課・財務課・産業振興課・建設課・上下水道課）の係長以上の職員	・各所属所要の人員による、情報収集及び連絡活動を主とした体制
市内で震度５弱の地震を観測し気象庁が発表したとき	事前配備体制 （警戒体制）	全職員	・災害対策本部設置準備 ・各所属で情報収集及び連絡活動を行い、事態の推移に伴い、速やかに警戒活動等を実施する体制
市内で震度５強以上を観測する地震を気象庁が発表したとき	災害対策本部 設置体制	全職員	・災害対策本部設置 ・災害対策（救助）に万全を期す体制

【津波災害】

配備基準	体　制	配備部局（自動参集）	配備内容
津波注意報が市内に発表されたとき	事前配備体制 （情報収集体制）	防災安全課の職員及び関係各課（総務課・財務課・産業振興課・建設課・上下水道課）の係長以上の職員	・各所属所要の人員による、情報収集及び連絡活動を主とした体制
津波警報が市内に発表されたとき	事前配備体制 （警戒体制）	全職員	・災害対策本部設置準備 ・各所属で情報収集及び連絡活動を行い、事態の推移に伴い、速やかに警戒活動等を実施する体制
大津波警報（特別警報）が市内に発表されたとき	災害対策本部 設置体制	全職員	・災害対策本部設置 ・全庁的な情報共有体制を執るとともに、所要の指示に基づく災害応急対策を実施

【風水害】

配備基準	体制	配備部局	配備内容
大雨、洪水、高潮注意報が市内に発表され、警報への切替えが予測されるとき	事前配備体制 （情報収集体制）	事前配備要員（防災安全課の職員及び関係各課（産業振興課、建設課）の当番）	・自宅待機。担当課長の判断により、登庁し情報収集及び連絡活動を主とした体制
大雨、洪水、高潮、暴風警報が市内に発表されたとき	事前配備体制 （情報収集体制）	事前配備要員（防災安全課の職員及び関係各課（産業振興課、建設課）の当番）	・情報収集及び連絡活動を主とした体制

大雨、洪水、高潮、暴風警報が市内に発表され、危険な状態が予想されるとき	事前配備体制 （警戒体制）	事前配備要員（防災安全課の職員及び関係各課（産業振興課、建設課）の当番）、また状況判断により関係各課（産業振興課、建設課、上下水道課、総務課、市民保健課等）の職員を動員	・災害対策本部設置準備 ・各所属で情報収集及び連絡活動を行い、事態の推移に伴い、速やかに警戒活動等を実施する体制
特別警報が市内に発表されたとき又は大規模な災害の発生したとき、もしくは発生するおそれがあるとき	災害対策本部 設置体制	全職員	・災害対策本部設置 ・全庁的な情報共有体制を執るとともに、所要の指示に基づく災害応急対策を実施

【原子力災害】

配備基準	体　制	配備部局
県から警戒事象発生の通報を受けた場合	警戒本部の設置準備体制	防災安全課の職員
県から特定事象の通報を受けた場合	警戒本部体制	防災安全課及び各課の係長以上の職員
内閣総理大臣が原子力緊急事態宣言を発出した場合	災害対策本部設置体制	全職員

参 集 場 所

災　害	事　象	参集場所（勤務時間内・外）	備　考
地　　震	震度４又は南海トラフ地震臨時情報（調査中・巨大地震注意）	下田市役所　本館	
	南海トラフ巨大地震臨時情報（巨大地震警戒）又は震度５弱以上		
津　　波	津波注意報		
	津波警報		
	大津波警報		

■地区担当班

災　害	事　象	参集場所（勤務時間内・外）	備　考
地　　震	南海トラフ巨大地震臨時情報（巨大地震警戒）又は震度５弱以上	指定された避難所	
津　　波	津波警報	指定された避難所	
	大津波警報		

※　上下水道課及び環境対策課は、各々の参集場所として定める管理施設に参集する。

令和8年度 災害対策本部要員表

1．災害対策本部体制要員表　　◎部長　　○副部長				
区　分	人　　員			
本部長	市長			
副本部長	副市長・教育長			
本部事務局	防災安全課長兼防災監　防災監代理（企画課長・総務課長・財務課長）			
本部要員	動員計画によりあらかじめ定めた職員			
部	部長及び副部長	班	班長	班員
本部事務局	◎防災安全課長兼防災監 ○防災監代理 （企画課長） （総務課長） （財務課長）	総括グループ	◎人事係長 ○政策推進係長	（総務課） 人事係 選挙管理委員会事務局 （企画課） 政策推進係
		情報グループ	◎行政管理係長 ○情報推進係長 ○総務係長	（財務課） 行政管理係 （総務課） 情報推進係 総務係
		対策グループ	◎防災係長 ○企画調整係長 ○検査係長	（防災安全課） 防災係 （企画課） 企画調整係 （財務課） 検査係
		広報グループ	◎秘書広報係長 ○庁舎管理係長	（企画課） 秘書広報係 （総務課） 庁舎管理係
総務部	◎税務課長 ○出納室長	庶務班	◎財政係長	（財務課）財政係
		調査班	◎市民税係長 ○資産税係長 ○収納係長 ○滞納対策係長	（税務課） 市民税係 資産税係 収納係 滞納対策係
		会計班	◎会計係長	（出納室）会計係
		地区担当班	別に定める	
民生部	◎地域福祉課長 ○市民保健課長 ○環境対策課長	民生班	◎保護係長 ○障害福祉係長 ○社会福祉係長	（地域福祉課） 保護係 障害福祉係 社会福祉係
		救助班	◎国保年金係長 ○介護保険係長 ○地域包括支援センター長	（市民保健課） 国保年金係 （地域福祉課） 介護保険係 地域包括支援センター
		防疫医療班	◎健康づくり係長 ○市民係長	（市民保健課） 健康づくり係 市民係
		清掃班	◎清掃センター長 ○環境保全係長	（環境対策課） 清掃センター 環境保全係
経済部	◎産業振興課長 ○観光交流課長	経済班	◎地域経済促進係長 ○観光企画係長 ○観光施設係長	（産業振興課） 地域経済促進係 （観光交流課） 観光企画係 観光施設係
		農林水産班	◎施設係長 ○農林係長	（産業振興課） 施設係 農林係
建設部	◎建設課長	土木班	◎土木管理係長 ○都市住宅係長	（建設課） 土木管理係 都市住宅係

			○伊豆縦貫道係長	伊豆縦貫道係
水道部	◎上下水道課長 ○上下水道課工務係長	給水班	◎業務係長	（上下水道課）業務係
		施設班	◎下水道係長	（上下水道課）工務係 下水道係
教育部	◎学校教育課長 ○生涯学習課長 ○こども家庭課長 ○学校教育課参事	教育班	◎学校教育係長	（学校教育課） 学校教育係 （生涯学習課）
			○社会教育係長	社会教育係 文化・スポーツ係
			○文化・スポーツ係長 ○こども育成係長 ○こども福祉係長	（こども家庭科） こども育成係 こども福祉係
消防部	◎消防団長 ○消防副団長	消防班	◎消防安全係長	（防災安全課）消防安全係 （消防団）消防分団長

【災害対策本部編成図】

【本部長】
市　長

【副本部長】
副市長
教育長

【本部事務局】

【事務局長】
防災監兼
防災安全課長

【副事務局長】
企画課長
総務課長
財務課長

【総括G】
（総務課）
人事係
選挙管理委員会
事務局
（企画課）
政策推進係

【情報G】
（財務課）
行政管理係
（総務課）
情報推進係
総務係

【対策G】
（防災安全課）
防災係
（企画課）
企画調整係
（財務課）
検査係

【広報G】
（企画課）
秘書広報係
（総務課）
庁舎管理係

【部名】	【班】	【班員】
支援部	支援班	（議会事務局） 庶務係 議事係 （監査員事務局） 監査係
総務部	庶務班	（財務課） 財政係
	調査班	（税務課） 市民税係 資産税係 収納係 滞納対策係
	会計班	（出納室） 会計係
	地区担当班	別途定める
民生部	民生班	（地域福祉課） 保護係 障害福祉係 社会福祉係
	救助班	（市民保健課） 国保年金係 （地域福祉課） 介護保険係 地域包括支援センター
	防疫医療班	（市民保健課） 健康づくり係 市民係
	清掃班	（環境対策課） 環境保全係 清掃センター
経済部	経済班	（産業振興課） 地域経済促進係 （観光交流課） 観光企画係 観光施設係
	農林水産班	（産業振興課） 施設係 農林係
建設部	土木班	（建設課） 土木管理係 都市住宅係 伊豆縦貫道係
水道部	給水班	（上下水道課） 業務係
	施設班	（上下水道課） 工務係 下水道係
教育部	教育班	（学校教育課） 学校教育係 （生涯学習課） 社会教育係 文化・スポーツ係 （こども家庭課） こども育成係 こども福祉係
消防部	消防班	（防災安全課） 消防安全係 （消防団） 消防団員

【本部会議】
本 部 長
副本部長
支 援 部
部　　長

※災害対策本部組織は、令和8年5月以降の組織体制に基づき作成

広 報 文 例

【例文１】津波注意報
（サイレン10秒吹鳴、２秒休止、10秒吹鳴）

こちらは広報しもだです。
下田市役所からお知らせします。
ただいま、津波注意報が発表されました。
海岸や河川の近くの方は、注意してください。
（予想される津波の到着予想時間は　　時　　分頃です。）
繰り返します・・・・・。
こちらは広報しもだでした。

【例文２】津波警報
（サイレン５秒吹鳴、６秒休止、５秒吹鳴）

こちらは広報しもだです。
下田市役所からお知らせします。
ただいま、津波警報が発表されました。
海岸や河川の近くの方は、高いところに避難してください。
（予想される津波の到着予想時間は　　時　　分頃です。）
繰り返します・・・・・。
こちらは広報しもだでした。

【例文３】大津波警報
（サイレン３秒吹鳴、２秒休止、３秒吹鳴）

こちらは広報しもだです。
下田市役所からお知らせします。
ただいま、大津波津波警報が発表されました。
ただちに、海岸や河川から遠く離れ、高いところに避難してください。
（予想される津波の到着予想時間は　　時　　分頃です。）
繰り返します・・・・・。
こちらは広報しもだでした。

【例文４】津波襲来時
（サイレン10秒吹鳴、２秒休止、10秒吹鳴）

こちらは広報しもだです。
下田市役所からお知らせします。
ただいま、海岸に（　　メートル級の）津波が押し寄せています。
津波は何回も押し寄せます。
津波警報が解除されまで、引続き注意してください。
繰り返します・・・・・。
こちらは広報しもだでした。

【例文５】津波解除

こちらは広報しもだです。
下田市役所からお知らせします。
発表されておりました、津波注意報（警報）は、午前・後　　時　　分、解除になりました。
繰り返します・・・・・。
こちらは広報しもだでした。

【例文６】地震

こちらは広報しもだです。
下田市役所からお知らせします。
ただいま、（大きな）地震がありました。
身の安全を守り、火の始末をしてください。
津波の恐れがあります。
海岸や河川の近くにいる方は、高い場所に避難してください。
テレビやラジオからの正しい情報に十分注意してください。
繰り返します・・・・・。
こちらは広報しもだでした。

【例文７】東海地震に関連する調査情報

こちらは広報しもだです。
下田市役所からお知らせします。
本日午前・後　　時　　分、東海地震に関連する調査情報が発表されました。
東海地震がおきるかどうかは今のところわかりません。
通常どおりの生活を続け、テレビ、ラジオをつけ、詳しい情報を聞いてください。
繰り返します・・・・・。
こちらは広報しもだでした。

【例文８】東海地震注意情報

こちらは広報しもだです。
下田市役所からお知らせします。
本日午前・後　　時　　分、東海地震注意情報が発表されました。
東海地震がおきる危険性があります。
テレビ、ラジオをつけ、詳しい情報を聞いてください。
万一にそなえて家庭での対策を行ってください。
繰り返します・・・・・。
こちらは広報しもだでした。

【例文９】東海地震予知情報

こちらは広報しもだです。
下田市役所からお知らせします。
本日午前・後　　時　　分、東海地震予知情報が発表されました。
東海地震がおきる可能性が高まっています。
テレビ、ラジオをつけ、地震についての詳しい情報を聞いてください。
津波や山崖崩れの危険のある地区の方は、防災対策をし、避難を開始してください。
繰り返します・・・・・。
こちらは広報しもだでした。

【例文10】警戒宣言発令時
（サイレン45秒吹鳴、15秒休止を３回繰返し）

こちらは広報しもだです。
下田市役所からお知らせします。
本日午前・後　　時　　分、内閣総理大臣から東海地震に係る警戒宣言が発令されました。
東海地震がおきるおそれがあります。
津波や山崖崩れの危険のある地区の方は、防災対策をし、避難を開始してください。
テレビ、ラジオをつけ、地震についての詳しい情報を聞いてください。
繰り返します・・・・・。
こちらは広報しもだでした。

広域避難地一覧表

名　　称	避難地面積（ha） 上段：建　物 下段：運動場	対象自治会	避難人口（推定：人）	
			昼　　間	夜　　間
下 田 中 学 校	0.6 1.3	旧 下 田	5,987	5,756
敷　根　公　園	9.0	本　　郷	1,914	1,840
稲 生 沢 小 学 校	0.5 0.8	稲 生 沢	2,114	2,033
稲 梓 小 学 校	0.2 0.4	稲　　梓	0,100	0,200
大 賀 茂 小 学 校	0.1 0.3	大賀茂、吉佐美 田　　牛	4,371	4,201
浜 崎 小 学 校	0.3 0.7	柿　　崎	1,640	1,577
旧下田東中学校	0.4 0.9	外　　浦	1,075	1,034
白 浜 小 学 校	0.2 0.4	白　　浜	2,345	2,255

行政無線配置表

無線局概要　　（令和８年３月 31 日）

呼出名称	無線局の種別	周波数	空中線電力	車載･携帯	所在地
しもだぼうたい１	陸上移動局	158.35MHz	10W	携帯	下田市河内101-1
しもだぼうたい２	〃	〃	〃	〃	下田市敷根757

同時通報用無線配置表

無線局概要

呼出名称	無線局の種別	周波数	空中線電力	所在地
こうほうしもだ	固　定　局	57.26MHz 62.70125MHz	0.2W 0.1W	下田市敷根757
しもだぶざん	〃	57.26MHz 62.70125MHz	0.1W 0.1W	下田市柿崎字武山1278
〃	〃	68.865MHz 55.17125MHz	5W 2W	下田市柿崎字武山1278
しもだたかね	〃	57.26MHz	0.1W	下田市河内字高根山1373-2
〃	〃	69.765MHz	5W	下田市河内字高根山1373-2
子局（ながた さいそうしん）	〃	55.17125MHz 59.46125MHz	0.1W 0.5W	下田市白浜小長田1305
子局（あいたま さいそうしん）	〃	55.17125MHz 59.46125MHz	1W 1W	下田市相玉字藤麓282-3
子局（かぞうの さいそうしん）	〃	59.46125MHz 64.29125MHz	0.5W 0.5W	下田市加増野字平田189-1
子局（きたゆがの さいそうしん）	〃	55.17125MHz 59.46875MHz	2W 1W	下田市北湯ケ野字立間口563-1
子局（すはら さいそうしん）	〃	55.17125MHz 64.29125MHz	2W 0.5W	下田市須原字芽野原124-1
子局（おちあい さいそうしん）	〃	55.17125MHz 59.40875MHz	1W 0.5W	下田市須原字芽野原124-1
子局（かみおおさわ さいそうしん）	〃	55.17125MHz 59.40875MHz	2W 0.5W	下田市大沢27-2
子局№-1～127 （内再送信子局７局）				
戸別受信機 （アナログ）　410局				
戸別受信機 （デジタル）　7,000局				

下田市防災行政無線

無線種類	防災行政無線（携帯型）
免許人	下田市
無線局の種別	陸上移動局
無線局の目的	防災対策用
運用許容時間	常時
免許の番号	海移第66421～66422号
免許の番号年月日	平成23年６月１日
免許の有効期間	令和８年５月31日
通信の相手方	他の防災関係機関所属の無線局
通信事項	防災対策に関する事項
識別信号	しもだぼうたい１～２
電波の型式	F3E
周波数	158.35MHz
空中線電力	10W
常置場所	下田市役所内 下田市河内101-1 ※移動範囲 下田市、その周辺

下田市デジタル通信システム（防災無線）配備一覧表

#1～#4:遠隔制御、#5:FAX　　1/5

局名（常置場所）	呼出番号	配備先	所在地	局の区別
無線統制台	200	敷根運動公園屋内プール	敷根 757	無線統制台
無線統制台ＦＡＸ	200#5			FAX
危機管理課	201	防災安全課	河内 101-1	半固定
危機管理課ＦＡＸ	201#5			FAX
建設課	201#1	建設課		遠隔
総務課	201#2	総務課		遠隔
産業振興課	201#3	産業振興課		遠隔
福祉事務所	201#4	福祉事務所		遠隔
スポーツセンター	300	市民スポーツセンター	敷根 761	半固定
スポーツセンター遠隔	300#1			遠隔
スポーツセンターＦＡＸ	300#5			FAX
青少年海の家	301	青少年海の家	田牛 217	半固定
白浜小学校	302	白浜小学校	白浜 1324-1	半固定
大賀茂小学校	303	大賀茂小学校	大賀茂 1429	半固定
朝日小学校	304	朝日小学校	吉佐美 544	半固定
下田消防署	900	下田消防署	6 丁目 1-14	半固定
下田消防署遠隔	900#1			遠隔
下田消防署ＦＡＸ	900#5			FAX

局名（常置場所）	呼出番号	配備先	所在地	局の区別
防災車載４０１	401	防災安全課	防災安全課	車載
司令車載４０２	402	防災安全課		車載
建設車載４０４	404	建設課		車載
総務車載４０５	405	総務課		車載
総務車載４０７	407	総務課		車載
産業車載４０８	408	産業振興課		車載
産業車載４０９	409	産業振興課		車載
水道車載４１０	410	上下水道課	河内 576	車載
生涯車載４１１	411	生涯学習課		車載
消防車載４１２	412			車載
防災携帯５０１	501	防災安全課	防災安全課	携帯
防災携帯５０２	502			携帯
防災携帯５０３	503			携帯
防災携帯５０４	504			携帯
防災携帯５０５	505			携帯
建設携帯５０６	506	建設課		携帯
建設携帯５０７	507			携帯
財務携帯５０８	508	財務課		携帯
総務携帯５０９	509	総務課		携帯
総務携帯５１０	510			携帯
産業携帯５１１	511	産業振興課		携帯
産業携帯５１２	512			携帯

局名（常置場所）	呼出番号	配備先	所在地	局の区別

学教携帯５１３	513	認定こども園	敷根 765-19	携帯
学教携帯５１４	514	防災安全課	河内 101-1	携帯
学教携帯５１５	515	防災安全課	河内 101-1	携帯
学教携帯５１６	516	子育て支援センター	敷根 761	携帯
学教携帯５１７	517	学校教育課	河内 101-1	携帯
生涯携帯５１８	518	生涯学習課		携帯
防災携帯５１９	519	防災安全課	河内 101-1	携帯
水道携帯５２０	520	上下水道課	河内 576	携帯
水道携帯５２１	521			携帯
水道携帯５２２	522			携帯
環境携帯５２３	523	環境対策課	敷根 13-11	携帯
環境携帯５２４	524			携帯
すぽせん携帯５２５	525	市民スポーツセンター	敷根 761	携帯
すぽせん携帯５２６	526			携帯
すぽせん携帯５２７	527			携帯
すぽせん携帯５２８	528			携帯
すぽせん携帯５２９	529			携帯

局名（常置場所）	呼出番号	配備先	所在地	局の区別
携帯５３０	530	防災安全課	河内 101-1	携帯
携帯５３１	531			携帯
携帯５３２	532			携帯
携帯５３３	533			携帯
携帯５３４	534			携帯
携帯５３５	535			携帯
携帯５３６	536			携帯
携帯５３７	537			携帯
携帯５３８	538			携帯
携帯５３９	539			携帯
携帯５４０	540			携帯
携帯５４１	541			携帯
携帯５４２	542			携帯
携帯５４３	543			携帯
携帯５４４	544			携帯
携帯５４５	545			携帯
携帯５４６	546			携帯
携帯５４７	547			携帯
携帯５４８	548	市長車	河内 101-1	携帯
携帯５４９	549	下田小	5 丁目 3-1	携帯
海の家携帯６０１	601	青少年海の家	田牛 217	携帯

局名（常置場所）	呼出番号	配備先	所在地	局の区別
白浜小携帯６０２	602	白浜小	白浜 1324-1	携帯
大賀茂小携帯６０３	603	大賀茂小	大賀茂 1429	携帯
朝日小携帯６０４	604	朝日小	吉佐美 544	携帯
浜崎小携帯６０５	605	浜崎小	須崎 1785-1	携帯
稲生沢小携帯６０６	606	稲生沢小	立野 6-1	携帯
稲梓小携帯６０７	607	稲梓小	椎原 224	携帯
携帯６０８	608	防災安全課	河内 101-1	携帯
下田中携帯６０９	609	下田中	敷根 765-1	携帯
携帯６１０	610	防災安全課	河内 101-1	携帯
携帯６１１	611	防災安全課	河内 101-1	携帯
基幹集落携帯６１２	612	基幹集落	椎原 290-1	携帯
メディカル携帯６１４	614	メディカルセンター	6 丁目 4-10	携帯
消防署携帯６１５	615	下田消防署	6 丁目 1-14	携帯
携帯６１６	616	防災安全課	河内 101-1	携帯
携帯６１７	617			携帯
携帯６１８	618			携帯
携帯６１９	619			携帯
携帯６２０	620			携帯

下田市同時通報用無線・静岡県防災行政無線一覧表

<table>
<tr><td>無線種類</td><td>同時通報無線</td><td>同時通報無線</td><td>同時通報無線</td><td>静岡県防災行政無線</td></tr>
<tr><td>免許人</td><td>下田市</td><td>下田市</td><td>下田市</td><td>静岡県</td></tr>
<tr><td>無線局の種別</td><td>固定局</td><td>固定局</td><td>固定局</td><td>固定局</td></tr>
<tr><td>無線局の目的</td><td>防災行政用</td><td>防災行政用</td><td>防災行政用</td><td>防災行政用</td></tr>
<tr><td>運用許容時間</td><td>常時</td><td>常時</td><td>常時</td><td>常時</td></tr>
<tr><td>免許の番号</td><td>海第40701号</td><td>海第82259号</td><td>海第82726号</td><td>海第82186号</td></tr>
<tr><td>免許の番号年月日</td><td>H29.12.01</td><td>H29.12.01</td><td>H29.12.01</td><td>H29.12.01</td></tr>
<tr><td>免許の有効期間</td><td>R4.11.30</td><td>R4.11.30</td><td>R4.11.30</td><td>R4.11.30</td></tr>
<tr><td>通信の相手方</td><td>免許人所属の「しもだぶざん」及び「しもだたかね」固定局</td><td>免許人所属の「広報下田」「長田再送信」「相玉再送信」「北湯ケ野再送信」須原再送信」「落合再送信」「上大沢再送信」固定局、同報系子局用固定局及び受信設備</td><td>免許人所属の「こうほうしもだ」「こうほうしもだしきね」固定局及び「同報系子局用」固定局並びに「受信設備」</td><td>免許人所属の防災相ノ山固定局</td></tr>
<tr><td>通信事項</td><td>防災行政事務に関する事項</td><td>防災行政事務に関する事項</td><td>防災行政事務に関する事項</td><td>防災行政事務に関する事項</td></tr>
<tr><td>識別信号</td><td>こうほうしもだ</td><td>しもだぶざん</td><td>しもだたかね</td><td>ぼうさいしもだし</td></tr>
<tr><td>電波の型式</td><td>16K0 F2D F3E
7K10 G1D G1E</td><td rowspan="3">F2D・周波数57.26MHz・空中線電力0.1W「こうほうしもだ」向け
16K0 F2D F3E・周波数68.865MHz・空中線電力5W受信設備向け
7K10 G1D G1E･周波数62.70125MHz・空中線電力0.1W「こうほうしもだ」向け
7K10 G1D G1E･周波数55.17125MHz・空中線電力2W再送信局、同報系子局用固定局及び受信設備向け</td><td rowspan="3">F2D・周波数57.26MHz・空中線電力0.1W「こうほうしもだ」及び「こうほうしもだしきね」向け
16K0 F2D F3E・周波数69.765MHz・空中線電力5W「受信設備」及び「子局」向け</td><td>24K3 G1C G1D G1E</td></tr>
<tr><td>周波数</td><td>57.26MHz
62.70125MHz</td><td>263.4625MHz
263.8625MHz</td></tr>
<tr><td>空中線電力</td><td>「しもだぶざん」方向0.1W
「しもだたかね」方向0.1W</td><td>0.1W</td></tr>
<tr><td>送受信所及び通信所</td><td>送受信所
敷根公園管理棟内
下田市敷根757
通信所
下田市役所内
下田市河内101-1</td><td>無線設備の設置場所
下田市武山無線中継所内
下田市柿崎字武山1278</td><td>無線設備の設置場所
下田市高根山中継所
下田市河内字高根山1373-2</td><td>下田市役所構内
下田市河内101-1</td></tr>
</table>

行政無線配備車一覧表

（令和８年３月31日）

No.	管理課	車　　名		所管	ナンバー	デジタル呼出無線	定員
1	防災安全課	ニッサン　ウイングロード		伊豆	500　そ　5439	401	5
2	防災安全課	マツダ　タイタンダッシュ		伊豆	100　さ　929		5
3	上下水道課	ダイハツ　ミラ	軽	伊豆	580　う　7966		4
4	総務課	マツダ　ボンゴ		伊豆	400　さ　2903	405	5
5	上下水道課	スズキ　アルト	軽	伊豆	580　す　2854		4
6	市民保健課	ダイハツ　ハイゼットカーゴ	軽	伊豆	480　い　9828		4
7	上下水道課	トヨタ　シエンタ		伊豆	500　さ　1086		7
8	上下水道課	ニッサン　アトラス		伊豆	400　す　13		3
9	観光交流課	ニッサン　キャラバン		伊豆	400　す　3404		6
10	市民保健課	ニッサン　ADエキスパート		伊豆	400　さ　4457		5
11	産業振興課	ダイハツ　ハイゼット	軽	伊豆	480　か　96	409	4
12	生涯学習課 (市民文化会館)	トヨタ　ライトエースバン		伊豆	400　さ　168		5
13	建設課	三菱　パジェロミニ	軽	伊豆	580　か　1812		4
14	生涯学習課	ニッサン　バネットトラック		伊豆	400　さ　3703	411	3
15	建設課	トヨタ　RAV４		伊豆	300　せ　9361	404	5
16	産業振興課	ダイハツ　ハイゼット	軽	伊豆	400　き　2110	408	4
17	上下水道課	スズキ　エブリィ		伊豆	480　う　8392	410	4
18	上下水道課	ホンダ　アクティトラック	軽	伊豆	480　あ　481		4
19	建設課	ダイハツ　ハイゼットトラック	軽	伊豆	480　え　9998		2
20	防災安全課 (消防団)	ニッサン　セレナ		伊豆	800　さ　3884	402	8
21	総務課	ホンダ　アクティバン		伊豆	480　い　6671	407	4

緊急通行車両一覧表

所属	車名	ナンバー				乗車定員	総重量(t)	免許区分(法改正後)
総務課	トヨタ プリウス PHV	伊豆	300	な	5475	5 人	1.570	普通
	ニッサン セレナ	伊豆	500	ち	8087	8 人	2.100	普通
	ホンダ アクティバン	伊豆	480	い	6671	4 人	1.400	普通
	マツダ ボンゴ	伊豆	400	さ	2903	6 人	1.780	普通
	トヨタ ピクシスバン	伊豆	480	き	9721	4 人	1.380	普通
	トヨタ ピクシスバン	伊豆	480	き	9722	4 人	1.380	普通
	ニッサン セレナ	伊豆	500	に	9756	8 人	2.230	普通
	トヨタ ハイエース	伊豆	300	な	3054	10 人	2.480	普通
	スズキ キャリー	伊豆	480	う	4926	2 人	1.230	普通
	トヨタ アクア	伊豆	500	ぬ	738	5 人	1.395	普通
財務課（施設管理）	ニッサン クリッパートラック	伊豆	480	あ	8170	2 人	1.240	普通
	スズキ キャリィ	伊豆	480	い	1698	2 人	1.330	普通
	スバル サンバートラック	伊豆	480	い	1759	2 人	1.260	普通
	ホンダ アクティトラック	伊豆	480	い	2566	2 人	1.480	普通
税務課	スズキ エブリィ	伊豆	480	え	6399	4 人	1.310	普通
	ダイハツ タフト	伊豆	580	と	202	4 人	1.100	普通
	スズキ エブリィ	伊豆	480	え	9599	4 人	1.330	普通
	ホンダ ディオ	下田市		あ	4101			普通(原付)
防災安全課	ニッサン ウイングロード	伊豆	500	そ	5439	5 人	1.565	普通
	マツダ タイタンダッシュ	伊豆	100	さ	929	3 人	3.195	普通
	スズキ キャリー	伊豆	480	さ	3877	2 人	1.330	普通
	ニッサン セレナ	伊豆	800	さ	3884	8 人	2.300	普通
産業振興課	ダイハツ ハイゼット	伊豆	480	か	96	4 人	1.410	普通
	ダイハツ ハイゼット	伊豆	480	き	2110	4 人	1.440	普通
観光交流課	ニッサン キャラバン	伊豆	400	す	3404	6 人	3.135	普通
企画課	トヨタ ボクシィ	伊豆	300	な	3539	7 人	2.065	普通
建設課	スズキ キャリィ	伊豆	480	え	4474	2 人	1.300	普通
	トヨタ RAV4	伊豆	300	せ	9361	5 人	1.700	普通
	トヨタ プロボックス	伊豆	400	す	3497	5 人	1.635	普通
	ホンダ パートナー	伊豆	400	さ	172	5 人	1.620	普通
	スズキ キャリィ	伊豆	480	え	4151	2 人	1.390	普通
	三菱 パジェロミニ	伊豆	580	か	1812	4 人	1.190	普通
	ダイハツ ハイゼット	伊豆	480	え	9998	2 人	1.380	普通
	三菱 ローザ(いなみん号)	伊豆	200	さ	465	29 人	5.525	準中型
市民保健課	ダイハツ ハイゼットカーゴ	伊豆	480	い	9828	4 人	1.340	普通
	ニッサン AD エキスパート	伊豆	400	さ	4457	5 人	1.545	普通
地域福祉課	ニッサン ウイングロード	伊豆	500	た	2730	5 人	1.455	普通
	ダイハツ タント	伊豆	580	あ	7698	4 人	1.150	普通

地域福祉課	スズキ ワゴンＲソリオ	伊豆	500	そ	932	5 人	1.245	普通
	スズキ アルト	伊豆	580	な	1147	4 人	0.930	普通
	ホンダ トゥデイ	下田市		あ	4637			普通(原付)
環境対策課	三菱 キャンター	伊豆	800	さ	997	3 人	6.105	準中型
	三菱 キャンター	伊豆	800	さ	1074	3 人	6.075	準中型
	三菱 キャンター	伊豆	800	さ	356	3 人	5.765	準中型
	日野 デュトロ	伊豆	100	さ	2387	3 人	5.225	準中型
	三菱 キャンター	沼津	044	ゆ	8434	3 人	4.755	準中型 (5.0 限定)
	コマツ ホイールローダ	下田市		の	425			普通
	キャタピラー ホイールローダ	伊豆	000	る	11	1 人	6.435	大型特殊 (技能講習)
	ダイハツ ハイゼットカーゴ	伊豆	480	う	136	4 人	1.350	普通
	スズキ キャリィダンプ	伊豆	480	き	13	2 人	1.370	普通
上下水道課	トヨタ シエンタ	伊豆	500	な	7770			普通
	ダイハツ ミラ	伊豆	580	う	7966	4 人	1.020	普通
	ニッサン アトラストラック	伊豆	400	す	13	3 人	3.285	普通
	スズキ キャリィ	伊豆	480	か	3384	2 人	1.190	普通
	スズキ エブリィ	伊豆	480	か	3051	4 人	1.400	普通
	ホンダ アクティトラック	伊豆	480	あ	481	2 人	1.320	普通
	ダイハツ ハイゼットカーゴ	伊豆	480	い	9880	4 人	1.330	普通
	スズキ エブリィ	伊豆	480	う	8392	4 人	1.350	普通
	ホンダ アクティバン	伊豆	480	い	9874	4 人	1.400	普通
	スズキ アルト	伊豆	580	あ	2854	4 人	0.840	普通
	いすゞ エルフ給水車	伊豆	800	さ	3427	3 人	5.465	準中型
学校教育課	マツダ プレマシー	伊豆	300	た	1914	7 人	1.875	普通
	ダイハツ ハイゼットカーゴ	伊豆	480	う	9288	4 人	1.350	普通
	いすゞ エルフ	伊豆	100	さ	2219	3 人	5.255	準中型
	いすゞ エルフ	伊豆	100	さ	2220	3 人	5.255	準中型
	いすゞ エルフ	伊豆	100	さ	2221	3 人	5.255	準中型
	ダイハツ ハイゼット	伊豆	480	え	6209	2 人	1.370	普通
	ホンダ ライフ	伊豆	580	え	9873	4 人	1.030	普通
こども家庭課	トヨタ コースター	伊豆	200	さ	236	29 人	4.745	準中型 (5.0 限定)
	トヨタ コースター	伊豆	200	さ	235	29 人	4.745	準中型 (5.0 限定)
	スズキ アルト	伊豆	580	す	9824	4 人	0.870	普通
生涯学習課	ニッサン バネット	伊豆	400	さ	7137	5 人	1,960	普通
	トヨタ ライトエースバン	伊豆	400	さ	168	6 人	2.155	普通
	ニッサン バネットトラック	伊豆	400	さ	3703	3 人	2.535	普通

下田市同時通報用無線子局設置場所一覧表

（令和８年３月31日）

管理番号	地区名称	子局名称	設置場所（地番）	備　　考
1	白　浜　地　区	板戸1	白浜110-1	
2		板戸2	白浜字砥川199-2	
3		板戸3	白浜295-2地先	
4		長田1	白浜字長田1064-1	
5		長田2	白浜1290-1	
6		長田3	白浜1547-5	
7		原田1	白浜字神明1542-1	
8		原田2	白浜字宮前1779-1	
9		原田3	白浜字大浜2732-7	
10		原田4	白浜2760-1	
11		原田5	白浜2349-12地先	
12		原田6	白浜字山口2041-5	
13	柿　崎　地　区	外浦1	柿崎699-1地先	
14		柿崎1	柿崎字田代306-1	
15		柿崎2	柿崎字間戸ヶ浜1271-1	
16		柿崎3	柿崎164-3地先	
17		柿崎4	柿崎721-13	
18		須崎1	須崎字川上738-3	
19		須崎2	須崎字坂条1513-4	
20		須崎3	須崎1478-1	
21		須崎4	須崎1799-1	
22		須崎5	須崎字尾竹52-4	
23		須崎6	須崎字池ノ段1237-1	
24		須崎7	須崎1785-2	
25		須崎8	須崎字田之浦1247-9	
26		須崎9	須崎字椎ノ久保1075-1	
27		須崎10	須崎字原181-2	
28	稲 生 沢 地 区	東本郷1	中字和田542-2	
29		東本郷2	中字丸山809	
30		東本郷3	東本郷2丁目5番地	
31		西本郷1	西本郷2丁目8番地	
32		西本郷2	敷根840-1	
33		東中1	東中14番地	
34		高馬1	高馬77-1	
35		立野1	立野364番地	
36		蓮台寺1	蓮台寺152	
37		蓮台寺2	蓮台寺字堀之内525-9	
38		蓮台寺3	大沢字鶴居1-1	
39		上大沢1	大沢87-6地先	
40		上大沢2	大沢224-1地先	
41		上大沢3	大沢字石田340	
42		上大沢4	大沢27-6	
43		上大沢5	大沢297-2	
44		下大沢1	大沢字福入773-1	
45		下大沢2	大沢836-3	
46		河内1	河内755-2	

管理番号	地区名称	子局名称	設置場所（地番）	備　　考
47	稲 生 沢 地 区	河内2	河内524-2	
48		河内3	河内827-3	
49		河内4	河内549-4	
50	旧 下 田 地 区	武ケ浜1	武ガ浜1179-16	
51		二丁目2	四丁目22-2	
52		三丁目1	三丁目1174-7	
53		五丁目1	五丁目237-2	
54		五丁目2	五丁目182-1地先	
55		六丁目1	六丁目366-1	
56		六丁目2	六丁目394-5	
57		六丁目3	六丁目468-1	
58		六丁目4	六丁目748-9	
59		六丁目5	旧岡方村字白岩山696-142	
60		六丁目6	六丁目26-番20号	
61		敷根1	敷根758	
62	朝　日　地　区	吉佐美1	吉佐美字多々戸58-6	
63		吉佐美2	吉佐美74-1	
64		吉佐美3	吉佐美2166-1	
65		吉佐美4	吉佐美527	
66		吉佐美5	吉佐美字浜条1731	
67		吉佐美6	吉佐美893-1	
68		吉佐美7	吉佐美1435地先	
69		吉佐美8	吉佐美字喜背谷1900-26	
70		吉佐美9	吉佐美字釜ノ脇348-75	
71		吉佐美10	吉佐美1900-30	
72		吉佐美11	吉佐美1530-2	
73		吉佐美12	吉佐美1908	
74		吉佐美13	吉佐美1494-1	
75		吉佐美14	吉佐美字水越428-1	
76		田牛1	田牛543-5地先	
77		田牛2	吉佐美字亜相2750-83	
78	稲 生 沢 地 区	河内5	河内103-1	
79		西本郷3	西本郷一丁目1-2	
80	朝　日　地　区	大賀茂1	大賀茂字林山92-1	
81		大賀茂2	吉佐美2407-4	
82		大賀茂3	大賀茂字大川田1306-2	
83		大賀茂4	大賀茂389-2	
84		大賀茂5	大賀茂字歓木593	
85		大賀茂6	大賀茂字墹々原811-6	
86		大賀茂7	大賀茂字弁天1512-1	
87		大賀茂8	吉佐美字万千山2357-1	
88		大賀茂9	大賀茂字小豆山1227-2	
89		大賀茂10	吉佐美字平石谷2355-20	
90		大賀茂11	大賀茂字柳沢1090	
91	稲　梓　地　区	落合1	落合65-1	
92		落合2	落合36-8	
93		落合3	落合字尾口455-2	
94		落合4	落合151地先	
95		箕作1	箕作字三森765-3	

管理番号	地区名称	子局名称	設置場所（地番）	備　　考
96	稲　梓　地　区	箕作2	箕作字横屋680-2	
97		椎原1	相玉569-4	
98		椎原2	椎原字上の山199-5	
99		相玉1	相玉字藤麓288-3	
100		相玉2	北湯ケ野1240	
101		横川1	北湯ケ野字野田777-25	
102		横川2	横川657地先	
103		横川3	横川字山口9	
104		横川4	横川字宮ノ前1067-5	
105		加増野1	加増野字平旨48-1	
106		加増野2	加増野189-6	
107		加増野3	加増野字細入251-3	
108		加増野4	加増野字後山408-4	
109		北湯ケ野1	北湯ケ野字立間口563-9	
110		北湯ケ野2	北湯ケ野字小文423-2	
111		北湯ケ野3	北湯ケ野字小橋1353	
112		北湯ケ野4	北湯ケ野718-1	
113		北湯ケ野5	北湯ケ野字尾イ平段737-2	
114		北湯ケ野6	北湯ケ野字尾イ平段737-12	
115		宇土金1	椎原字論手284-2	
116		宇土金2	宇土金236-3	
117		宇土金3	宇土金字城換64-1	
118		須原1	須原字茅原野3542	
119		須原2	須原字小河原1091-1	
120		須原3	須原字長通903-1	
121		須原4	須原349-5	
122		須原5	須原字原1364-1	
123		須原6	須原字須郷口1452-1	
124		須原7	須原字カイト1587-1	
125		須原8	須原字入谷1786-1	
126	旧 下 田 地 区	三丁目2	三丁目1174-18	
127		六丁目7	六丁目4-10	

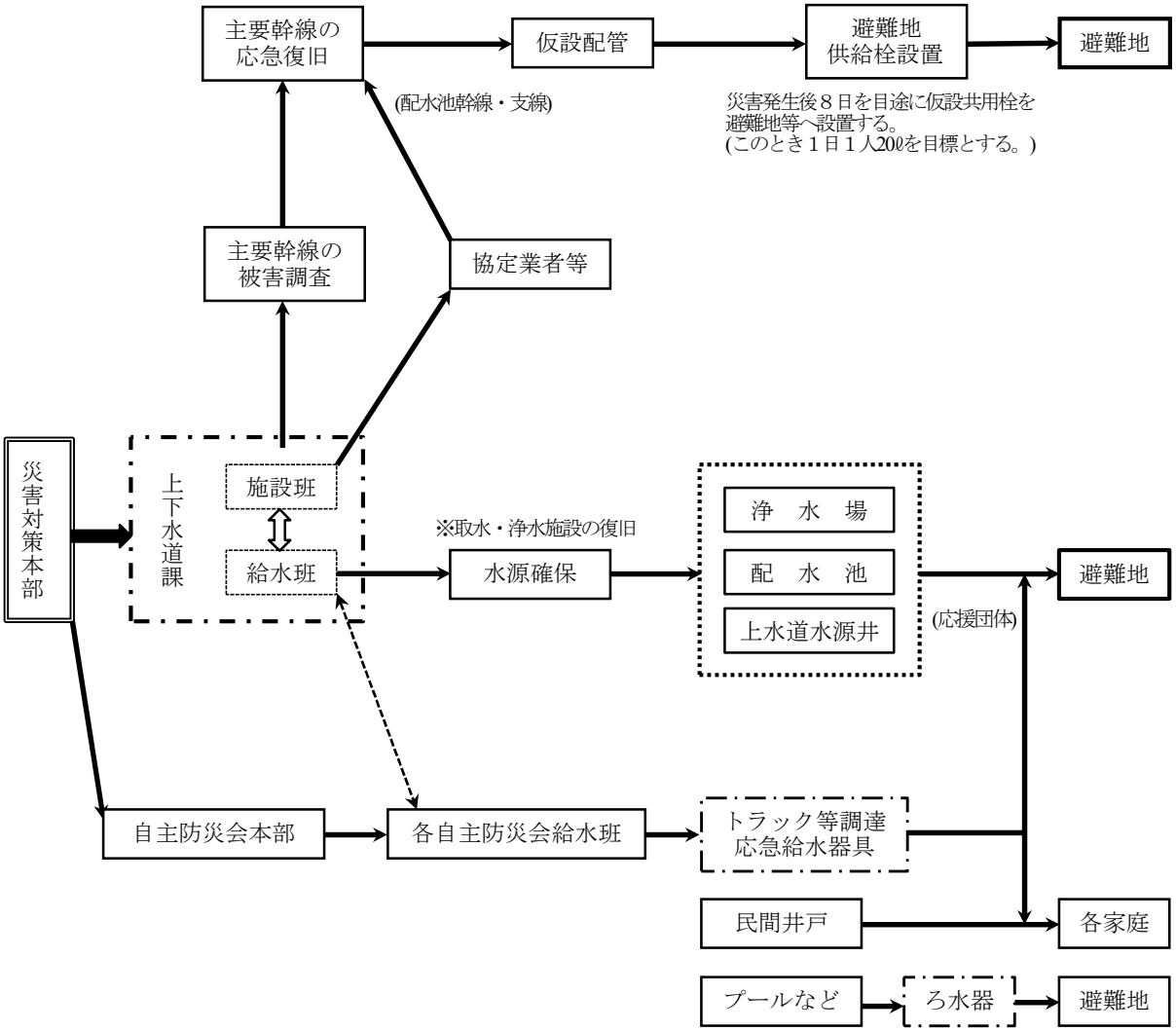
避難地応急給水計画

避難地	名　　称	設置基数	対象自治会
下　田　小　学　校	設置タンク２ｔ　　給水	1	旧下田
下　田　中　学　校	設置タンク２ｔ　　給水	1	旧下田
稲 生 沢 小 学 校	設置タンク２ｔ　　給水	1	稲生沢
旧 稲 生 沢 中 学 校	設置タンク２ｔ　　給水	1	稲生沢
稲　梓　小　学　校	設置タンク２ｔ　　給水	1	稲　梓
旧 稲 梓 中 学 校	設置タンク２ｔ　　給水	1	稲　梓
朝　日　小　学　校	設置タンク２ｔ　　給水	1	吉佐美
旧 下 田 東 中 学 校	設置タンク２ｔ　　給水	2	柿崎・外浦
白　浜　小　学　校	設置タンク２ｔ　　給水	2	白　浜
大 賀 茂 小 学 校	設置タンク２ｔ　　給水	1	大賀茂
敷　　根　　公　　園	プール 1,300ｔ　　ろ水機	6	本　郷
青 少 年 海 の 家	給　　水	―	田　牛

上下水道課　災害等における応急対策（復旧準備）及び復旧活動

班　別	応急対策（復旧準備）	応急復旧活動
施　設　班 （情報担当）	被害状況の把握及び情報の収集	被害状況の整理及び記録
	本部との協議及び他班との調整	本部への随時報告及び連絡調整
施　設　班 （調査担当）	待機人員の確認及び応援要請	待機人員の確保及び物資の調達
	協定団体等の応援団体への要請	応援団体の調整
	復旧計画の策定	復旧活動に伴う広報
施　設　班 （上水復旧担当）	水源の確保及び水質の保全措置	取水、導水、浄水施設の保全及び復旧
	配水池の貯水量の確認及び確保	送水管の復旧
	滅菌装置等の点検	配水連絡管の布設
	自家発電装置の点検試動	仮設配水管の布設
	作業機器の点検	共同栓の設置
	作業車両の配備、無線機点検	応援団体への指示
	復旧資材・器材の確認	漏水対策と二次災害防止対策
	貯蔵品の出庫準備	配水管の修理
	復旧計画の確認	破損メーターの交換
施　設　班 （下水復旧担当）	管路施設	
	緊急点検	人的被害につながる二次災害防止対策
	汚水溢水箇所調査	仮設ポンプ、仮設配管、汚泥吸引車の設置
	管路調査	仮設ポンプ、仮設配管、汚泥吸引車の設置
	処理施設	
	緊急点検	危険物（塩素ガス等）漏洩の二次災害防止対策
	汚水溢水箇所調査	仮設ポンプ、仮設配管の設置
	処理機能調査	最低限の消毒機能等の確保
	復旧資機材の確認	復旧資機材の調達
	復旧計画の確認	応急復旧工事の実施
給　水　班	応急給水計画の策定	給水状況の把握、整理及び記録
	応急給水班組織表の作成	給水場所(配水池等)の確保及び管理
	飲料水供給リストの作成	被害地区(避難地等)への応急給水開設
	浄水器・給水パック等の点検	応急給水の広報及び配給場所の管理
	給水用運搬車両の借上げ手配	応急飲料水の調達及び配給
	自主防災会給水班等への応援要請	破損メーターの把握

応急給水活動フローチャート



水道施設一覧表

種　　別	施設名	送水能力（㎥/日）	備　　考
下田市上水道	落合浄水場	23,000㎥/日	自家発電機設備 燃料：軽油 容量：500KVA 電圧：400V 台数：１台 タンク容量：990L 推定運転可能時間：約20時間
	河内水源（浅井戸）	1,440㎥/日	発電機 容量：75KVA以上 台数：１台
	施設名	貯水能力　（㎥）	給水可能人口
	配水池	稲　梓配水池　150㎥ 稲生沢　〃　400 下　田　〃　5,000 武　山　〃　1,400 長　田　〃　700 白　浜調整池　390 女　郎配水池　4,050 白　山　〃　85 須　崎　〃　60 相ノ山　〃　2,200 多々戸　〃　235 東　山　〃　350 大賀茂　〃　150 田　牛　〃　150 敷　根　〃　750 折　戸　〃　100 鍋　田　〃　170 丸　山　〃　10 武　山分水井　150 計　16,500	災害時を想定(７日間) １日１人＝３ℓ（７日で21ℓ) 災害時貯水量 5,000㎥として 238,095人

下水道施設一覧表

令和８年３月31日

種　　別	施設種別	施設名称	現有能力	備　　考
下田市公共下水道	処　理　施　設	下田浄化センター	処理能力 8,750㎥/日	自家発電機設備 燃料：重油 容量：250kVA 電圧：420V 台数：１台 タンク容量：1,100L 推定運転可能時間： 約34時間
	ポ ン プ 施 設	武ガ浜ポンプ場	ポンプ能力 φ200mm×4.0㎥/分 ×２台 φ300mm×8.0㎥/分 ×１台	自家発電機設備 燃料：重油 容量：300kVA 電圧：420V 台数：１台 タンク容量：1,950L 推定運転可能時間： 約175時間
		柿 崎 ポ ン プ 場	ポンプ能力 φ100mm×0.9㎥/分 ×３台	自家発電機設備 燃料：軽油 容量：55kVA 電圧：210V 台数：１台 タンク容量：200L 推定運転可能時間： 約20時間
		須 崎 ポ ン プ 場	ポンプ能力 φ100mm×0.6㎥/分 ×２段×２台	自家発電機設備 燃料：重油 容量：100kVA 電圧：420V 台数：１台 タンク容量：390L 推定運転可能時間： 約65時間
	管　路　施　設 (マンホールポンプ)	高　　馬 マンホールポンプ	ポンプ能力 0.24㎥/分×２台	１台予備
		大　　坂 マンホールポンプ	ポンプ能力 0.24㎥/分×２台	１台予備
		大　　浦 マンホールポンプ	ポンプ能力 0.92㎥/分×２台	１台予備
		上 の 山 マンホールポンプ	ポンプ能力 0.47㎥/分×２台	１台予備
		赤　　間 マンホールポンプ	ポンプ能力 0.66㎥/分×２台	１台予備
		東　　中 マンホールポンプ	ポンプ能力 1.72㎥/分×２台	１台予備
		外浦第１ マンホールポンプ	ポンプ能力 1.08㎥/分×２台	１台予備
		外浦第２ マンホールポンプ	ポンプ能力 1.22㎥/分×２台	１台予備
		外浦第３ マンホールポンプ	ポンプ能力 1.56㎥/分×２台	１台予備
		外浦第４ マンホールポンプ	ポンプ能力 1.56㎥/分×２台	１台予備
		広　　岡 マンホールポンプ	ポンプ能力 0.28㎥/分×２台	１台予備
		岩　　下 マンホールポンプ	ポンプ能力 0.30㎥/分×２台	１台予備

種　　別	施設種別	施設名称	現有能力	備　　考
下田市公共下水道	仮設ポンプ	下田浄化センター	ポンプ能力 φ50㎜×0.75㎾×0.08㎥/分×２台	発電機 容量：４kVA以上 台数：１台
		武ガ浜ポンプ場	ポンプ能力 φ80㎜×5.5㎾×0.37㎥/分×６台	発電機 容量：34kVA以上 台数：１台
		柿崎ポンプ場	ポンプ能力 φ50㎜×1.5㎾×0.12㎥/分×２台	発電機 容量：７kVA以上 台数：１台
		須崎ポンプ場	ポンプ能力 φ50㎜×2.2㎾×0.07㎥/分×４台 （２段揚水）	発電機 容量：10kVA以上 台数：１台

下田市災害時協力井戸一覧（令和８年３月 31 日）

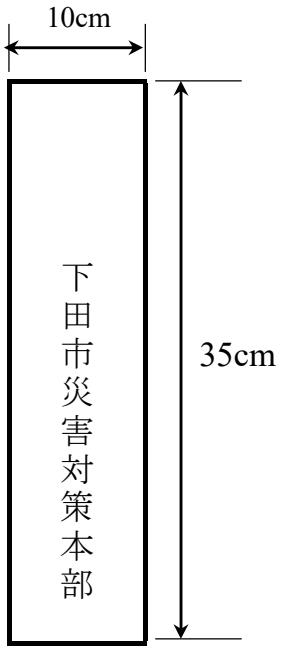
登録番号	所在地	設置位置	設備	利用可能時間
1	下田市吉佐美1556	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
2	下田市二丁目3-35	宅地内（屋外）	手押しポンプ	24時間
3	下田市二丁目11-13	宅地内（屋外）	手押しポンプ	24時間
4	下田市一丁目1-17	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
5	下田市一丁目14-5	宅地内（屋外）	手押しポンプ	24時間
6	下田市一丁目14-18	境内（屋外）	手押しポンプ	8:00～17:00
7	下田市一丁目14-18	境内（屋外）	手押しポンプ	8:00～17:00
8	下田市一丁目18-26	宅地内（屋外）	手押しポンプ	24時間
9	下田市四丁目2-1	宅地内（屋外）	手押しポンプ	24時間
10	下田市四丁目3-1	宅地内（屋外）	手押しポンプ	7:00～16:00
11	下田市五丁目11-1	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
12	下田市吉佐美455	宅地内（屋外）	手押しポンプ	8:00～18:00
13	下田市吉佐美913	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
14	下田市吉佐美1667	宅地内（屋外）	手押しポンプ	24時間
15	下田市田牛456-4	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
16	下田市白浜1832-1付近	その他（屋外）	鶴瓶	24時間
17	下田市白浜1141	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
18	下田市白浜1834	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
19	下田市大賀茂306	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
20	下田市大賀茂1040-1	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
21	下田市大賀茂1064-1	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
22	下田市立野247	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
23	下田市河内721-1	その他（屋外）	電動ポンプ	24時間
24	下田市横川413	その他（屋外）	電動ポンプ	24時間
25	下田市須原1071	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
26	下田市吉佐美2480-49	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
27	下田市落合386-3	宅地内（屋外）	電動ポンプ	8:30～17:00
28	下田市本郷3-2	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
29	下田市西本郷1-13-15	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
30	下田市白浜1815	宅地内（屋外）	手押しポンプ	24時間
31	下田市白浜1190-1	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
32	下田市柿崎28-9	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
33	下田市三丁目15-10	宅地内（屋外）	電動ポンプ	9:00～17:00
34	下田市白浜1713-2	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
35	下田市須崎686-2	宅地内（屋外）	電動ポンプ	10:00～15:00

36	下田市北湯ヶ野226	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
37	下田市大沢227-5	その他（屋外）	貯水タンク	24時間
38	下田市大賀茂26	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
39	下田市河内702-3	その他（畑内）	発電式ポンプ	24時間
40	下田市河内52-5	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
41	下田市田牛346	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
42	下田市田牛408	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
43	下田市田牛337	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
44	下田市立野236	宅地内（屋外）	電動ポンプ	8:00～17:00
45	下田市大沢354	宅地内（屋外）	貯水桶	24時間
46	下田市宇土金414-3	宅地内（屋外）	電動ポンプ	9:00～18:00
47	下田市宇土金427-7	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
48	下田市吉佐美1769	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
49	下田市吉佐美833	宅地内（屋外）	電動ポンプ	10:00～16:00
50	下田市吉佐美889	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
51	下田市大賀茂36-5	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
52	下田市椎原233-4	宅地内（屋外）	その他（自然湧水）	6:00～22:00
53	下田市六丁目24	その他（屋外）	貯水タンク	24時間
54	下田市二丁目2-24	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
55	下田市北湯ヶ野108	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
56	下田市椎原250-3	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
57	下田市箕作532	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
58	下田市大賀茂483-2	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
59	下田市六丁目14-17	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
60	下田市中311	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
61	下田市中448	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
62	下田市横川418-2	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
63	下田市北湯ヶ野118	宅地内（屋外）	電動ポンプ	8:00～17:00
64	下田市大賀茂607	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
65	下田市吉佐美1775	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
66	下田市吉佐美790	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
67	下田市西本郷1-12-8	宅地内（屋外）	電動ポンプ	8:00～17:00
68	下田市白浜1249	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
69	下田市白浜1738	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
70	下田市柿崎14-4	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
71	下田市柿崎700	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
72	下田市加増野481-3	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間

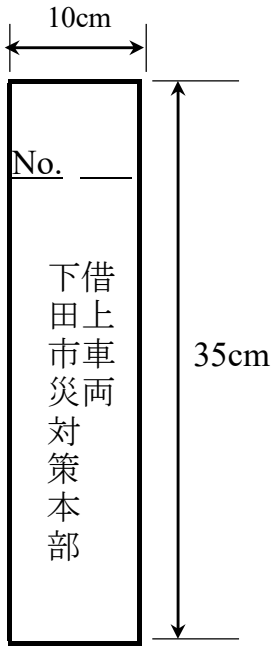
73	下田市相玉24-1	宅地内（屋外）	電動ポンプ	8:00～17:00
74	下田市北湯ヶ野168	宅地内（屋外）	電動ポンプ	9:00～16:00
75	下田市北湯ヶ野235-3	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
76	下田市柿崎20-9	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間
77	下田市河内486-1	宅地内（屋外）	手押しポンプ	24時間
78	下田市相玉513-4	宅地内（屋外）	電動ポンプ	24時間

本部の掲示板

標　　章

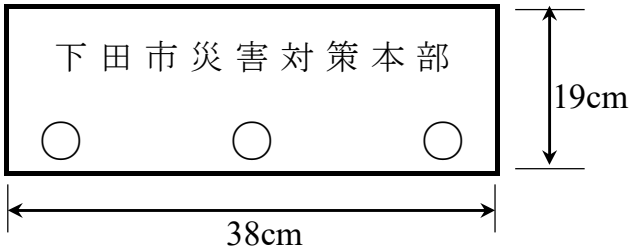


①



②

腕　　章



区分

・腕章の色は黄色、字は黒色とする

・①は市が保有する車両に添付する。
②は①以外の車両に添付する。

水防信号及び標識

1　水防信号

法第20条の規定による水防信号（昭和31年静岡県規則第75号）は、次のとおりである。

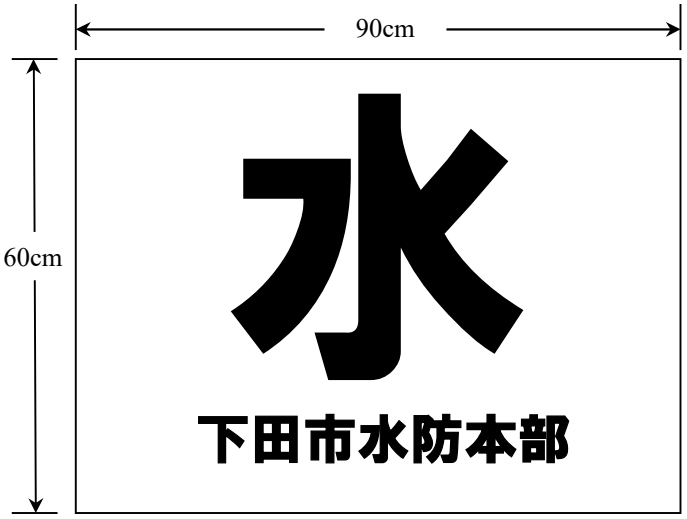
種　　類	説　　明	警鐘信号	サイレン信号
第１信号	はん濫注意水位（警戒水位）に達したことを知らせるもの	○	約５秒 ○－ 約15秒 休止 約15秒 休止 約５秒 ○－ 約５秒 ○－ 約15秒 休止
第２信号	水防団員及び消防機関に属する者の全員が出動すべきことを知らせるもの	○－○－○	約５秒 ○－ 約６秒 休止 約６秒 休止 約５秒 ○－ 約５秒 ○－ 約６秒 休止
第３信号	当該水防管理団体の区域内に居住するものが出動すべきことを知らせるもの	○－○－○－○	約10秒 ○－ 約５秒 休止 約５秒 休止 約10秒 ○－ 約10秒 ○－ 約５秒 休止
第４信号	当該水防管理団体の区域内居住者の避難のため立退くべきことを知らせるもの	乱　　打	約１分 ○－ 約５秒 休止 約５秒 休止 約１分 ○－

注意　１．信号は適当な時間継続すること。
　　２．必要があるときは、警鐘、サイレン信号を併用する。
　　３．危険が去ったときは、口答伝達により周知させるものとする。

2　水防優先標識

法第18条による水防優先通行車馬標識（昭和31年静岡県告示第939号）は、次のとおりである。

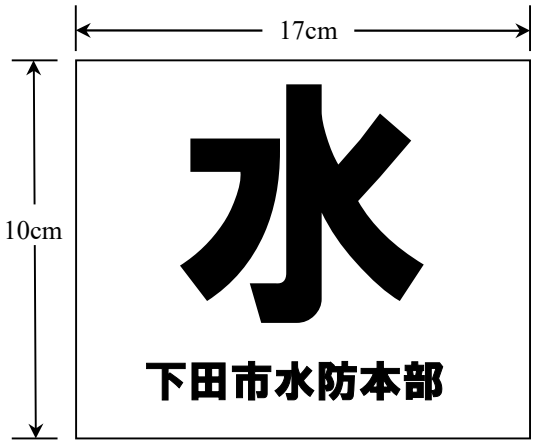
（1）　車馬標識



水は赤色

生地は白色

（２） 腕　章



水は赤色

生地は白色

（３） 標燈形状適宜

水は赤色

生地は白色

災害救助法適用基準

（災害救助法施行令抜萃）

① 当該市町村（特別区を含む。以下同じ。）の区域（地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の19第１項の指定都市にあっては、当該市の区域又は当該市の区若しくは総合区の区域とする。以下同じ。）内の人口に応じ、それぞれ別表第１に定める数以上の世帯の住家が滅失したこと。（注：50世帯）

② 当該市町村の区域を包括する都道府県の区域内において、当該都道府県の区域内の人口に応じ、それぞれ別表第２に定める数以上の世帯（注：2,500世帯）の住家が滅失した場合であって、当該市町村の区域内の人口に応じ、それぞれ別表第３に定める数以上の世帯（注：25世帯）の住家が滅失したこと。

③ 当該市町村の区域を包括する都道府県の区域内において、当該都道府県の区域内の人口に応じ、それぞれ別表第４に定める数以上の世帯（注：12,000世帯）の住家が滅失したこと又は当該災害が隔絶した地域に発生したものである等被災者の救護を著しく困難とする内閣府令で定める特別の事情がある場合であって、多数の世帯の住家が滅失したこと。

④ 多数の者が生命又は身体に危害を受け、又は受けるおそれが生じた場合であって、内閣府令で定める基準に該当すること。

２ 前項第１号から第３号までに規定する住家が滅失した世帯の数の算定に当っては、住家が半壊し又は半焼する等著しく損傷した世帯は２世帯をもって、住家が床上浸水、土砂のたい積等により一時的に居住することができない状態となった世帯は３世帯をもって、それぞれ住家が滅失した１の世帯とみなす。

（令別表第１）

市町村の区域内の人口	住家が滅失した世帯の数
5,000 人未満	30 世帯
5,000 人以上 15,000 人未満	40 〃
15,000 〃 30,000 〃	50 〃
30,000 〃 50,000 〃	60 〃
50,000 〃 100,000 〃	80 〃
100,000 〃 300,000 〃	100 〃
300,000 〃	150 〃

（令別表第２）

都道府県の区域内の人口	住家が滅失した世帯の数
1,000,000 人未満	1,000 世帯
1,000,000 人以上 2,000,000 人未満	1,500 〃
2,000,000 〃 3,000,000 〃	2,000 〃
3,000,000 〃	2,500 〃

（令別表第３）

市町村の区域内の人口	住家が滅失した世帯の数
5,000 人未満	15 世帯
5,000 人以上 15,000 人未満	20 〃
15,000 〃 30,000 〃	25 〃
30,000 〃 50,000 〃	30 〃
50,000 〃 100,000 〃	40 〃
100,000 〃 300,000 〃	50 〃
300,000 〃	75 〃

（令別表第４）

都道府県の区域内の人口	住家が滅失した世帯の数
1,000,000 人未満	5,000 世帯
1,000,000 人以上 2,000,000 人未満	7,000 〃
2,000,000 〃 3,000,000 〃	9,000 〃
3,000,000 〃	12,000 〃

被害程度の認定基準

1　人的被害

①　「死者」とは、当該災害が原因で死亡し、死体を確認したものまたは死体は確認できないが、死亡したことが確実な者とする。

②　「行方不明者」とは、当該災害が原因で所在不明となり、かつ、死亡の疑いのある者とする。

③　「重傷者、当該災害により負傷し、医師の治療を受け、または受ける必要のある者のうち１月以上の治療を要する見込みのものとする。

④　「軽傷者」とは、当該災害により負傷し、医師の治療を受け、または受ける必要のある者のうち１月未満で治療できる見込みのものとする。

⑤　「災害関連死」とは、当該災害による負傷の悪化又は避難生活等における身体的負担による疾病により死亡し、災害弔慰金の支給等に関する法律（昭和48年法律第82号）に基づき災害が原因で死亡したものと認められたものとする。

2　住家被害

①　「住家」とは、現実に居住のため使用している建物をいい、社会通念上の住家であるかどうかを問わない。

②　「全壊」とは、住家が滅失したもので、具体的には住家の損壊、もしくは流失した部分の床面積が、その住家の延べ面積の70％以上に達したもの、または住家の主要構造部の被害額が、その住家の時価の50％以上に達した程度のものとする。

③　「半壊」とは、住家の損壊が甚だしいが、補修すれば元通りに使用できるもので、具体的には損壊部分が、その住家の延べ面積の20％以上70％未満のもの、または住家の主要構造部の被害額がその住家の時価の20％以上50％未満のものとする。

④　「一部破損」とは、全壊および半壊にいたらない程度の住家の破損で、補修を必要とする程度のものとする。ただし、ガラスが数枚破損した程度のごく小さなものは除く。

⑤　「床上浸水」とは、住家の床より上に浸水したもの及び全壊・半壊には該当しないが、土砂竹木のたい積により一時的に居住することができないものとする。

⑥　「床下浸水」とは、床上浸水に至らない程度に浸水したものとする。

3　非住家被害

①　「非住家」とは、住家以外の建物でこの報告中他の被害箇所項目に属さないものとする。これらの施設に人が居住しているときは、当該部分は住家とする。

②　「公共建物」とは、例えば役場庁舎、公民館、公立保育所等の公用または公共の用に供する建物とする。

③　「その他」とは、公共建物以外の倉庫、土蔵、車庫等の建物とする。

④　非住家被害は、全壊または半壊の被害を受けたもののみを記入するものとする。

4　その他

①　「田の流失、埋没」とは、田の耕土が流失し、または砂利等のたい積のため、耕作が不能になったものとする。

②　「田の冠水」とは、稲の先端が見えなくなる程度に水につかったものとする。

③　「畑の流失、埋没」及び「畑の冠水」については、田の例に準じて取り扱うものとする。

④　「文教施設」とは、小学校、中学校、高等学校、大学、高等専門学校、盲学校、聾学校、養護学校及び幼稚園における教育の用に供する施設とする。

⑤　「道路」とは、道路法（昭和27年法律第 180号）第２条第１項に規定する道路のうち、橋りょうを除いたものとする。

⑥　「橋りょう」とは、道路を連結するために河川、運河等の上に架設された橋とする。

⑦　「河川」とは、河川法が適用（昭和39年法律第 167号）され、もしくは準用される河川もしくはその他の河川、またはこれらのものの維持管理上必要な堤防、護岸、水利、床止

その他の施設もしくは沿岸を保全するために防護することを必要とする河岸とする。
⑧　「港湾」とは、港湾法（昭和25年法律第 218号）第２条第５項に規定する水域施設、外かく施設、けい留施設、または港湾の利用および管理上重要な臨港交通施設とする。

⑨　「砂防」とは、砂防法（明治30年法律第29号）第１条に規定する砂防施設、同法第３条の規定によって同法が準用される砂防のための施設または同法第３条の２の規定によって同法が準用される天然の河岸とする。
⑩　「清掃施設」とは、ごみ処理およびし尿処理施設とする。
⑪　「鉄道不通」とは、汽車、電車等の運行が不能となった程度の被害とする。
⑫　「被害船舶」とは、ろかいのみをもって運転する舟以外の舟で、船体が没し、航行不能になったもの及び流失し、所在が不明になったもの並びに修理しなければ航行できない程度の被害を受けたものとする。
⑬　「電話」とは、災害により通信不能となった電話の回線数とする。
⑭　「電気」とは、災害により停電した戸数のうち最も多く停電した時点における戸数とする。
⑮　「水道」とは、上水道又は簡易水道で断水している戸数のうち最も多く断水した時点における戸数とする。
⑯　「ガス」とは、一般ガス事業又は簡易ガス事業で供給停止となっている戸数のうち最も多く供給停止となった時点における戸数とする。
⑰　「ブロック塀」とは、倒壊したブロック塀又は石塀の箇所数とする。
⑱　「り災世帯」とは、災害により全壊、半壊及び床上浸水の被害を受け通常の生活を維持できなくなった生計を一にしている世帯とする。
　例えば寄宿舎、下宿その他これに類する施設に宿泊するもので共同生活を営んでいるものについては、これを一世帯として扱い、また同一家屋の親子、夫婦であっても、生活が別であれば分けて扱うものとする。
⑲　「り災者」とは、り災世帯の構成員とする。

5　火災発生
火災発生件数については、地震又は火山噴火の場合のみ報告するものであること。

6　被害金額
被害金額について、県行政センターは、県庁内各課が報告する次の施設等被害以外のものを計上する。
①　「公立文教施設」とは、公立の文教施設とする。
②　「農林水産業施設」とは、農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律（昭和25年法律第169号）による補助対象とする施設をいい、具体的には、農地、農業用施設、林業用施設、漁港施設及び共同利用施設とする。
③　「公共土木施設」とは、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法（昭和26年法律第97号）による国庫負担の対象となる施設をいい、具体的には、河川、海岸、砂防施設、林地荒廃防止施設、道路、港湾及び漁港とする。
④　「その他の公共施設」とは、公立文教施設、農林水産業施設及び公共土木施設以外の公共施設をいい、例えば庁舎、公民館、児童館、都市施設等の公用または公共の用に供する施設とする。
⑤　公立文教施設、農林水産業施設、公共土木施設及びその他の公共施設については査定済額を記入し、未査定額（被害見込額）はカッコ外書きするものとする。
⑥　「公共施設被害市町村」とは、公立文教施設、農林水産業施設、公共土木施設及びその他の公共施設の被害を受けた市町村とする。
⑦　「農産被害」とは、農林水産業施設以外の農産被害をいい、例えばビニールハウス、農作物等の被害とする。
⑧　「林産被害」とは、農林水産業施設以外の林産被害をいい、例えば立木、苗木等の被害とする。
⑨　「畜産被害」とは、農林水産業施設以外の畜産被害をいい、例えば家畜、畜舎等の被害

とする。

⑩　「水産被害」とは、農林水産業施設以外の水産被害をいい、例えば、のり、漁具、漁船等の被害とする。

⑪　「商工被害」とは、建物以外の商工被害で、例えば工業原材料、商品、生産機械器具等とする。

7　その他

消防機関の活動状況の報告に当たっては、被害が発生し防災活動に従事した者で、待機は含まない。

報告は、消防職員・消防団員別とし、使用した機材と主な活動内容を報告する。

なお、正確な員数が早急に把握することが困難な場合は、当初は概算でも差し支えない。

（消防庁「災害報告取扱要領」から抜粋）

被害程度の認定基準

被害区分	認　定　基　準
死　　者	1　当該災害が原因で死亡、死体を確認したもの 2　死体を確認することができないが、死亡したことが確実なもの
行 方 不 明	当該災害が原因で所在不明となり、かつ死亡の疑いのあるもの
重　　傷	1ヶ月以上の治療を要する見込みの負傷
軽　　傷	1ヶ月未満で治癒できる見込みの負傷
滅　　失 全　壊 全　焼 流　失	住家がその居住のための基本的機能を喪失したもの ・住家全部が倒壊、流出、埋没、焼失したもの ・住家の損壊が甚だしく、補修により元通りに再使用することが困難なもの ｛被害面積方式｝→損失部分の床面積がその住家の延床面積の70%以上に達した程度のもの ｛損害割合による方式｝→主要な構成要素の経済的被害を住家全体に占める損害割合で表し、その住家の損害割合が50%以上のもの
半　　壊 半　　焼	・住家がその居住のための基本的機能の一部を喪失したもの（住家の損壊が甚だしいが補修すれば元通りに再使用できる程度のもの） ・損失部分がその住家の延床面積の20%以上70%未満のもの ・住家の主要な構成要素の経済的被害を住家全体に占める損害割合で表し、その住家の損害割合が20%以上50%未満のもの
床 上 浸 水	浸水がその住家の床上以上に達したか、土砂・竹木の堆積により一時的に居住することができない状態となったもの
床 下 浸 水	浸水がその住家の床上以上に達しない程度のもの
一 部 破 損	住家の被害が半壊程度には達しないが、相当の復旧費を要する被害を受けたもの（窓ガラスが数枚破損した程度の軽微なものは含めない）

用 語 の 定 義

住　　家	現実にその建物を直接居住の用に供しているもの。一般に非住家とする土蔵、 小屋等であっても現に住家として居住しているときは、住家。
非 住 家	住家以外の建築物（原則、官公署、学校、病院、公民館、神社等は非住家）
棟	・一つの独立した建物 ・２つ以上の建物が渡り廊下等で接続している場合は２棟とする ・母屋に付属する風呂、便所等は母屋に含めて１棟とする
戸	・住家として居住するのに必要な一群の建物単位 ・炊事場、便所、浴場等が別である場合には、合して１戸とする
世　　帯	・生計を一にしている実際の生活単位 ・同一家屋内の親子夫婦であっても、生活の実態が別々であれば２世帯 ・マンションのように１棟の建物内に、複数の世帯が独立した生計を営んでいる場合、それぞれの世帯をひとつの世帯とする ・寄宿舎、下宿、社会福祉施設等で共同生活を営んでいるものについては、その寄宿舎等を１世帯として取り扱う

災害救助法費用限度額・災害救助内容の早見表

静岡県「災害救助の手引き（令和８年３月）」より
※令和７年度災害救助基準　令和７年４月現在

救助の種類	対　　象	費用の限度額	期　間	備　　考
避難所の設置	災害により現に被害を受け、又は受けるおそれのある者に供与する。	（基本額） 避難所設置費 １人１日当たり 360円以内 高齢者等の要配慮者等を収容する「福祉避難所」を設置した場合、当該地域における通常の実費を支出でき、上記を超える額を加算できる。	災害発生から７日以内	１　費用は、避難所の設置、維持及び管理のための賃金職員雇上費、消耗器材費、建物等の使用謝金、器物の使用謝金、借上費又は購入費、光熱水費並びに仮設便所等の設置費を含む。 ２　避難に当たっての輸送費・人件費は別途計上 ３　避難所での避難生活が長期にわたる場合等においては、避難所で避難生活している者への健康上の配慮等により、ホテル・旅館など宿泊施設を借上げて実施することが可能。（ホテル・旅館の利用額は@10,000円（食費込・税込）/泊・人以内とするが、これにより難い場合は内閣府と事前に調整を行うこと。）
応急仮設住宅の供与 応急仮設住宅の供与（借上型仮設住宅）	住宅が全壊、全焼又は流失し、居住する住家がない者であって、自らの資力では住宅を得ることができない者	○　建設型応急住宅 １　規模 応急救助の趣旨を踏まえ、実施主体が地域の実情、世帯構成等に応じて設定 ２　基本額　１戸当たり 7,089,000円以内 ３　建設型応急住宅の供与終了に伴う解体撤去及び土地の原状回復のために支出できる費用は、当該地域における実費。	災害発生の日から20日以内着工	１　費用は設置にかかる原材料費、労務費、付帯設備工事費、輸送費及び建築事務費等の一切の経費として7,089,000円以内であればよい。 ２　同一敷地内等に概ね50戸以上設置した場合は、集会等に利用するための施設を設置できる。（50戸未満であっても小規模な施設を設置できる） ３　高齢者等の要援護者等を数人以上収容する「福祉仮設住宅」を設置できる。 ４　供与期間は２年以内
		○　賃貸型応急住宅 １　規模　建設型仮設住宅に準じる ２　基本額 地域の実情に応じた額	災害発生の日から速やかに借上げ、提供	１　費用は、家賃、共益費、敷金、礼金、仲介手数料、火災保険等、民間賃貸住宅の貸主、仲介業者との契約に不可欠なものとして、地域の実情に応じた額とすること。 ２　供与期間は建設型仮設住宅と同様。
炊出しその他による食品の供与	１　避難所に収容された者 ２　住家に被害を受け、若しくは災害により現に炊事のできない者	１人１日当たり 1,390円以内	災害発生の日から７日以内	食品給与のための総経費を延給食日数で除した金額が限度額以内であればよい。 （１食は1/3日）

飲料水の供給	現に飲料水を得ることができない者（飲料水及び炊事のための水であること。）	当該地域における通常の実費	災害発生の日から７日以内	輸送費、人件費は別途計上

<table>
<tr><td rowspan="7">被服、寝具その他生活必需品の給与又は貸与</td><td>全半壊(焼)、流失、床上浸水等により、生活上必要な被服、寝具、その他生活必需品を喪失、若しくは毀損等により使用することができず、直ちに日常生活を営むことが困難な者</td><td colspan="2">1　夏季(4月～9月)冬季(10月～3月)の季別は災害発生の日をもって決定する。
2　下記金額の範囲内</td><td>災害発生の日から10日以内</td><td colspan="3">1　備蓄物資の価格は年度当初の評価額
2　現物給付に限ること</td></tr>
<tr><td colspan="2">区　　分</td><td>1人世帯</td><td>2人世帯</td><td>3人世帯</td><td>4人世帯</td><td>5人世帯</td><td>6人以上1人増すごとに加算</td></tr>
<tr><td rowspan="2">全壊
全焼
流失</td><td>夏</td><td>20,300</td><td>26,100</td><td>38,700</td><td>46,200</td><td>58,500</td><td>8,500</td></tr>
<tr><td>冬</td><td>33,700</td><td>43,500</td><td>60,600</td><td>70,900</td><td>89,300</td><td>12,300</td></tr>
<tr><td rowspan="2">半壊
半焼
床上浸水</td><td>夏</td><td>6,700</td><td>8,900</td><td>13,400</td><td>16,300</td><td>20,500</td><td>2,900</td></tr>
<tr><td>冬</td><td>10,700</td><td>14,000</td><td>19,900</td><td>23,600</td><td>29,800</td><td>3,900</td></tr>
<tr><td>医　療</td><td>医療の途を失った者（応急的処置）</td><td colspan="2">1　救護班…使用した薬剤、治療材料、医療器具破損等の実費
2　病院又は診療所…国民健康保険診療報酬の額以内
3　施術者
協定料金の額以内</td><td>災害発生の日から14日以内</td><td colspan="3">患者等の移送費は、別途計上</td></tr>
<tr><td>助　産</td><td>災害発生の日以前又は以後7日以内に分べんした者であって災害のため助産の途を失った者（出産のみならず、死産及び流産を含み現に助産を要する状態にある者）</td><td colspan="2">1　救護班等による場合は、使用した衛生材料等の実費
2　助産師による場合は、慣行料金の100分の80以内の額</td><td>分べんした日から7日以内</td><td colspan="3">妊婦等の移送費は、別途計上</td></tr>
<tr><td>被災者の救出</td><td>1　現に生命、身体が危険な状態にある者
2　生死不明な状態にある者</td><td colspan="2">当該地域における通常の実費</td><td>災害発生の日から3日以内</td><td colspan="3">輸送費、人件費は、別途計上</td></tr>
<tr><td>福祉サービスの提供</td><td>避難生活において配慮を必要とする高齢者、障害者、乳幼児その他の者</td><td colspan="2">1　左記の者からの相談対応等消耗器材費又は器物の使用謝金、借上費若しくは購入費（工事費を含む。）として当該地域における通常の実費
2　福祉避難所の設置
消耗器材費、建物の使用謝金、器物の使用謝金、借上費若しくは購入費、光熱水費、仮設便所等の設置費として当該地域における通常の実費</td><td>災害発生の日から7日以内</td><td colspan="3">令和7年7月1日から施行
輸送費、人件費は、別途計上</td></tr>
</table>

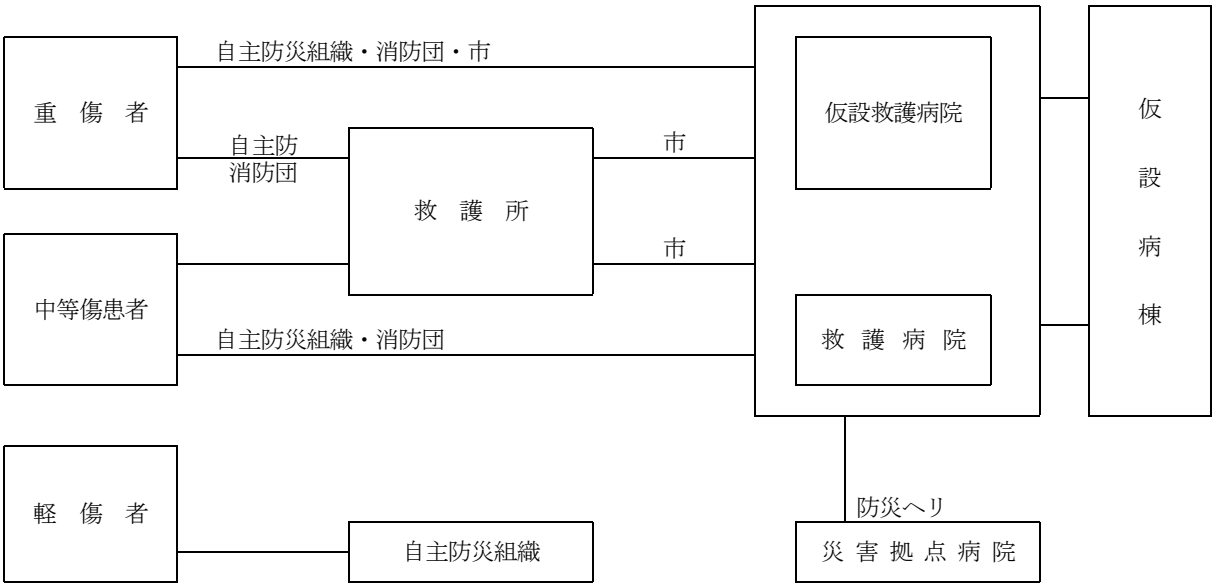
住家の被害の拡大を防災するための緊急の修理	1　災害のため住家が半壊(焼)又はこれに準ずる程度の損傷を受け、雨水の侵入等を放置すれば住家の被害が拡大するおそれがあるもの	住家の被害の拡大を防止するための緊急の修理が必要な部分に対して １世帯当たり　53,900円以内	災害発生の日から10日以内	
日常生活に必要な最小限度の部分の修理	1　住家が半壊(焼)若しくはこれらに準ずる程度の損傷を受け、自らの資力により応急修理をすることができない者 2　大規模な補修を行わなければ居住することが困難である程度に住家が半壊(焼)した者	居室、炊事場及び便所等日常生活に必要最小限度の部分１世帯当たり ①大規模半壊、中規模半壊又半壊若しくは半焼の被害を受けた世帯 739,000円以内 ②半壊又は半焼に準ずる程度の損傷により被害を受けた世帯 358,000以内	災害発生の日から３か月以内 （災害対策基本法第23条の3第1項に規定する特定災害対策本部、同法第24条第1項に規定する非常災害対策本部又は同法第28条の2第1項に規定する緊急災害対策本部が設置された災害にあっては、6か月以内）	
学用品の供与	住家の全壊(焼)流失、半壊(焼)又は床上浸水により学用品を喪失又は毀損等により使用することができず、就学上支障のある小学校児童、中学校生徒、義務教育学校生徒及び高等学校等生徒。	1　教科書及び教科書以外の教材で教育委員会に届出又はその承認を受けて使用している教材、又は正規の授業で使用している教材実費 2　文房具及び通学用品は、１人当たり次の金額以内 小学校児童　5,500円 中学校生徒　5,800円 高等学校等生徒 6,300円	災害発生の日から （教科書） １か月以内 （文房具及び通学用品） 15日以内	1　備蓄物資は評価額 2　入進学時の場合は個々の実情に応じて支給する。
埋　葬	災害の際死亡した者を対象にして実際に埋葬を実施する者に支給	１体当り 大人（12歳以上） 232,200円以内 小人（12歳未満） 185,700円以内	災害発生の日から10日以内	災害発生の日以前に死亡した者であっても対象となる。
死体の捜索	行方不明の状態にあり、かつ、四囲の事情によりすでに死亡していると推定される者	当該地域における通常の実費	災害発生の日から10日以内	1　輸送費、人件費は、別途計上
死体の処理	災害の際死亡した者について、死体に関する処理（埋葬を除く。）をする。	（洗浄、消毒等） １体当り　3,700円以内 一時保存： ○既存建物借上費：通常の実費 ○既存建物以外：１体当り 5,900円以内 検案、救護班以外は慣行料金	災害発生の日から10日以内	1　検案は原則として救護班 2　輸送費、人件費は、別途計上 3　死体の一時保存にドライアイスの購入費等が必要な場合は当該地域における通常の実費を加算できる。
障害物の除去	居室、炊事場、玄関等に障害物が運び込まれているため生活に支障をきたしている場合で自力では除去することのできない者	市町村内において障害物の撤去を行った一世帯当たりの平均 143,900円以内	災害発生の日から10日以内	

輸送費及び賃金 職員等雇上費 （法第４条第１項）	１　被災者の避難に係る支援 ２　医療及び助産 ３　被災者の救出 ４　福祉サービスの提供 ５　食金の供与及び飲料水の供給 ６　死体の捜索 ７　死体の処理 ８　救済用物資の整理配分	当該地域における通常の実費	救助の実施が認められる期間以内	
輸送費及び賃金 職員等雇上費 （法第４条第２項）	避難者の避難に係る支援	当該地域における通常の実費	救助の実施が認められる期間以内	災害が発生するおそれの段階の救助は、高齢者・障害者等で避難行動が困難な要配慮者の方の輸送であり、以下の費用を対象とする。 ・避難所へ輸送するためのバス借上げ等に係る費用 ・避難者がバス等に乗降するための補助員など、避難支援のために必要となる賃金職員等雇上費
実費弁償	災害救助法施行令第４条第１号から第４号までに規定する者	災害救助法第７条第１項の規定により救助に関する業務に従事させた都道府県知事等（法第３条に規定する都道府県知事等をいう。）の総括する都道府県等（法第17条第１号に規定する都道府県等をいう。）の常勤の職員で当該業務に従事した者に相当するものの給与を考慮して定める。	救助の実施が認められる期間以内	時間外勤務手当及び旅費は別途に定める額
救助の事務を行うのに必要な費用	１　時間外勤務手当 ２　賃金職員等雇上費 ３　旅費 ４　需用費（消耗品費、燃料費、食糧費、印刷製本費、光熱水費、修繕料） ５　使用料及び賃借料 ６　通信運搬費 ７　委託費	救助事務費に支出できる費用は、法第21条に定める国庫負担を行う年度（以下、「国庫負担対象年度」という。）における各災害に係る左記１から７までに掲げる費用について、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第143条に定める会計年度所属区分により当該年度の歳出に区分される額を合算し、各災害の当該合算した額の合計額が、国庫負担対象年度に支出した救助事務費以外の費用の額の合算額に、次のイからトまでに掲げる区分に応じ、それぞれイからトまでに定める割合を乗じて得た額の合計額以内とすること。 イ　３千万円以下の部分の金額については100分の10 ロ　３千万円を超え６千万以下の部分の金額については100分の9 ハ　６千万を超え１億円以下の部分の金額については100分の8 二　１億円を超え２億円以下の部分の金額については100分の7 ホ　２億円を超え３億円以下の部分の金額については100分の6 ヘ　３億円を超え５億円以下の部分の金額については100分の5 ト　５億円を超える部分の金額については100分の4	救助の実施が認められる期間及び災害救助費の精算する事務を行う期間以内	災害救助費の精算事務を行うのに要した経費も含む

医療救護体制一覧表（要救護者の搬送体制）

フローチャート

● 搬送車両等・・・・・救急車・緊急車両等



○　救護所

救護所は、中等傷患者に対する処置及び重傷者に対する収容を伴わない初期救急医療に相当する応急処理等を行う。

○　救護所設置場所

救　護　所　名	設　置　場　所	電話番号
下 田 中 学 校 救 護 所	下田市敷根765-1	22－3443
浜 崎 小 学 校 救 護 所	下田市須崎1785-1	22－0441
稲 生 沢 小 学 校 救 護 所	下田市立野6-1	22－0424

医療資機材保管状況

下田中学校、稲生沢小学校、浜崎小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・Cemms３型

県医薬品備蓄センターの備蓄医療器材

連絡先：（社）静岡県薬事振興会

管理者・・・賀茂健康福祉センター 衛生薬務課（24-2054）

場　所・・・旧下田市立稲梓中学校

下田市箕作350番地

指定緊急避難場所一覧

令和８年３月31日

番号	避難場所名	住所	洪水	土砂災害	高潮	地震	津波	大規模火災	内水氾濫	火山現象
1	下田中学校（グラウンド）	敷根765-1	○	○	○	○	○	○	○	○
2	旧下田幼稚園（グラウンド）	一丁目17-2	○	○	○	○	○	○	○	○
3	下田小学校（グラウンド）	五丁目3-1	○		○			○	○	○
4	稲生沢小学校（グラウンド）	立野6-1	○		○	○	○	○	○	○
5	稲生沢公民館	立野191			○	○	○	○	○	○
6	県立下田高校（スクールコート）	蓮台寺152	○		○	○	○	○	○	○
7	上大沢集会所	大沢127-1	○		○	○	○	○	○	○
8	下大沢共同集荷所	大沢625	○		○	○	○	○	○	○
9	稲梓小学校（グラウンド）	椎原224	○	○	○	○	○	○	○	○
10	旧稲梓中学校（グラウンド）	箕作350	○		○	○	○	○	○	○
11	基幹集落センター	椎原290-1	○	○	○	○	○	○	○	○
12	落合集会所	落合276	○		○	○	○	○	○	○
13	須原区集会所	須原1325-4	○	○	○	○	○	○	○	○
14	八木山集会所	須原829	○		○	○	○	○	○	○
15	相玉公会堂	相玉282-3	○		○	○	○	○	○	○
16	北湯ヶ野区集会所	北湯ケ野332	○		○	○	○	○	○	○
17	朝日小学校（グラウンド）	吉佐美544	○	○	○			○	○	○
18	青少年海の家	田牛217	○		○			○	○	○
19	大賀茂小学校（グラウンド）	大賀茂1429	○	○	○	○	○	○	○	○
20	朝日公民館	吉佐美883-1	○		○			○	○	○
21	浜崎小学校（グラウンド）	須崎1785-1	○	○	○	○	○	○	○	○
22	旧下田東中学校（グラウンド）	柿崎1106	○	○	○	○	○	○	○	○

番号	避難場所名	住所	洪水	土砂災害	高潮	地震	津波	大規模火災	内水氾濫	火山現象
23	荒川区下田臨海学園	柿崎17-27	○	○	○	○	○	○	○	○
24	元須崎保育所	須崎680-1	○		○	○	○	○	○	○
25	白浜小学校（グラウンド）	白浜1324-1	○	○	○	○	○	○	○	○
26	板戸区集会所	白浜532-1	○		○	○	○	○	○	○
27	下田市民文化会館	四丁目1-2	○	○	○			○	○	○
28	敷根公園	敷根757	○	○	○	○	○	○	○	○
29	下田公園	三丁目19-1	○	○	○	○	○	○	○	○
30	長楽寺	三丁目13-19	○		○	○	○	○	○	○
31	天理教下田分教会	六丁目6-16	○	○	○	○	○	○	○	○
32	中村中央公園	西中20		○	○			○	○	○
33	立正佼成会	東中9-8		○	○	○	○	○	○	○
34	中村東公園	東中14		○	○	○	○	○	○	○
35	竹麻神社	高馬10-13			○	○	○	○	○	○
36	諏訪神社（河内）	河内850			○	○	○	○	○	○
37	重福院	河内749		○	○	○	○	○	○	○
38	向陽院	河内289			○	○	○	○	○	○
39	下田自動車学校	河内741-2		○	○	○	○	○	○	○
40	諏訪神社（横川）	横川323	○		○	○	○	○	○	○
41	宝徳院	吉佐美1667	○		○			○	○	○
42	観音寺	須崎615	○	○	○	○	○	○	○	○
43	旭洞院	須崎816	○		○	○	○	○	○	○
44	禅福寺	白浜351	○		○	○	○	○	○	○
45	稲荷大明神	西本郷三丁目293他	○			○	○		○	
46	下田合同庁舎	西本郷二丁目5-33	○		○	○	○		○	
47	下田幼稚園上避難路	一丁目17-2				○	○			

48	春日山避難地	五丁目1017				○	○			

番号	避難場所名	住所	洪水	土砂災害	高潮	地震	津波	大規模火災	内水氾濫	火山現象
49	梓の里	加増野181-1	○	○	○	○	○	○	○	○
50	子育て地蔵広場	蓮台寺370-6	○	○	○	○	○	○	○	○
51	伊豆新聞社ビル	東本郷二丁目9-15				○	○			
52	プレベール東本郷	東本郷二丁目9-9				○	○			
53	プレベール西中	西中19-3				○	○			

指定避難所一覧

令和８年３月31日

番号	施設名	住所	想定収容人数	備考
1	下田中学校（体育館）	下田市敷根765-1	490人	
	下田中学校（武道館）	下田市敷根765-1	280人	
2	旧下田幼稚園	下田市一丁目17-2	160人	乳幼児その他対象
3	下田小学校（体育館）	下田市五丁目3-1	270人	津波災害を除く
4	稲生沢小学校（体育館）	下田市立野6-1	170人	
5	稲生沢公民館	下田市立野191	120人	洪水災害、土砂災害を除く
6	県立下田高校（体育館）	下田市蓮台寺152	420人	土砂災害を除く
7	上大沢集会所	下田市大沢127-1	30人	土砂災害を除く
8	下大沢集荷所	下田市大沢625	20人	土砂災害を除く
9	稲梓小学校（体育館）	下田市椎原224	130人	
10	旧稲梓中学校（体育館）	下田市箕作350	240人	土砂災害を除く
11	基幹集落センター	下田市椎原290-1	150人	
12	落合集会所	下田市落合276	20人	土砂災害を除く
13	須原区集会所	下田市須原1325-4	30人	土砂災害を除く
14	八木山集会所	下田市須原829	20人	土砂災害を除く
15	相玉公会堂	下田市相玉282-3	20人	土砂災害を除く
16	北湯ヶ野区集会所	下田市北湯ヶ野332	30人	土砂災害を除く
17	朝日小学校（体育館）	下田市吉佐美544	140人	津波災害を除く
18	青少年海の家	下田市田牛217	150人	津波災害を除く 土砂災害を除く

番号	施設名	住所	想定収容人数	備考
19	大賀茂小学校（体育館）	下田市大賀茂1429	110人	
20	朝日公民館	下田市吉佐美883-1	120人	津波災害を除く 土砂災害を除く
21	浜崎小学校（体育館）	下田市須崎1785-1	140人	
22	旧下田東中学校（体育館）	下田市柿崎1106	310人	
23	荒川区下田臨海学園	下田市柿崎17-27	200人	
24	白浜小学校（体育館）	下田市白浜1324-1	150人	
25	板戸区集会所	下田市白浜532-1	30人	土砂災害を除く
26	下田市民文化会館	下田市四丁目1-2	1,160人	津波災害を除く
27	稲生沢こども園	下田市立野34	100人	乳幼児その他対象 洪水災害を除く
28	ひかり保育園	下田市西中9-4	60人	乳幼児その他対象 洪水災害を除く
29	下田認定こども園	下田市敷根765-19	170人	乳幼児その他対象
30	梓の里	下田市加増野181-1	20人	高齢者その他対象
31	みくらの里	下田市吉佐美1086	20人	高齢者その他対象 土砂災害を除く
32	つくし学園	下田市加増野375-1	15人	障がい者その他対象 土砂災害を除く
33	たんぽぽ	下田市宇土金64-1	10人	障がい者その他対象
34	ワークあおぞら	下田市宇土金209-1	10人	障がい者その他対象 土砂災害を除く

広域避難場所等配備品一覧表

防災安全課　　令和8年4月1日現在

	配備場所	場所詳細	毛布	アルミシート	発電機大	発電機小	ガソリン20ℓ	ガソリン10ℓ	コードリール	投光器大	投光器小	単管テント	ワンタッチテント	ドーム型テント	1人用テント	パーテーションテント140	パーテーションテント180	パーテーションテント個室	簡易ベッド	段ボールベッド	段ボール更衣室	段ボール床材	大型扇風機	耐震性貯水槽	マンホールトイレ洋式	マンホールトイレ小便器	ラップポン（基）	ラクレッテ（基）	オストメイト（基）	ペンクイック（基）	携帯トイレ（袋）	長机	ビブス	炊出しセット	備考
	整備目標		5,532		12	27	12	15	21	7	21	10	23	######	500	300			600		3	128	28	1	42	12	165					33	220		
1	下田市役所 下田市役所（河内）	通信室、階段下倉庫			2	1	1	1	6	1										2															
2	市民スポーツセンター	通信室、防災倉庫	180											2	4																	33	220		
3	敷根公園	プール検倉庫	190		2	2	1		2			10	6	12	36												12	30	6	41	40,000				
4	旧白浜幼稚園		449	1,128	1	4	1			1	3			154		158	20	8	378	60	2	128	5				45			7	23,665				
5	下田中学校	防災倉庫 部室棟倉庫	40			2		1	2	1	3		3	10		18			18				4								12,000			2	
6	下田小学校	ステージ下	50		1																		2												
7	認定こども園	器具庫、防災倉庫	30																																
8	旧下田幼稚園	防災倉庫	30			1										16			16																
9	旧下田保育所	器具庫																																	
10	下田公園	防災倉庫				1	1	1		1			3	33																					
11	稲生沢中学校	防災倉庫																																	
12	稲生沢小学校	防災倉庫、学童１階	100		1		1						3	2		16			16		1		4												
13	稲生沢保育園	ホール下倉庫																																	
14	ひかり保育園	ステージ下																																	
15	旧稲梓中学校	ステージ上 ステージ下	40											78																	13,000				
16	稲梓小学校	防災倉庫、体育館	50		1		1		1	1						16			16																
		グラウンド倉庫	40								1			78					60	10							12								
17	基幹集落センター	管理人室横倉庫	450				1							2									1												
18	たんぽぽ	防災倉庫				1	1																						2						
19	梓の里	防災倉庫																																	
20	みくらの里	器具室																																	
21	つくし学園	施設倉庫、別棟ステージ上																																	
22	旧下田東中学校	防災倉庫、体育館２階	170			2		2	2	2	2			2		16			32	3			4							4					
23	浜崎小学校	防災倉庫２棟	50		1			1																1	7	2								1	
24	朝日小学校	太鼓倉庫、ステージ下	100		1									2		16			32				2												
25	大賀茂小学校	体育器具庫、ボイラー室	90		1																		2												
26	田牛青少年海の家	倉庫																																	
27	白浜小学校	防災倉庫、ステージ下			1											16			32				4		7	2									
28	須原区民会館	会館内	1																																
	合計		2,060	1,128	12	14	8	6	13	7	9	10	15	375	40	272	20	8	600	75	3	128	28	1	14	4	69	30	8	52	88,665	33	220	3	

令和8年4月1日

	配備場所	場所詳細	フェイスシールド	マスク(大)	マスク(中)	マスク(小)	防護服(XL)	防護服(L)	防護服(M)	防護服(S)	泡ハンドソープ(500ml)	泡ハンドソープ詰替	ペーパータオル	サーマルカメラ	非接触型体温計	[illegible](500ml)	[illegible]	嘔吐物凝固剤(袋)	食料用ｱﾙﾌｧ(米)	食料用ｱﾙﾌｧ(粥)	大人用おむつ(S)	大人用おむつ(M)	大人用おむつ(L)	おしりふき	ニトリル手袋(L)	ニトリル手袋(M)	ニトリル手袋(S)	メディクロール(400ml)	メディクロール詰替	ゴミ箱	電源タップ	スマホ充電器	子供用おむつ新生児	子供用おむつS	子供用おむつM	子供用おむつタッチM	子供用おむつL	子供用おむつビッグ	備考
1	下田市役所	通信室、階段下倉庫	63								14		14	2	45			14							400	400	200	14											
2	市民スポーツセンター	通信室、防災倉庫																																					
3	敷根公園	プール棟倉庫																	5,760	1,600	36	90	78	4,320	100	100	50												
4	旧白浜幼稚園		1,037	48,000	8,000	6,000	20	50	50	39	74	44	236			120	24	274	1,536	360	36	90	52	8,928	100	100	50	96	44	42	14	14	544	496	416	416	704	152	
5	下田中学校	防災倉庫																																					
6	下田小学校	ステージ下																																					
7	認定こども園	器具庫、防災倉庫																																					
8	旧下田幼稚園	防災倉庫																																					
9	旧下田保育所	器具庫																																					
10	下田公園	防災倉庫																																					
11	稲生沢中学校	防災倉庫																																					
12	稲生沢小学校	防災倉庫、学童1階																	1,536	360	36	90	52	2,880	100	100	50												
13	稲生沢保育園	ホール下倉庫																																					
14	ひかり保育園	ステージ下																																					
15	旧稲梓中学校	ステージ上														36	8	8																					
16	稲梓小学校	防災倉庫、体育館																	1,536	360					100	100	50												
17	基幹集落センター	管理人室横倉庫																																					
18	たんぽぽ	防災倉庫																																					
19	柿の里	防災倉庫																																					
20	みくらの里	器具室、																																					
21	つくし学園	[illegible]ステージ上																																					
22	旧下田東中学校	防災倉庫、体育館2階																	1,536	360					100	100	50												
23	浜崎小学校	防災倉庫2階																																					
24	朝日小学校	[illegible]倉庫、ステージ下																																					
25	大賀茂小学校	体育器具庫、ボイラー室																	1,536	360					100	100	50												
26	田牛青少年海の家	倉庫																																					
27	白浜小学校	防災倉庫、ステージ下																																					
	合計		1,100	48,000	8,000	6,000	20	50	50	39	88	44	250	2	45	156	32	296	13,440	3,400	108	270	182	16,128	1,000	1,000	500	110	44	42	14	14	544	496	416	416	704	152	

津波避難ビル一覧表

（令和８年３月 31 日）

No.	施設等名	所在地	建物階数	避難可能場所	避難可能人数	協定締結年月
1	下田地方合同庁舎	西本郷二丁目５番33号	3	屋上	150	H25.11
2	伊豆新聞社ビル	東本郷二丁目９番10号	3	屋上	100	H30. 1
3	プレベール東本郷	東本郷二丁目９番10号	3	屋上	204	R2.6.30
4	プレベール西中	西中19-3	4	屋上	169	R5.1.24

家庭で備える非常持出品

常に持ち出せる形での備蓄をしておく。

水	１人１日３リットルを、持出せる形で３日分。その他最低４日分を備蓄。それ以外に生活用水を確保（風呂の水をはっておくなど）。
食　　料	１人１日最低1200キロカロリーを目標に、調理不要の形で３日分。その他最低４日分を備蓄。
トイレ用品	１人１日５回使用、７日分を目標に備蓄。
生活用品	乾電池、常備薬、お薬手帳、石鹸、トイレットペーパー、ウエットティッシュ、ラップなど。

常に持ち出せる形がむずかしいものは、平常時の保管場所・保管状態を確認しておく。

サバイバル用品	ヘルメット、雨具、軍手、マスク、ナイフ、ロープなど
生活用品	着替え、食器、寝具、テント、ラジオ、懐中電灯、ライター、ビニール袋、防寒用品など
貴重品	現金、通帳、印鑑、免許証、保険証、有価証券など
その他	洗面用具、裁縫セット、予備のメガネなど

災害時に援助可能な給食施設一覧表

（令和８年３月31日）

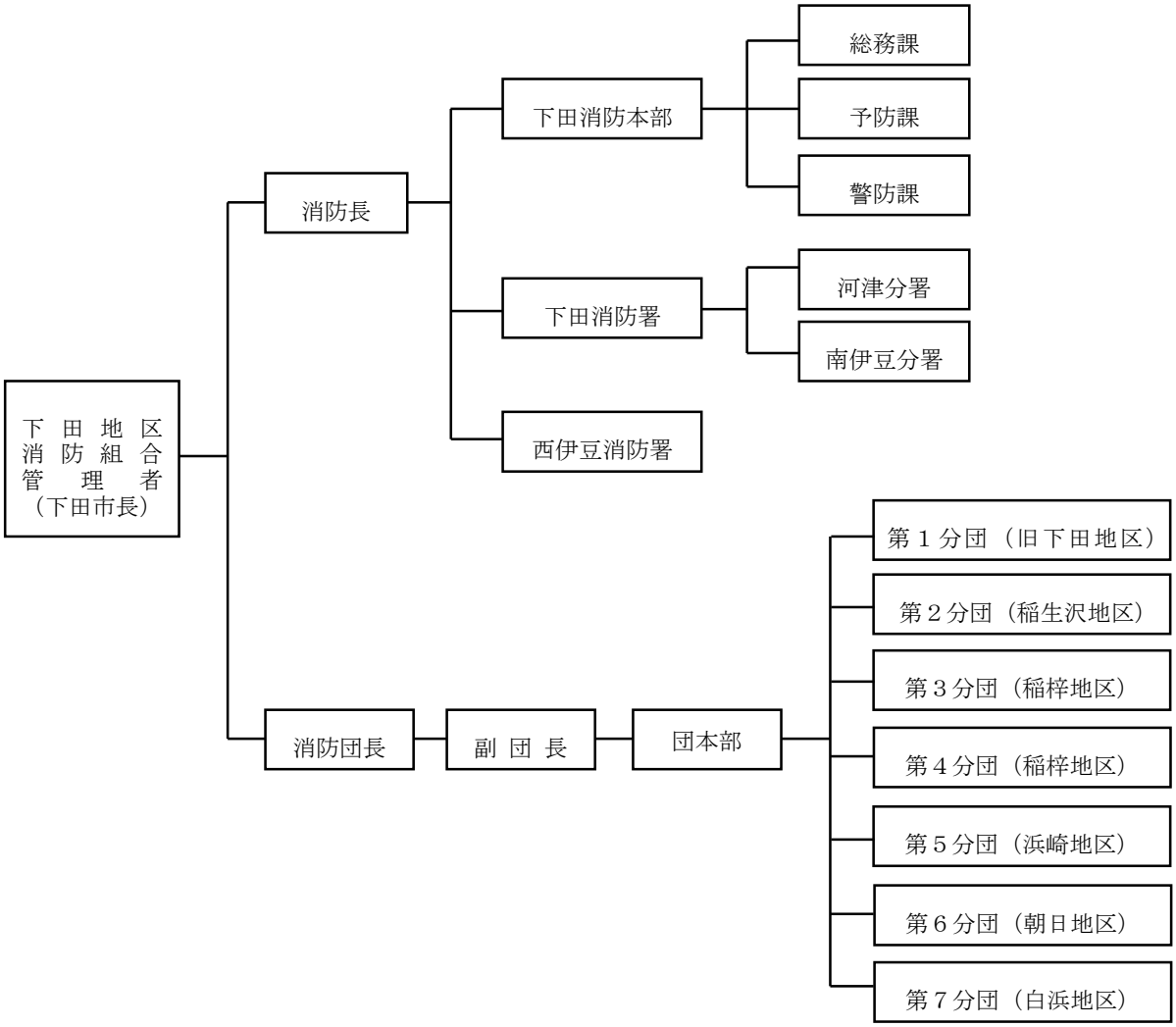
No.	施設名	所在地	電話番号	援助できる場合の内容				
				炊き出し	調理器具の提供	備蓄食品の提供	その他	内　　容
1	下田市立 学校給食センター	下田市須崎1782番地の１	0558-36-4026	○	○		食器、食缶の提供可能	回転釜の為使い方に注意が必要

災害発生後7日間確保すべき1日あたりの水量

区	人　　口	１人３リットル貯水量（㍑）
下　　田	4,779	14,337
稲　　生　　沢	4,844	14,532
稲　　梓	1,912	5,736
浜　　崎	2,356	7,068
朝　　日	3,490	10,470
白　　浜	1,635	4,905
小　　計	19,016	57,048

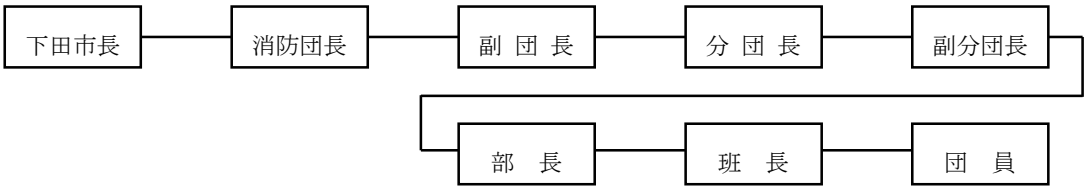
（※　人口は令和7年度下田市統計による。）

消防組織編成図

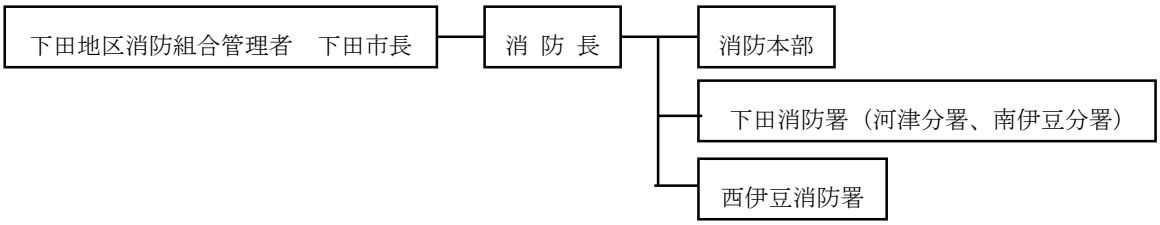


消防の組織機構

（１） 非常備消防



（２） 常備消防



下田消防本部職員及び車両配置状況

1　所属・階級別職員数　　（令和８年３月31日）

		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
消防本部	消防長	1							1
	次長								
	総務課		1	1	2	1(1)			5(1)
	警防課		1	1(1)	1	1(1)			4(2)
	予防課		1	1(1)	2	1			5(1)
	通信指令室			4(3)	2(1)	2			8(4)
	本部付				2				2
	派遣職員								
	再任用職員				2			1	3
	小計	1	3	7(5)	10(1)	6(2)		1	28(8)
消防署	下田消防署		1	7(7)	7	5	7	12	39(7)
	河津分署			3	3	3	1	2	12
	南伊豆分署			3	3	1	2	3	12
	西伊豆消防署		1	6(6)	7(3)	4	4	6	28(9)
	再任用職員								
	小計		2	19(13)	20(3)	13	14	23	91(16)
合計		1	5	26(18)	30(4)	19(2)	14	24	119(24)

2　消防車両

所属	保有車両
消防本部	予防査察車、指令車、事務車（2台）、マイクロ
下田消防署	ポンプ車、水槽付ポンプ車、救助工作車、高規格救急車（3台、予備車含む）、指揮車、資機材搬送車（軽）、後方支援車
河津分署	ポンプ車、指令車、高規格救急車
南伊豆分署	ポンプ車、指令車、高規格救急車
西伊豆消防署	ポンプ車（2台）、高規格救急車（2台）、救助工作車、資機材搬送車（軽）、予防査察車、広報車、後方支援車

下田市消防団編成表

（令和８年３月31日）

分団名	部名 ＼ 階級	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員	部　計	分団計
本部分団	男性	1	2	1	2	1	0	0	1	11
	女性					1	1	2	4	
１分団	1			1	1	1	2	15	18	52
	2					1	2	13	16	
	3					1	2	13	16	
２分団	1			1	1	1	2	12	15	55
	2					1	2	18	21	
	3					1	2	14	17	
３分団	1			1	1	1	2	27	30	32
４分団	1			1	1	1	2	14	17	19
５分団	1			1	1	1	2	23	26	43
	2					1	2	12	15	
６分団	1			1	1	1	2	15	18	33
	2					1	1	11	13	
７分団	1			1	1	1	2	22	25	27
計	13	1	2	8	9	15	26	211	252	272

消防団詰所及び機械器具置場

14箇所　（令和８年３月31日現在）

分団	部	所　在　地	構造及び延べ面積	建築年月日	備　　考
1	1	3丁目1186	鉄骨２階　(89.70)	H 5. 6.30	市有地占用
	2	2丁目404-2	木造２階　(66.23)	S54. 3.29	(市)宅地 68.86
	3	6丁目1-14	鉄骨２階　(68.00)	H 6. 3.27	消防庁舎併設
2	1	西本郷2-24-2	鉄筋２階　(54.40)	S39.12. 1	(市)宅地 97.82
	2	西中19-12	木造２階　(120.00)	R3.12.21	(市)宅地275.37
	3	大沢1-1	鉄骨２階　(112.00)	H27. 3. 4	借地
3	1	箕作260-1	鉄骨地上１階地下１階 (114.13)	H18. 1.27	借地
4	1	横川244-7	鉄骨２階　(111.1)	H24. 3.21	借地
5	1	柿崎449	鉄骨２階　(120.00)	H29. 3. 1	(市)宅地 818.03
	2	須崎1799	鉄骨造２階 (70.84)	S63. 9.30	産業振興課占用
6	1	吉佐美1882-2	木造２階　(69.56)	H 1. 2.10	借地
	2	大賀茂622-4	木造２階　(57.82)	S55. 3.20	借地
7	1	白浜1247-2	鉄骨２階　(120.00)	H29. 3. 3	借地
		立野191-1	鉄骨１階　(42.90)	H 6. 1.31	公民館用地占用

下田市消防団火災発生地区別分団出動表

<table>
<tr><th>火災現場区域</th><th>第１出動</th><th>第２出動</th><th>第３出動</th></tr>
<tr><td>全域</td><td colspan="3">団本部</td></tr>
<tr><td>旧町内・武ガ浜・旧岡方村</td><td>１分団
正副６分団長</td><td>６分団</td><td rowspan="7">全分団</td></tr>
<tr><td>稲生沢地区</td><td>２分団
正副３・４分団長</td><td>３・４分団</td></tr>
<tr><td>稲梓地区（注１）</td><td>３・４分団
正副２分団長</td><td>２分団</td></tr>
<tr><td>浜崎地区</td><td>５分団
正副７分団長</td><td>７分団</td></tr>
<tr><td>吉佐美・大賀茂・田牛地区</td><td>６分団
正副１分団長</td><td>１分団</td></tr>
<tr><td>白浜地区</td><td>７分団
正副５分団長</td><td>５分団</td></tr>
</table>

（注１）稲梓地区とは、３分団・４分団とする。

○　消防団の出動は原則、団長指令に基づき行う。
　下田消防署通信指令室より送信される火災報メールを受信した際は、上記出動表に基づき出動するものとする。

◎　危険回避のため次のことを厳守すること。

★　出動時の最低人員は５名以上の団員を確保してから出庫すること。

★　出動に際しては、必ず受令機のスイッチを入れ、ボリュームを最大にすること。

★　下田消防署通信指令室から通常走行の指令があった場合には、速やかに従うこと。

下田市消防団火災・災害動員表

（令和８年３月31日）

消防団実数											出動区分			
											火災	災害		
分団名	部名	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	部計	分団計	通常火災	応急配備(18%以上) 分団計	第1次動員(50%以上) 分団計	第2次動員(90%以上) 分団計
本部		1	2	1	2	2	1	2	5	11	8	2	6	10
1分団	1			1	1	1	2	15	18	52	地区別出動表による出動可能な分団全部員	9	26	47
	2					1	2	13	16					
	3					1	2	13	16					
2分団	1			1	1	1	2	12	15	55		10	28	50
	2					1	2	18	21					
	3					1	2	14	17					
3分団	1			1	1	1	2	27	30	32		6	16	29
4分団	1			1	1	1	2	14	17	19		4	10	18
5分団	1			1	1	1	2	23	26	43		8	22	39
	2					1	2	12	15					
6分団	1			1	1	1	2	15	18	33		6	17	30
	2					1	1	11	13					
7分団	1			1	1	1	2	22	25	27		5	14	24
計	13	1	2	8	9	15	26	211	252	272		50	139	247

災害時の動員基準

応急配備体制
（詰所待機・警戒等）

・大雨、洪水、暴風、津波警報のいずれかが伊豆南地方に発表されたとき。
・下田市内で震度４以上の地震を観測したとき。
・火山活動に異常が認められたとき。
・その他状況により団長が指令したとき。

第１次動員（警戒体制）
（詰所待機・警戒等）

・伊豆地域に大規模な災害が発生するおそれがあるとき。
・その他状況により団長が指令したとき。

第２次動員（非常体制）
（災害現場へ出動）

・伊豆地域に大規模な災害が発生したとき。
・その他状況により団長が指令したとき。

下田市消防団車両一覧表

（令和８年３月31日）

◎消防ポンプ自動車

No.	所属	所在地	登録年月日	登録No.	車　種	型	燃 料
1	１－１	３丁目	平成28年３月７日	伊豆800さ2246	いすゞ	CD-1	軽油
2	１－２	２丁目	平成21年12月21日	伊豆800さ1090	いすゞ	CD-1	軽油
3	１－３	６丁目	平成22年９月15日	伊豆800さ1257	いすゞ	CD-1	軽油
4	２－１	本　郷	平成30年12月10日	伊豆800さ2787	いすゞ	CD-1	軽油
5	２－２	西　中	平成25年11月26日	伊豆800さ1873	いすゞ	CD-1	軽油
6	３－１	箕　作	令和３年３月15日	伊豆800さ3128	いすゞ	CD-1	軽油
7	５－１	柿　崎	平成24年３月15日	伊豆800さ1523	いすゞ	CD-1	軽油
8	６－１	吉佐美	平成29年10月27日	伊豆800さ2566	いすゞ	CD-1	軽油

◎小型動力ポンプ付積載車

No.	所属	所在地	登録年月日	登録No.	車　種	型	備 考
1	２－２	西　中	令和６年３月８日	伊豆883あ221	スズキ	軽積載	ガソリン
2	２－３	大　沢	平成22年３月25日	伊豆800さ1146	いすゞ	積 載	軽油
3	２－３	大　沢	令和５年３月８日	伊豆883あ232	スズキ	軽積載	ガソリン
4	３－１	箕　作	平成28年10月27日	伊豆800さ2374	いすゞ	積 載	ガソリン
5	４－１	横　川	平成26年10月30日	伊豆800さ2024	いすゞ	積 載	ガソリン
6	４－１	横　川	令和５年３月９日	伊豆883あ411	スズキ	軽積載	ガソリン
7	５－１	柿　崎	令和６年３月11日	伊豆883あ511	スズキ	軽積載	ガソリン
8	５－２	須　崎	令和３年３月17日	伊豆880あ702	スズキ	軽積載	ガソリン
9	６－２	大賀茂	平成30年11月９日	伊豆800さ2769	いすゞ	積 載	ガソリン
10	７－１	白　浜	平成30年２月23日	伊豆800さ3631	いすゞ	積 載	軽油
11	７－１	白　浜	令和５年３月10日	伊豆883あ712	スズキ	軽積載	ガソリン
12	消防団本部指令車		令和８年３月９日	伊豆800さ3884	ニッサン4WD	普 通	ガソリン
13	消防団本部資機材車		令和７年７月８日	伊豆800さ3790	ニッサン2WD	普通	ガソリン

貯水槽一覧表

令和8年3月31日

下田地区　貯水槽（１分団）

No.	所在地	目標物	種類	水量
1	１丁目	新田公会堂前	耐震性貯水槽	40t
2	１丁目	フラワーマンション前	防火水槽	33t
3	２丁目	第１分団第２部詰所前	防火水槽	22t
4	２丁目	つるや食堂横	防火水槽	52t
5	３丁目	日新堂横	耐震性貯水槽	60t
6	３丁目	大浦八幡宮先	防火水槽	48t
7	４丁目	市民文化会館裏（採水口２）	防火水槽	50t
8	４丁目	老人憩いの家	防火水槽	40t
9	５丁目	下田小学校内	耐震性貯水槽	100t
10	５丁目	下田小学校裏	防火水槽	17t
11	５丁目	河津建設鍋田寮上	防火水槽	10t
12	６丁目	豆洋自動車横	防火水槽	40t
13	６丁目	杉本工業内	私設防火水槽	50t
14	６丁目	下田消防署前	耐震性貯水槽	60t
15	６丁目	たつきクリーニング店前	防火水槽	40t
16	６丁目	芳野食品奥	耐震性貯水槽	100t
17	６丁目	相の山宿舎前	耐震性貯水槽	40t
18	６丁目	相の山荘入口	耐震性貯水槽	40t
19	６丁目	三渓苑内	耐震性貯水槽	60t
20	旧岡方村	第２弘洋園公園内No.１	耐震性貯水槽	40t
21	旧岡方村	第２弘洋園内No.２	耐震性貯水槽	40t
22	旧岡方村	第２弘洋園内No.３	耐震性貯水槽	40t
23	旧岡方村	弘洋園内	耐震性貯水槽	40t
24	敷根	丸三工業プラント内	耐震性貯水槽	20t
25	敷根	サンワーク下田先	耐震性貯水槽	100t

稲生沢地区　貯水槽（２分団）

No.	所在地	目標物	種類	水量
26	東本郷１丁目	下田市役所前	防火水槽	38t
27	西本郷１丁目	エスパーダ西本郷前	防火水槽	40t
28	西本郷１丁目	静岡トヨペット車軸置き場裏	防火水槽	44t
29	西本郷２丁目	県南病院横	防火水槽	43t
30	西本郷２丁目	小山田公園内	耐震性貯水槽	100t
31	西本郷３丁目	県南病院奥	防火水槽	20t
32	中	丸山住宅入口	防火水槽	32t
33	東中	中村東公園付近	防火水槽	30t
34	東中	百老亭裏	防火水槽	38t
35	西中	サンハイツⅡ前	防火水槽	46t
36	西中	中村中央公園内	耐震性貯水槽	60t
37	西中	下田興業付近	防火水槽	40t
38	蓮台寺	弥五平口入口	防火水槽	42t
39	蓮台寺	天神神社裏	耐震性貯水槽	100t
40	大沢	農協集荷所横	防火水槽	69t
41	大沢	農協集荷所裏	防火水槽	10.6t
42	大沢	20-18付近	耐震性貯水槽	40t
43	大沢	平山孝継妻実家	防火水槽	11t
44	大沢	第２分団第３部前	耐震性貯水槽	40t
45	大沢	大野郁夫宅前	耐震性貯水槽	40t
46	大沢	上大沢行き止まり	防火水槽	9t
47	河内	伊能沢中学校内	耐震性貯水槽	100t
48	河内	市営住宅内	耐震性貯水槽	40t
49	西中	総合庁舎駐車場内	私設防火水槽	100t

稲梓地区　貯水槽（３，４分団）

No.	所在地	目標物	種類	水量
50	箕作	箕作交差点前	耐震性貯水槽	40t
51	宇土金	達磨大師　駐車場	耐震性貯水槽	40t
52	椎原	随源院　入口	耐震性貯水槽	40t
53	須原	伊豆製菓　手前	耐震性貯水槽	40t
54	須原	入谷　土屋重二宅　前	耐震性貯水槽	40t
55	須原	あずさ山の家　手前	耐震性貯水槽	60t
56	須原	坂戸　土屋みつる宅　前	耐震性貯水槽	40t
57	須原	八木山公民館前	耐震性貯水槽	40t
58	逆川	河津　野田光義宅　前	耐震性貯水槽	45t
59	横川	関電工　下田営業所	私設防火水槽	15t
60	横川	横川信号　先	防火水槽（無蓋）	30t
61	北湯ヶ野	日枝神社　横	防火水槽	30t
62	北湯ヶ野	土屋久夫宅　前	耐震性貯水槽	40t
63	北湯ヶ野	前田工業　先	防火水槽	40t
64	加増野	アンドウカーパーツ　敷地内	私設防火水槽	45t
65	加増野	中帯部落　石原設備下	防火水槽（無蓋）	25t
66	加増野	和泉忠広宅　横	耐震性貯水槽	40t

貯水槽一覧表

令和8年3月31日

浜崎地区　貯水槽（５分団）

No.	所在地	目標物	種類	水量
67	柿崎	上の山交差点付近	防火水槽	64t
68	柿崎	玉泉寺横	耐震性貯水槽	60t
69	柿崎	腰越集会所前	防火水槽	40t
70	柿崎	臨海荘駐車場内	耐震性貯水槽	60t
71	柿崎	糸賀商店裏	防火水槽（無蓋）	25t
72	須崎	観音寺北側	防火水槽	49t
73	須崎	旧須崎保育所駐車場	耐震性貯水槽	60t
74	須崎	民宿高宮丸付近	防火水槽（無蓋）	25t
75	須崎	５－２詰所裏	耐震性貯水槽	100t
76	須崎	旭洞院境内西側	防火水槽（無蓋）	32t
77	須崎	西部農道入口分譲地	減水装置付防火水槽	40t
78	須崎	パレスサイドヴィラ入口	私設防火水槽	45t
79	須崎	御用邸警備詰所	防火水槽	38t
80	須崎	爪木崎公園内	地上式防火水槽	40t
81	須崎	浜崎小学校内	耐震性貯水槽	60t
82	須崎	創価学会	防火水槽	40t

朝日地区　貯水槽（６分団）

No.	所在地	目標物	種類	水量
83	吉佐美	ペンション　タムレ　裏	耐震性貯水槽	40t
84	吉佐美	朝日小学校グラウンド　内	耐震性貯水槽	100t
85	吉佐美	民宿　上條前	防火水槽（無蓋）	12t
86	吉佐美	カラオケTAKE１　先	耐震性貯水槽	40t
87	吉佐美	民宿　かわい荘入口	防火水槽	14t
88	吉佐美	下田大和館下駐車場	私設防火水槽	100t
89	吉佐美	マリンジャンボ駐車場	私設防火水槽	40t
90	田牛	碁石が浜リゾート129　パート５	私設耐震性防火水槽	40t
91	大賀茂	下田漁具倉庫　手前	防火水槽	40t
92	大賀茂	大川昇宅　下	耐震性貯水槽	40t
93	大賀茂	間々原バス停　前	防火水槽	40t
94	大賀茂	堀切橋　上	簡易貯水槽ダム	
95	大賀茂	堀切　大川覚宅　前	耐震性貯水槽	40t
96	大賀茂	みくらの里　入口	防火水槽	24t
97	大賀茂	大賀茂　桂公会堂前	耐震性貯水槽	60t
98	田牛	民宿　きしく前	耐震性貯水槽	60t
99	田牛	６－３詰所横	耐震性貯水槽	40t
100	田牛	遠藤木工作業所裏	防火水槽（無蓋）	

白浜地区　貯水槽（７分団）

No.	所在地	目標物	種類	水量
101	白浜	民宿　太七荘前	防火水槽	10t
102	白浜	板戸公民館横	耐震性貯水槽	40t
103	白浜	民宿　美浜荘横	防火水槽（無蓋）	30t
104	白浜	民宿　福聚荘20ｍ南側	防火水槽（無蓋）	65t
105	白浜	民宿　根木屋横	防火水槽	40t
106	白浜	伊豆漁協白浜出張所横	防火水槽	60t
107	白浜	民宿　みどり荘40ｍ西側	防火水槽	40t
108	白浜	白浜小学校100ｍ北側	耐震性貯水槽	40t
109	白浜	長田寺駐車場横	防火水槽（無蓋）	52t
110	白浜	みなみ美容院横	耐震性貯水槽	40t
111	白浜	善丸水産50ｍ西側	防火水槽	60t
112	白浜	民宿　下峰前	防火水槽	32t
113	白浜	日本アロエセンター前	防火水槽	24t
114	白浜	堺産業分譲地内	耐震性貯水槽	60t

ガス事業者一覧表

（令和８年３月31日）

名　　称	所　在　地	電　　話	備　　考
伊東ガス㈱ 下田営業所	西本郷２－２－２	22－2819	
エネジン㈱ 下田営業所	東中13－４	23－7377	
サガミシード㈱ 下田ＬＰＧ販売所	二丁目６－14	23－6445	
下田ガス㈱	中467	22－1321	
杉本工業㈱	６丁目37－44	22－3153	
㈱東静プロパンガス 保安センター	吉佐美1455－１	23－1322	
㈱ＴＯＫＡＩ 下田営業所	吉佐美943－１	23－3771	

類別危険物施設

（令和７年度下田消防本部年報）

施設区分	製造所	貯蔵所								取扱所				合計
		屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋内貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	一般取扱所	第一種販売取扱所	小計	
危険物施設数		12	3	19		12	3		49	12	13	1	26	75

消防法施行令

別表第一（第一条の二―第三条、第三条の三、第四条、第四条の二の二―第四条の三、第六条、第九条―第十四条、第十九条、第二十一条―第二十九条の三、第三十一条、第三十四条、第三十四条の二、第三十四条の四―第三十六条関係）

(一)	イ　劇場、映画館、演芸場又は観覧場 ロ　公会堂又は集会場
(二)	イ　キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの ロ　遊技場又はダンスホール ハ　風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和二十三年法律第百二十二号）第二条第五項に規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗（ニ並びに（一）項イ、（四）項、（五）項イ及び（九）項イに掲げる防火対象物の用途に供されているものを除く。）その他これに類するものとして総務省令で定めるもの ニ　カラオケボックスその他遊興のための設備又は物品を個室（これに類する施設を含む。）において客に利用させる役務を提供する業務を営む店舗で総務省令で定めるもの
(三)	イ　待合、料理店その他これらに類するもの ロ　飲食店
(四)	百貨店、マーケツトその他の物品販売業を営む店舗又は展示場
(五)	イ　旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの ロ　寄宿舎、下宿又は共同住宅
(六)	イ　次に掲げる防火対象物 （１）　次のいずれにも該当する病院（火災発生時の延焼を抑制するための消火活動を適切に実施することができる体制を有するものとして総務省令で定めるものを除く。） （ｉ）　診療科名中に特定診療科名（内科、整形外科、リハビリテーション科その他の総務省令で定める診療科名をいう。（２）（ｉ）において同じ。）を有すること。 （ⅱ）　医療法（昭和二十三年法律第二百五号）第七条第二項第四号に規定する療養病床又は同項第五号に規定する一般病床を有すること。 （２）　次のいずれにも該当する診療所 （ｉ）　診療科名中に特定診療科名を有すること。 （ⅱ）　四人以上の患者を入院させるための施設を有すること。 （３）　病院（（１）に掲げるものを除く。）、患者を入院させるための施設を有する診療所（（２）に掲げるものを除く。）又は入所施設を有する助産所 （４）　患者を入院させるための施設を有しない診療所又は入所施設を有しない助産所 ロ　次に掲げる防火対象物 （１）　老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム（介護保険法（平成九年法律第百二十三号）第七条第一項に規定する要介護状態区分が避難が困難な状態を示すものとして総務省令で定める区分に該当する者（以下「避難が困難な要介護者」という。）を主として入居させるものに限る。）、有料老人ホーム（避難が困難な要介護者を主として入居させるものに限る。）、介護老人保健施設、老人福祉法（昭和三十八年法律第百三十三号）

	第五条の二第四項に規定する老人短期入所事業を行う施設、同条第五項に規定する小規模多機能型居宅介護事業を行う施設（避難が困難な要介護者を主として宿泊させるものに限る。）、同条第六項に規定する認知症対応型老人共同生活援助事業を行う施設その他これらに類するものとして総務省令で定めるもの （２） 救護施設 （３） 乳児院 （４） 障害児入所施設 （５） 障害者支援施設（障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成十七年法律第百二十三号）第四条第一項に規定する障害者又は同条第二項に規定する障害児であって、同条第四項に規定する障害支援区分が避難が困難な状態を示すものとして総務省令で定める区分に該当する者（以下「避難が困難な障害者等」という。）を主として入所させるものに限る。）又は同法第五条第八項に規定する短期入所若しくは同条第十七項に規定する共同生活援助を行う施設（避難が困難な障害者等を主として入所させるものに限る。ハ（５）において「短期入所等施設」という。） ハ 次に掲げる防火対象物 （１） 老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム（ロ（１）に掲げるものを除く。）、老人福祉センター、老人介護支援センター、有料老人ホーム（ロ（１）に掲げるものを除く。）、老人福祉法第五条の二第三項に規定する老人デイサービス事業を行う施設、同条第五項に規定する小規模多機能型居宅介護事業を行う施設（ロ（１）に掲げるものを除く。）その他これらに類するものとして総務省令で定めるもの （２） 更生施設 （３） 助産施設、保育所、幼保連携型認定こども園、児童養護施設、児童自立支援施設、児童家庭支援センター、児童福祉法（昭和二十二年法律第百六十四号）第六条の三第七項に規定する一時預かり事業又は同条第九項に規定する家庭的保育事業を行う施設その他これらに類するものとして総務省令で定めるもの （４） 児童発達支援センター、児童心理治療施設又は児童福祉法第六条の二の二第二項に規定する児童発達支援若しくは同条第四項に規定する放課後等デイサービスを行う施設（児童発達支援センターを除く。） （５） 身体障害者福祉センター、障害者支援施設（ロ（５）に掲げるものを除く。）、地域活動支援センター、福祉ホーム又は障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第五条第七項に規定する生活介護、同条第八項に規定する短期入所、同条第十二項に規定する自立訓練、同条第十三項に規定する就労移行支援、同条第十四項に規定する就労継続支援若しくは同条第十五項に規定する共同生活援助を行う施設（短期入所等施設を除く。） ニ 幼稚園又は特別支援学校
(七)	小学校、中学校、高等学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校その他これらに類するもの
(八)	図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの
(九)	イ 公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類するもの ロ イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場

(十)	車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場（旅客の乗降又は待合いの用に供する建築物に限る。）
(十一)	神社、寺院、教会その他これらに類するもの
(十二)	イ　工場又は作業場 ロ　映画スタジオ又はテレビスタジオ
(十三)	イ　自動車車庫又は駐車場 ロ　飛行機又は回転翼航空機の格納庫
(十四)	倉庫
(十五)	前各項に該当しない事業場
(十六)	イ　複合用途防火対象物のうち、その一部が（一）項から（四）項まで、（五）項イ、（六）項又は（九）項イに掲げる防火対象物の用途に供されているもの ロ　イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物
(十六の二)	地下街
(十六の三)	建築物の地階（（十六の二）項に掲げるものの各階を除く。）で連続して地下道に面して設けられたものと当該地下道とを合わせたもの（（一）項から（四）項まで、（五）項イ、（六）項又は（九）項イに掲げる防火対象物の用途に供される部分が存するものに限る。）
(十七)	文化財保護法（昭和二十五年法律第二百十四号）の規定によって重要文化財、重要有形民俗文化財、史跡若しくは重要な文化財として指定され、又は旧重要美術品等の保存に関する法律（昭和八年法律第四十三号）の規定によって重要美術品として認定された建造物
(十八)	延長五十メートル以上のアーケード
(十九)	市町村長の指定する山林
(二十)	総務省令で定める舟車

備考

一　二以上の用途に供される防火対象物で第一条の二第二項後段の規定の適用により複合用途防火対象物以外の防火対象物となるものの主たる用途が（一）項から（十五）項までの各項に掲げる防火対象物の用途であるときは、当該防火対象物は、当該各項に掲げる防火対象物とする。

二　（一）項から（十六）項までに掲げる用途に供される建築物が（十六の二）項に掲げる防火対象物内に存するときは、これらの建築物は、同項に掲げる防火対象物の部分とみなす。

三　（一）項から（十六）項までに掲げる用途に供される建築物又はその部分が（十六の三）項に掲げる防火対象物の部分に該当するものであるときは、これらの建築物又はその部分は、同項に掲げる防火対象物の部分であるほか、（一）項から（十六）項に掲げる防火対象物又はその部分でもあるものとみなす。

四　（一）項から（十六）項までに掲げる用途に供される建築物その他の工作物又はその部分が（十七）項に掲げる防火対象物に該当するものであるときは、これらの建築物その他の工作物又はその部分は、同項に掲げる防火対象物であるほか、（一）項から（十六）項までに掲げる防火対象物又はその部分でもあるものとみなす。

主要資機材整備状況一覧表

番号	区名	情報伝達用		初期消火用					救助用																					
		電池メガホン	簡易無線機	可搬ポンプ	消火ホース	消火器	バケツ	消火栓ハンドル	ヘルメット	懐中電灯	土のう	ハシゴ	バール・丸太	のこぎり	なた	ハンマー	掛矢	斧	スコップ	つるはし	くわ	もっこ・石み	ペンチ	鉄線はさみ	ロープ・トラロープ	ゴムボート	一輪車・リヤカー	ジャッキ	チェンソー	担架
1	住吉区	3	4	1	7	7	6	1	6	2	50		6	1	1	4	2	1	7	4					6		2	1	1	3
2	新田区	3	4			5	5		10	7	85	7	12	3	3	3	2	1	5	2	5	5	3	2	1				1	
3	大和区	2			3		11		7	2			5			4			11	3				2	8					1
4	港　区			1	30	12	5	5	8	20	20		8		1				5											
5	大坂区	1		1	15	4	35	4	7	5	58	6	2	7	2	3	1	1	17	2	2	7	1	1	6		7	3	1	5
6	弥七喜区	2		1	5	2	10	1	12	10	20		1	1	2	2	1		5	3	2	4	2		4					2
7	中央区	1			10	4	6	1	10	2	50		3						10	5										
8	広岡東区	2		1	5	6	20	2	30	8	20	1	2	2	2	2	1	1	4	3	4	3	1	1	5		1		1	1
9	岩下区第１	1	1	1		28	6	3	2	3	2		2	2		1			2	2				2	1		3		1	1
10	岩下区第２	2	1		8		30			1		1		2		1		2	6	2							4			2
11	岩下区第３	1			4	10	21	1	1	7		1	1			1			6	5					10		2		1	1
12	岩下区第４		1				17			4		2	1			1	1		1	2	1	3					1		1	
13	岩下区第５	1	1		1	11	14	1	2	3	200	1	5	2	1	2	1	1	3	2				1	2		3	1	1	1
14	岩下区第６	2	1			6	30	1	6	4	50	1	1	2			1	1	2	2				2	4		2		1	1
15	広岡西区第１	1	2			2	7		2				6	2	2	3	1	2	7	4	5		2	2	4			2		2
16	広岡西区第２	1	2			3	7		5		*85		6	2	2	6	1	2	7	4	7		2	2	4			2	1	
17	広岡西区第３	1	2			18	7		2				6	2	2	3	1	2	7	6	7			2	3		1	2	1	2
18	広岡西区第４	1				6	6		11		20		6		3	5	1	2	5	4	2		3	2	3		1	2		
19	高馬区	2	3	1	8	3	24		11		200	1	4			1	1		9	3	1			1	1		2	2	3	2
20	西本郷区	3			10	5	21	1	32	5		2	3	2		3	2		10	5	2	3		1	3		2			3
21	東本郷区	2		1	10		6			1		1	7			4	2		8	4	2			1	4		6	5	1	1
22	中１区	5	12				14		25					3		2			11	6	3				5		2			4
23	中２区																													

主要資機材整備状況一覧表

		情報伝達用		初期消火用					救助用																					
番号	区名	電池メガホン	簡易無線機	可搬ポンプ	消火ホース	消火器	バケツ	消火栓ハンドル	ヘルメット	懐中電灯	土のう	ハシゴ	バール・丸太	のこぎり	なた	ハンマー	掛矢	斧	スコップ	つるはし	くわ	もっこ・石み	ペンチ	鉄線はさみ	ロープ・トラロープ	ゴムボート	一輪車・リヤカー	ジャッキ	チェンソー	担架
24	立野区	2	4				15				200	1	4	2		3	2		3	2	2							1	1	1
25	河内区	9		1	17	4	46		3		260			7	17	16	5	5	45	21	43		10	5	10		7		8	5
26	蓮台寺区	2	12	1	16	8	15	1	20	2	400	3	2	1	1	2	4		3	4	4			1	3		3	6	2	4
27	上大沢区	3	1	1	1	5			16	3		1	3	1	2	1	1		9	3	2				5		2		1	1
28	下大沢区	1	15	1	3	2	7		8	3	100	1	2	3	3	1	2		7	2			2	1	2		1		2	1
29	箕作区	1	2	1	2		8			2	200		1	5	5	1	1	1	5	2	5		1		1		2		1	1
30,3	須原１・２区	5									170	2		4	4										4		1		2	2
32	宇土金区	2			13	7	19	3	8	1	351	1	2	1	2	1			4	2			1	1	1		1		1	2
33	椎原区	1		1	6	5	3	1	4	1	30	1	3	1	1	1	2		3	3	2	5			1		2	2	2	2
34	北湯ヶ野区	2		1	3	7			9				2			1			4	2									1	1
35	加増野区	2				6	7		8	9	140		1			1			2	1					1					2
36	横川区	2			6	3	10	1	10	3	30		2	2	2	1			3	2	2	2		1	4		2	1	1	
37	相玉区	1		1		6		1	8	4	200					1	1		2	2					3		1		1	1
38	落合区	2			8	6	7	2	1	2	140		2	1	1	1			5	2	2	2			5		1		1	2
39	柿崎区	10		1	24	8	24		2	3	140		1	5	3	7	5	5	27	18	3	10	5	3	6		3	3	4	1
40	外浦区	5			46	4	6	10	9	2	400	7	2	8	6	2	4		16	2	4	6	1	14	16		8		3	3
41	須崎区	2	7				13		35	4	200	1	3	3	2	2	2	4	7	4	2		1	1	5		2		3	4
42	吉佐美区	7									100								9	4					23		2			
43	大賀茂区	3	27		4	8	24	1	13	4	300	2	7	6	2	1	1		10	6	2		3	1	3			2	2	4
44	碁石が浜区	2	8			3	4		5	2	10		1	2				2	2				1	2	5			1		1
45	田牛区	3	8	1	2	8	20	6	1		100	2		1	1	6	1		23	7	1		1	1	1		5		3	1
46	原田区	4	5	1	16	4	10		27	3	160	2		2	1	2	1		10	3	1		2		11		1	1	2	2
47	長田区	1	2	1	9	13	3	1	3	2	200	2	2	1		1	4		5	2				1	4		1		1	3
48	板戸区	3	2	1	3	3	11	1		3	*150	2				2	2		5	2	3	2			2		3	1	1	1

主要資機材整備状況一覧表

		備蓄食糧・飲料								避難生活用																							救急用		
番号	区名	米類（食）	麺類（食）	パン類（食）	ビスケット類（食）	レトルト用品（食）	缶詰（食）	飲料水（500㎖／本）	ミルク（本）	防災倉庫	自主防災旗・標旗	腕章	戸別受信機・防災ラジオ	テント	ビニールシート	ポリタンク	燃料（ℓ）	コードリール	投光器	発電機	受水槽	ろ水器	炊飯器・釜	カセットコンロ	鍋	防災用ベスト	車いす	仮設トイレ	非常用排便袋（枚）	毛布	マスク（枚）	消毒液（ℓ）	救急セット	AED	三角巾
1	住吉区							138		3	2		2	3	19	6	5	1	2	1			1	4		3		11	480		100		1		1
2	新田区				120			380		1	1		1	1	8	8	5	2	1	1	1							1	100	20			3		
3	大和区	180		122				344	30	1	1			1	3	8	10	1	3	2				3	3	7		6	20	24	400	1	1		35
4	港　区	390						920		1					5	4	2			1			1		1			2							
5	大坂区	80		150	60	50	48	888		1	2	36	2	2	14	20	7	1	2	1	1		4	3	4	10		2	300	10	54	0.4	3		5
6	弥七喜区	220			140			115		1				3	1	2	2	2	1	1					2			2	50				1		8
7	中央区	400		200		120		100		1	1		1	1	5	5	10	1	1	1			2		2				200				1		
8	広岡東区	300		100				200		2	1			1	10	8	10	2	4	1			2	2	2	6		3	200	1	250	1	2		100
9	岩下区第１									1		1			7	5	30											4	360				2		60
10	岩下区第２									1				1	26	5		2		3	1			2				1		3			2		
11	岩下区第３	1760	680		40					2		20		1	10			1	3	3				4	1			1	100	10			3		14
12	岩下区第４									1				1	8	2	20	1	1	1			1	8				10	100				2		25
13	岩下区第５									1	1		1	1	8	5	12	1		1				4	2	1		3	40		1500	4	1		20
14	岩下区第６									1	1	17	1		1	5		1	1	2				2	1	35		1	20	4			1		13
15	広岡西区第１									1				1	4	1	20	1	2	1			2	1					600				1		
16	広岡西区第２									1	2			1	5			1		1			1	1		1			600				1		
17	広岡西区第３									1	1			1	3			1		1	1		1	1		1			600				1		
18	広岡西区第４				1224			1008		2		10		1	6			2		3	1		1	1		1			600				1		
19	高馬区	160		72		220		60		1				1		3	20			2			2		2			1	1	12			3		1
20	西本郷区				50			250		2	2			3	13	4	10	7	14	3					2			1		46			4		
21	東本郷区	100		200			120	300		4				2	4		8	2		1					1		1	15	400	116			4	2	15
22	中１区									2		53		3	2					3	1								300	37			1		94
23	中２区																																		

主要資機材整備状況一覧表

番号	区名	備蓄食糧・飲料								避難生活用																							救急用		
		米類（食）	麺類（食）	パン類（食）	ビスケット類（食）	レトルト用品（食）	缶詰（食）	飲料水（500㎖／本）	ミルク（本）	防災倉庫	自主防災旗・標旗	腕章	戸別受信機・防災ラジオ	テント	ビニールシート	ポリタンク	燃料（ℓ）	コードリール	投光器	発電機	受水槽	ろ水器	炊飯器・釜	カセットコンロ	鍋	防災用ベスト	車いす	仮設トイレ	非常用排便袋（枚）	毛布	マスク（枚）	消毒液（ℓ）	救急セット	AED	三角巾
24	立野区				50	250		130		1					4	2	1	12	28	2									2	230				1		
25	河内区									3			10	12	8	2		6	7	8					7											
26	蓮台寺区	150		200				192		1	1			2	4		40	1	1	2	1		1	2	2	30	3	3	400	3			2		
27	上大沢区	22		11		20		48		1				2	8	2	20	1	2	3			1	2	1		1	1	20	20			2	1	
28	下大沢区	100		50				48		2					3	1	30	1	3	2				1	4	3		3	100		100		1	1	
29	箕作区	150			60					2				2	8	2	10	2	4	2			2					2	420	24					
30,3	須原１・２区	220						336		1				1	8		10		2	4								4	400	10	160		2		
32	宇土金区	60								1		28		1	4	3	10	1	4	2			2	1	3								1		10
33	椎原区	150			60					1			2	2	3	7	10	2	2	2	1		2	2	2			2	100				1		
34	北湯ヶ野区									1					3	1	20	2	2	2									338		220	1.2			
35	加増野区	160		56				192		1			1		2	2	30	4	2	3								2			250	1	1		
36	横川区	70			10	48		72		1					2	2	10	3	2	2	1				1			2	400	7	50	1	1		17
37	相玉区									1				2		1	1	2	7	2				3	3				60						
38	落合区									1			1		10	8	10	2	3	3			1		1	3		2		7		5	1		
39	柿崎区									5	3	50		3	63	30		9	1	2	1		3	4	4	8					1200		9		32
40	外浦区									1			1		4		20		3	2									100				1	1	
41	須崎区	900			120			60		1		50		9	9	10		1	4	2			4				2	1	300	3	100	5	1		12
42	吉佐美区	250			1013	100		1008		9				7	30	6	20		5	4		1		3	1			16	4	115	700		8		
43	大賀茂区	250		96	120	478		192		5			1	2	13	2	10	2	2	2	1		1	2	1	10		1	500	27			1		
44	碁石が浜区	100		250	24			312		4	1	5	1	3	8	5	2	2	3	3				4	8			1	100	20	50	4	2	1	
45	田牛区				240	40		216		4					12	4	0.1		6	10	1			2				2	200	150	150			1	
46	原田区	100				400		216		2				8	58	2		2	5	2	2		8	19	4			5	20	24			1		24
47	長田区				240					1		5	1	2	5		10	1	1	2	1		2		1	15		1	120	28			1		8
48	板戸区					3		6		1				3	3	4		1	1	2			1		1			1	100				7		

海抜表示箇所数

平成24年度更新			
No.	地区	電柱番号	海抜(m)
1	川岸	0040号	2.0
2	川岸	0060号	2.0
3	川岸	0090号	1.5
4	川岸	0210号	1.5
5	川岸	0280号	2.0
6	川岸	0710号	2.0
7	川岸	0810号	2.0
8	川岸	0880号	2.5
9	川岸	1010号	2.5
10	川岸	1090号	2.5
11	川岸	1170号	3.5
12	川岸	1770号	3.0
13	川岸	2140号	4.5
14	広岡	0150号	3.0
15	広岡	0360号	2.5
16	広岡	0410号	2.5
17	広岡	0620号	2.5
18	広岡	0730号	2.5
19	広岡	0780号	2.5
20	広岡	0840号	3.0
21	広岡	0930号	2.0
22	広岡	1400号	3.5
23	広岡	2050号	3.5
24	広岡	2210号	4.0
25	広岡	2450号	4.0
26	広岡	3000号	2.5
27	広岡	3130号	5.0
28	広岡	3510号	5.0
29	広岡	3750号	3.0
30	波布	0010号	3.5
31	波布	0080号	3.0
32	波布	0780号	3.5
33	波布	0990号	3.0
34	波布	1031号	2.5
35	波布	1670号	2.5
36	波布	1980号	2.5
37	小山田	0800号	3.5
38	小山田	2210号	3.0
39	小山田	2290号	2.5
40	小山田	2430号	3.0

平成24年度更新			
No.	地区	電柱番号	海抜(m)
41	小山田	3030号	4.0
42	小山田	007A号	4.0
43	小山田	011A号	3.5
44	小山田	101A号	4.0
45	中村	0130号	2.5
46	中村	1570号	3.0
47	中村	1910号	3.5
48	中村	2120号	2.5
49	寝姿	0010号	2.5
50	寝姿	0090号	2.0
51	寝姿	0180号	2.0
52	寝姿	1720号	2.0
53	相の山	3060号	4.5
54	相の山	0040号	5.0
55	入田	1090号	4.0
56	入田	2050号	4.0
57	入田	2170号	4.5
58	入田	3010号	3.0
59	入田	305A号	3.5
60	入田	3110号	6.0
61	吉佐美	0170号	3.5
62	吉佐美	0150号	3.0
63	吉佐美	0281号	3.5
64	吉佐美	1020号	3.5
65	吉佐美	1040号	4.0
66	吉佐美	2120号	1.5
67	吉佐美	2181号	1.5
68	吉佐美	2310号	3.0
69	吉佐美	2510号	2.5
70	吉佐美	3020号	2.0
71	吉佐美	3070号	2.5
72	吉佐美	5410号	3.5
73	田牛	0430号	5.0
74	田牛	0480号	4.0
75	田牛	2440号	3.5
76	柿崎	0050号	5.0
77	柿崎	0020号	3.0
78	柿崎	2070号	4.0
79	柿崎	2121号	4.0
80	柿崎	2180号	4.0

平成24年度更新			
No.	地区	電柱番号	海抜(m)
81	柿崎	014A号	3.5
82	須崎	0400号	3.5
83	須崎	0510号	3.5
84	須崎	0540号	3.5
85	須崎	2230号	28.0
86	須崎	3090号	2.5
87	外浦	0150号	8.0
88	外浦	0280号	3.0
89	外浦	0320号	3.0
90	外浦	1180号	5.0
91	原田	5031号	3.5
92	原田	5260号	4.0
93	長田	1610号	24.0
94	長田	5410号	8.0
95	梶浦	2160号	4.0
96	一色	1081号	4.0
平成24年度新設			
97	大賀茂	0390号	10
98	大賀茂	0360号	15
99	大賀茂	0310号	23
100	大賀茂	0270号	29
101	大賀茂	0230号	34
102	大賀茂	0180号	42
103	大賀茂	0120号	59
104	相の山	5251号	81
105	小山田	7380号	68
106	小山田	7310号	53
107	小山田	7210号	36
108	小山田	7140号	31
109	小山田	7080号	22
110	小山田	7050号	17
111	小山田	3060号	4
112	小山田	3041号	4
113	小山田	3171号	11
114	小山田	3200号	12
115	小山田	2300号	2.5
116	小山田	2240号	3
117	小山田	015A号	3

平成24年度新設			
No.	地区	電柱番号	海抜(m)
118	小山田	0830号	3
119	小山田	0320号	4
120	小山田	2050号	2.5
121	高　馬	2020号	7
122	高　馬	0230号	7
123	高　馬	0260号	7
124	高　馬	0330号	9
125	高　馬	0380号	8
126	高　馬	2860号	8
127	高　馬	0030号	5
128	高　馬	011A号	6.5
129	高　馬	0170号	6.5
130	高　馬	0220号	8
131	波　布	085A号	3
132	波　布	088A号	3
平成25年度新設			
133	河　内	1540号	12
134	河　内	0405号	11
135	河　内	0270号	14
136	河　内	0320号	13.5
137	河　内	0740号	24
138	箕　作	0150号	30
139	箕　作	0220号	33
140	箕　作	0251号	37
141	箕　作	5360号	48
142	箕　作	5250号	60
143	箕　作	4070号	62
144	須　郷	4211号	78
145	須　郷	5030号	71
146	相　玉	3050号	35
147	相　玉	0230号	52
148	相　玉	0420号	61
149	相　玉	0340号	55
150	田　牛	3700号	23
151	田　牛	4330号	20
152	田　牛	4410号	36
153	田　牛	4450号	25
154	田　牛	4430号	32
155	爪木崎	0570号	21

平成25年度新設			
No.	地区	電柱番号	海抜(m)
156	爪木崎	0510号	36
156	爪木崎	0430号	50
157	爪木崎	0230号	56
158	須　崎	3030号	3
158	須　崎	0460号	3.5
159	須　崎	0290号	29
160	柿　崎	2270号	16
160	柿　崎	0241号	5
161	柿　崎	3180号	5
162	柿　崎	3360号	2.5
162	柿　崎	6180号	18
163	外　浦	0050号	12
164	外　浦	0100号	8
164	外　浦	0250号	5
165	原　田	9410号	30
166	原　田	633A号	6
166	川　岸	1650号	5
167	川　岸	2040号	5
168	川　岸	2160号	4
168	川　岸	2180号	4
169	入　田	1050号	9
170	入　田	0020号	22
170	大賀茂	0470号	11
171	大賀茂	0650号	26
172	大賀茂	0580号	17
172	寝　姿	1111号	38
173	寝　姿	2570号	20

一般・地震災害時における防災関係機関一覧表

（令和８年３月31日）

区　分	防災関係機関名称	住所	電話番号
市	下田市	下田市河内101-1	0558-36-4145
消　防　機　関	下田消防本部	下田市6丁目1-14	0558-22-1804
静　　岡　　県	静岡県危機管理部総務課	静岡市葵区追手町9-6	054-221-3633
	静岡県危機管理部危機政策課	静岡市葵区追手町9-6	054-221-2996
	静岡県危機管理部危機情報課	静岡市葵区追手町9-6	054-221-3366
	静岡県危機管理部危機対策課対策班	静岡市葵区追手町9-6	054-221-2072
	静岡県危機管理部危機対策課防災DX推進班	静岡市葵区追手町9-6	054-221-2925
	静岡県危機管理部消防保安課消防行政班	静岡市葵区追手町9-6	054-221-2073
	静岡県危機管理部消防保安課産業保安班	静岡市葵区追手町9-6	054-221-2076
	静岡県危機管理部原子力安全対策課	静岡市葵区追手町9-6	054-221-2088
	賀茂地域局	下田市敷根765-15	0558-24-2004
	下田土木事務所	下田市中531-1	0558-24-2103
	賀茂健康福祉センター	下田市中531-1	0558-24-2033
	賀茂農林事務所	下田市中531-1	0558-24-2074
	静岡県警察（下田警察署）	下田市柿崎1106	0558-27-0110
自　　衛　　隊	陸上自衛隊板妻駐屯地第34普通科連隊	御殿場市板妻40-1	0550-89-1310
	陸上自衛隊駒門駐屯地第１戦車大隊	御殿場市駒門5-1	0550-87-1212
	陸上自衛隊滝ヶ原駐屯地普通科教導連隊	御殿場市中畑2092-2	0550-89-0711
指定地方行政機関	総務省東海総合通信局	名古屋市東区白壁1-15-1	052-971-9103
	財務省東海財務局静岡財務事務所	静岡市葵区追手町9-50	054-251-4321
	農林水産省関東農政局静岡県拠点	静岡市葵区東草深町7-18	054-246-6121
	国土交通省中部運輸局静岡運輸支局 下田海事事務所	下田市3丁目18-23	0558-22-0517
	国土交通省中部地方整備局 清水港湾事務所下田港事務所	下田市3丁目18-25	0558-23-1208
	静岡地方気象台	静岡市駿河区曲金2-1-5	054-286-3521
	第三管区海上保安部（下田海上保安部）	下田市3丁目18-23	0558-25-0118
	厚生労働省静岡労働局 三島労働基準監督署下田駐在事務所	下田市西本郷2丁目5-33	0558-22-0649
	国土地理院中部地方測量部	名古屋市中区三の丸2-5-1	052-961-5638

区分	防災関係機関名称	住所	電話番号
指 定 公 共 機 関	日本郵便株式会社下田郵便局	下田市2丁目4-26	0558-22-0602
	ＮＴＴ西日本株式会社（静岡支店）	静岡市葵区御幸町4-6	054-205-9122
	株式会社ドコモＣＳ東海（静岡支店）	静岡市葵区長沼716-11	054-265-7182
	日本赤十字社静岡県支部	静岡市葵区追手町44-17	054-252-8131
	東京電力パワーグリッド株式会社（伊豆支社）	伊豆の国市大仁413	0558-76-2894
	ＫＤＤＩ株式会社	名古屋市西区名駅2-27-8	052-747-8071
	ソフトバンク株式会社	名古屋市西区牛島2-1	06-4709-3100
指定地方公共機関	下田ガス株式会社	下田市中467	0558-22-1321
	(社)静岡県ＬＰガス協会東部支部（賀茂地区会）	㈱ＴＯＫＡＩ内　（下田市）	0558-23-3771
	伊豆急行株式会社	伊東市八幡野1151	0557-53-1111
	(社)静岡県トラック協会伊豆支部（伊豆サービストラックセンター内）	伊東市荻字門野466-51	0557-38-0215
	株式会社伊豆クルーズ	下田市外ケ岡19	0558-22-1151
公共的団体及び防災上重要な施設管理者	下田市消防団	下田市河内101-1（消防安全係）	0558-36-4145
	賀茂医師会	下田市西本郷2丁目12-26	0558-22-0701
	賀茂歯科医師会	河津町田中207-5	0558-32-0655
	下田市社会福祉協議会	下田市4丁目1-1	0558-22-3294
	下田有線テレビ放送株式会社	下田市東本郷2丁目11-8	0558-22-2443
	小林テレビ設備有限会社	下田市1丁目2-23	0558-22-5232
	株式会社伊豆急ケーブルネットワーク	下田市東本郷2丁目2-8	0558-25-6730
	ＳＢＳフレイトサービス株式会社下田営業所	下田市東本郷1丁目17-8	0558-22-2610
	株式会社南伊豆東海バス	下田市吉佐美1395	0558-22-2514
	神新汽船株式会社	下田市3丁目18-22	0558-22-2626
	下田商工会議所	下田市2丁目12-17	0558-22-1181
	一般社団法人下田市観光協会	下田市外ケ岡1-1	0558-22-1531
	下田温泉旅館協同組合	下田市1丁目4-28	0558-22-2108
	富士伊豆農業協同組合	下田市東本郷1丁目12-8	0558-23-6000
	伊豆漁業協同組合	下田市外ケ岡11	0558-22-3585
	一般社団法人下田建設業協会	下田市東本郷2丁目7-1	0558-22-3174
	自主防災組織		

突発的災害に係る応急対策連絡先

（県賀茂地域局）

	静岡県防災行政 ＊「５」は地上回線、「８」は衛星回線	ＮＴＴ電話
電　　話	５（又は８）－１０９－６０１０	０５５８－２４－２００４
Ｆ　Ａ　Ｘ	５（又は８）－１０９－６０８１	０５５８－２４－２００８

（県危機管理部危機対策課）

	静岡県防災行政 ＊「５」は地上回線、「８」は衛星回線	ＮＴＴ電話
電　　話	５（又は８）－１００－２０７２ ５（又は８）－１００－３７２９ ５（又は８）－１００－３５９３ ５（又は８）－１００－６０３０	０５４－２２１－２０７２ ０５４－２２１－３７２９ ０５４－２２１－３５９３
Ｆ　Ａ　Ｘ	５（又は８）－１００－６２５０ ５（又は８）－１００－７９４４	０５４－２２１－３２５２

（消防庁応急対策室）

	消防庁無線	ＮＴＴ有線
電　　話	８－０４８－５００－９０－４９０１３	０３－５２５３－７５２７
Ｆ　Ａ　Ｘ	８－０４８－５００－９０－４９０３３	０３－５２５３－７５３７

令和8年度 下田市防災会議委員名簿

（令和８年３月31日）

	所　　属	
1	下田市	市　　長
2	下田海上保安部	部　　長
3	国土交通省中部運輸局静岡運輸支局下田海事事務所	所　　長
4	静岡地方気象台	台　　長
5	国土交通省中部地方整備局清水港湾事務所下田港事務所	先任建設管理官
6	賀茂地域局	副局長兼 賀茂危機管理監
7	下田土木事務所	所　　長
8	賀茂健康福祉センター	所　　長
9	賀茂農林事務所	所　　長
10	下田警察署	署　　長
11	下田市役所	副市長
12	下田市役所	企画課長
13	下田市役所	総務課長
14	下田市役所	産業振興課長
15	下田市役所	建設課長
16	下田市役所	観光交流課長
17	下田市役所	上下水道課長
18	下田市役所	地域福祉課長
19	下田市役所	市民保健課長
20	下田市役所	防災安全課長
21	下田市役所	環境対策課長
22	下田市教育委員会	教育長
23	下田消防本部	消防長
24	下田市消防団	団　　長
25	日本郵便株式会社下田郵便局	局　　長
26	賀茂医師会	理　　事
27	賀茂医師会	理　　事
28	NTT西日本株式会社　静岡支店	支店長
39	ＳＢＳフレイトサービス株式会社　下田営業所	所　　長
30	東京電力パワーグリッド株式会社　伊豆支社	支社長
31	伊豆急行株式会社	防災安全課長
32	下田ガス株式会社	代表取締役
33	静岡県エルピーガス協会　賀茂地区会	地区長
34	下田市自主防災会連絡協議会	会　　長
35	賀茂歯科医師会	理　　事
36	賀茂薬剤師会	理　　事

市内建設業者一覧表

（令和８年３月31日）

No.	名　　称	住　　所	電話番号
1	㈱繁美建材土木	下田市本郷3-2	0558-22-5622
2	㈲林商事	下田市大沢848-1	0558-22-0163
3	㈱外岡組	下田市東本郷1丁目7-15	0558-22-1769
4	丸三工業㈱	下田市吉佐美1018-1	0558-23-0303
5	㈲大川電気	下田市1丁目1-17	0558-22-1069
6	三星電機㈱	下田市1丁目12-9	0558-22-1305
7	小林電気工業㈱下田支社	下田市須原1078-1	0558-22-2351
8	㈲渡辺電気商会下田支店	下田市旧岡方村692-60	0558-23-4577
9	㈱土屋建設	下田市武ヶ浜6-43	0558-22-3411
10	㈱下田電化設備工業	下田市西本郷1丁目8-8	0558-22-1977
11	河津建設㈱	下田市中411-1	0558-22-1111
12	㈱安藤組	下田市白浜1865-4	0558-22-6105
13	㈱土昭組	下田市吉佐美441	0558-22-5434
14	㈱土屋電気商会	下田市1丁目5-17	0558-22-3311
15	㈲向田興業	下田市旧岡方村698-10	0558-22-7777
16	㈲日工技建	下田市西中23-15	0558-23-1354
17	㈲渡辺工業	下田市横川333	0558-28-1540
18	㈱朝日工事店	下田市大賀茂366	0558-22-5461
19	㈱土屋造園土木	下田市西中22-2	0558-22-9575
20	㈲小川組	下田市吉佐美205-1	0558-22-2889
21	㈲渡辺電業社	下田市東本郷2丁目2-8	0558-22-1376
22	㈱サエツ冷機工業下田営業所	下田市西中3-1	0558-23-5500
23	㈱アイビック伊豆営業所	下田市柿崎39-37	0558-23-2163
24	㈲渡辺住宅設備	下田市河内906-10	0558-27-1300
25	ヤマト設備工業㈱	下田市柿崎23-34	0558-23-3570
26	井出運送㈲	下田市中817-1	0558-22-4712
27	㈱加藤工芸社	下田市東本郷2丁目12-2	0558-22-0012
28	㈱永谷	下田市東本郷1丁目19-17	0558-22-3561
29	㈲宇田建設　下田支店	下田市東中15-5	0558-25-2600
30	㈲荒川土建興業	下田市西中5-7	0558-27-2662
31	㈱藤興産	下田市柿崎41-20	0558-22-7250

下田市指定給水装置工事事業者一覧表

（令和８年３月31日）

給水装置業者名	ＴＥＬ	工事店住所
㈲菊地ポンプ商会	0558-22-1085	下田市2丁目2-24
サトミ設備	0558-23-0705	下田市6丁目16-43
斉藤住設	0558-22-7245	下田市吉佐美822
㈲小林設備工事店	0558-22-7353	下田市6丁目40-4
㈱外岡組	0558-22-1769	下田市東本郷1丁目7-15
外岡設備工業	090-8469-8036	下田市吉佐美785-1
㈲渡辺住宅設備	0558-27-1300	下田市河内906-10
稲葉管工	0558-28-1678	下田市須原1364
㈱朝日工事店	0558-22-5461	下田市大賀茂366
ヤマト設備工業㈱	0558-23-3570	下田市柿崎23-34
よこざわ	0558-27-1126	下田市須崎1577-7
㈲森設備	0558-53-0811	西伊豆町田子1515-2
東海ヤジマ㈱	0558-22-6658	下田市河内170-1
㈲鈴木設備工業所	0558-72-2207	伊豆市日向701
西尾設備	0558-22-1777	下田市西本郷2丁目2-4
㈱サエツ冷機工業	0558-23-5500	下田市西中3-1
㈲エコシップ伊豆	0558-22-4840	下田市吉佐美855
須原設備	0558-28-1161	下田市須原66
㈲横山設備	055-949-2883	伊豆の国市四日町873-9
杉山設備工業	0558-32-2459	河津町縄地117
㈱クラシアン	0120-500-500	神奈川県横浜市港北区新横浜三丁目1番地9
㈱吾妻建宅	0558-22-5582	下田市河内533
㈱ハマダ設備	0557-95-0170	東伊豆町稲取1358-2
㈱菊池設備工業	0558-67-0431	南伊豆町妻良1062-1
杉本設備工業㈱	0558-22-3040	下田市西本郷2丁目3-16
山喜工業	0558-22-5662	下田市5丁目1-17
㈲中西工業	0557-51-1317	伊東市富戸1317-1429
㈲寺林工務店	0558-32-0571	河津町笹原300-5
㈲パイプテックス	0557-47-3242	伊東市岡420-2
飯田商事	0558-34-0114	河津町峰369-7
㈱イースマイル	0120-123-456	大阪府大阪市中央区瓦屋町3-7-3
土屋設備	0558-22-6506	下田市須崎1773-19
㈱石黒工務店	0558-98-0293	伊豆市土肥702
古郡工業㈱	0558-85-0505	伊豆市市山525-1
㈱N-Vision	0120-492-315	広島県広島市中区鶴見町8-57
㈲千本設備工業所	055-963-4487	沼津市常磐町３丁目12-3
㈱プラマーイチカワ	0465-83-0342	神奈川県足柄上郡開成町中之名419-2
㈲富戸工業	0557-51-1224	伊東市富戸826-17
スズキ設備	090-8954-8722	下田市大沢7-5
グッドワン株式会社	055-956-0108	沼津市松長814 アイシンワークスビル 1F
㈱高村設備	0557-95-0735	東伊豆町稲取515-1
山下設備	080-2618-4555	下田市須崎1567-36
やた工業	0558-36-3944	沼津市一本松618-6
伊豆冷暖房工業株式会社	0557-23-1594	静岡県賀茂郡東伊豆奈良本727-2
株式会社アクアプラス	0120-114-100	静岡県葵区春日2-3-21

下田市下水道排水設備等工事指定工事人

（令和８年３月31日）

名称	郵便番号	住所	電話番号
㈱朝日工事店	415-0038	下田市大賀茂366番地	0558-22-5461
㈲荒川土建興業	415-0018	下田市西中5番地7	0558-27-2662
㈱安藤組	415-0012	下田市白浜1865番地の4	0558-22-6105
石井設備㈱	414-0052	伊東市十足619番地の23	0557-44-2822
㈱石黒工務店	410-3302	伊豆市土肥702番地	0558-98-0293
井出運送㈲	415-0034	下田市高馬2番46号	0558-22-4712
稲葉管工	413-0716	下田市須原1364番地	0558-28-1678
㈲宇田建設	415-0017	下田市東中15番地5	0558-25-2600
㈲エコシップ伊豆	415-0028	下田市吉佐美855番地	0558-22-4840
長田建設工業㈱	415-0152	賀茂郡南伊豆町湊320番地の4	0558-62-0313
㈲加藤工事店	415-0324	賀茂郡南伊豆町上小野95番地の3	0558-62-0718
河津建設㈱	415-0016	下田市中411番地の1	0558-22-1111
㈱菊池設備工業	415-0533	賀茂郡南伊豆町妻良1062番地の1	0558-67-0431
㈲菊地ポンプ商会	415-0022	下田市二丁目2番24号	0558-22-1085
グッドワン	410-0312	沼津市原498-2	055-994-9860
㈲小林設備工事店	415-0026	下田市六丁目40番4号	0558-22-7353
斉藤住設	415-0037	下田市吉佐美822	0558-22-7245
㈱サエツ冷機工業	415-0018	下田市西中3番地1	0558-23-5500
サガミシード㈱	415-0035	下田市東本郷一丁目16番8号	0558-22-1461
サトミ設備	415-0026	下田市六丁目16番43号	0558-23-0705
㈱繁美建材土木	415-0033	下田市本郷3番2号	0558-22-5622
下田興業㈱	415-0031	下田市蓮台寺270番地6	0558-22-3025
杉本設備工業㈱	415-0036	下田市西本郷二丁目3番16号	0558-22-3040
杉山設備工業	413-0514	賀茂郡河津町縄地117番地	0558-32-2459
スズキ設備	415-0039	下田市大沢7番地５	0558-22-7890
㈲鈴木設備工業所	410-2406	伊豆市日向701番地	0558-72-2207
須原設備	413-0716	下田市須原66番地	0558-28-1161
㈲千本設備工業所	410-0853	沼津市常盤町三丁目12番地の3	055-963-4487
㈱土昭組	415-0028	下田市吉佐美441番地	0558-22-5434
㈱土屋建設	415-0015	下田市武ガ浜6番43号	0558-22-3411
土屋設備	415-0014	下田市須崎1773番地の19	0558-22-6506
㈱土屋造園土木	415-0018	下田市西中22番地2	0558-22-9575
㈲寺林工務店	413-0512	賀茂郡河津町笹原300番地の5	0558-32-0571
東海ヤジマ㈱	415-0011	下田市河内170番地の1	0558-22-6658
㈱外岡組	415-0035	下田市東本郷一丁目7番15号	0558-22-1769
西尾設備	415-0036	下田市西本郷二丁目2番4号	0558-22-1777
㈲富戸工業	413-0231	伊東市富戸826番地の17	0557-51-1224
古郡工業㈱	410-3205	伊豆市市山525番地の1	0558-85-0505
丸三工業㈱	415-0028	下田市吉佐美1018番地の1	0558-23-0303
㈲向田興業	415-0027	下田市旧岡方村698番地の10	0558-22-7777
やた工業	410-0314	静岡県沼津市一本松618-6　リラタカダ201	055-916-2099
山喜工業	415-0025	下田市五丁目1番17号	0558-22-5662
ヤマト設備工業㈱	415-0013	下田市柿崎23番34号	0558-23-3570

㈲横山設備	410-2123	伊豆の国市四日町873番地の9	055-949-2883
㈲渡辺工業	413-0712	下田市横川333番地	0558-28-1540
㈲渡辺住宅設備	415-0011	下田市河内906番地の10	0558-27-1300

主たる広報内容と取材先

広報内容	主たる取材先	電話番号	備考
地震、津波に関する情報	静岡地方気象台	054-286-3521	
	第三管区海上保安部（下田海上保安部）	0558-23-0118	
	静岡県危機管理部危機情報課	054-221-2644	
	静岡県危機管理部危機対策課	054-221-2072	
	賀茂地域局	0558-24-2004	
道路及び火災の情報	下田警察署	0558-27-0110	
	下田土木事務所	0558-24-2113	
	下田消防本部	0558-22-1804	
交通機関の情報	伊豆急下田駅	0558-22-3202	
	株式会社南伊豆東海バス　下田営業所	0558-22-2514	
	神新汽船株式会社　下田営業所	0558-22-2626	
	株式会社伊豆クルーズ	0558-22-1511	
電気の情報	東京電力パワーグリッド㈱伊豆支社	0120-995-007	
電話の情報	ＮＴＴ西日本下田テクニカルセンター	0558-27-2400	
水道の情報	下田市上下水道課	0558-22-1200	
ガスの情報	下田ガス株式会社	0558-22-1321	
	株式会社ＴＯＫＡＩ　下田営業所 （静岡県ＬＰガス協会賀茂地区長）	0558-23-3771	

報道機関名	住　　所	電話番号
朝日新聞	沼津市末広町33	055-951-1231
毎日新聞	伊東市竹ノ内1-3-12　ベルプラス伊東1201	0557-37-5117
読売新聞	下田市蓮台寺370-8	0558-22-0253
東京・中日新聞	沼津市大手町2-9-5　堺沢ビル5階	055-962-1123
静岡新聞	下田市東本郷2丁目7-25	0558-25-0163
伊豆新聞	下田市東本郷2丁目9-15	0558-22-2555
ＮＨＫ	下田市河内48-2　コーポイプサ3　301号室	0558-22-1255
テレビ静岡	下田市吉佐美2195-47	0558-23-5306
ＳＢＳ	下田市河内101-1	0558-23-2477
静岡朝日テレビ	松崎町岩科北側982	0558-54-0066
小林テレビ設備有限会社	下田市1丁目2-23	0558-22-5232
ＳＨＫ	下田市東本郷2丁目11-8	0558-22-2443
時事通信社	沼津市魚町1　サンフロント5階	055-963-5115
静岡第一テレビ	河津町川津筏場635	0558-36-4086
共同通信社	静岡市駿河区登呂3-1-1	054-286-1251
産経新聞	静岡市葵区伝馬町9-1　河村ビル7階	054-255-5026
伊豆下田経済新聞	下田市1丁目9-15	0558-22-0222

観光客避難宿泊所一覧表 （下田温泉旅館協同組合加盟）

（令和８年３月31日）

地　　区	旅　　館　　名	電話番号
大　浦　海　岸	下田東急ホテル	２２－２４１１
柿　崎　海　岸	下田ベイクロシオ	２７－２１１１
	下田聚楽ホテル	２２－２２３０
	ホテル山田屋	２２－２００５
白　浜　海　岸	ホテル伊豆急	２２－８１１１
	下田プリンスホテル	２２－２１１１
外　浦　海　岸	下田ビューホテル	２２－６６００
	臨海荘	２２－１６８６
吉佐美海岸	下田大和館	２２－１０００
	伊豆薫風	２２－３４５０
西　本　郷	野の花亭　こむらさき	２２－２１２６
	いづみ荘	２２－３０８０
蓮　台　寺	清流荘	２２－１３６１
	クアハウス石橋旅館	２２－２２２２
	大地の彩花月亭	２２－２２４４
	金谷旅館	２２－０３２５
相　玉	下田セントラルホテル	２８－１１２６
横　川	ホテル観音温泉	２８－１２３４

下田海上保安部保有船舶一覧表

（令和８年３月31日）

所　属	船　名	トン数
下田海上保安部	しきね	約 1,300
	かの	約 0,335
	いずなみ	約 0,100

医療関係団体一覧表

団　体　名	所　在　地	代表者	電話番号	備考
賀　茂　医　師　会	下田市西本郷2丁目9-5	菊　池　　新	22-5683	
賀茂歯科医師会	賀茂郡東伊豆町稲取399-4	加　藤　淳　一	0557-95-2327	
賀茂薬剤師会	賀茂郡西伊豆町安良里336-1 賀茂郡西伊豆町田子945-1	髙　橋　　浩	0558-54-4830 0558-53-0030	

医薬品等調達予定先一覧表

業　者　名	所　在　地	代表者	電話番号	営業科目
中北薬品㈱ 下田支店	下田市西本郷2丁目19-3	前　田　　章	22-0631	防疫医薬

一般診療所等一覧表

（令和８年７月31日）

法人種別	施設名称	郵便番号	所　在　地	電話番号	開　設　者	管理者	診療科目	病床数
県	静岡県賀茂保健所	415-0016	下田市中531-1	0558-24-2052	静岡県	本 間 善 之	内	
公益	公益社団法人地域医療振興協会伊豆下田診療所	415-0036	下田市西本郷1丁目5-2	0558-22-2901	公益社団法人地域医療振興協会	細 井 昌 樹	内	
公益	公益社団法人地域医療振興協会いなずさ診療所	413-0705	下田市箕作字横世ノ米385-4	0558-28-3111	公益社団法人地域医療振興協会	川　﨑　祝	内、小、外、リハ	
一般	賀茂医師会診療所	415-0036	下田市西本郷2丁目9-5	0558-22-5683	一般社団法人賀茂医師会	菊 池　新	放	
医療	伊豆ライフサポートクリニック	415-0016	下田市中536-1	0558-36-3418	医療法人社団研真会	今 井 利 美	内、腎内、透内	
医療	臼井医院	415-0022	下田市2丁目3-27	0558-22-1221	医療法人社団臼井医院	臼 井 文 男	内、小、産婦	2
医療	上の山鎮目クリニック	415-0013	下田市柿崎432-1	0558-23-8820	医療法人社団研真会	鎮 目 研 吾	内、神内、脳神外、リハ、	
医療	河井医院	415-0022	下田市2丁目13-3	0558-22-0028	医療法人社団倫芳会	河 井 文 健	内、小、整、リハ、放、糖内、消外、乳外、外(鏡)、小皮	11
医療	佐倉医院	415-0027	下田市旧岡方村笹峯714-7	0558-27-0001	医療法人社団至純会	佐 倉 志 保 子	内、精、神、呼、循	
医療	下田眼科クリニック	415-0036	下田市西本郷1丁目7-10	0558-25-4146	医療法人社団サーフサイドメディカルケア	鈴　木　大	眼	
医療	しらはまクリニック	415-0012	下田市白浜字神明1528-2	0558-27-3700	医療法人社団静岡メディカルアライアンス	高　橋　泉	内、消内	
医療	のぞみ記念下田循環器・腎臓クリニック	415-0034	下田市高馬147-1	0558-23-3113	医療法人社団のぞみ記念下田循環器・腎臓クリニック	花 房 雄 治	内、外、ひ、眼、リハ、呼内、循内、血内、内泌内、腎内、老内、透内、アレ・リウ、糖・代内、血管外、整	15

法人種別	施設名称	郵便番号	所　在　地	電話番号	開　設　者	管理者	診療科目	病床数
医療	ひがしなかクリニック	415-0017	下田市東中6-3	0558-23-2300	医療法人社団憂陽会	西 川 公 詞	内、小	
他	梓の里診療所	413-0713	下田市加増野181-1	0558-28-1172	社会福祉法人梓友会	塩 田 邦 朗	内、精	
他	みくらの里診療所	415-0028	下田市吉佐美1086	0558-27-3000	社会福祉法人梓友会	杉　山　徹	内	
個人	小澤眼科医院	415-0035	下田市東本郷1丁目15-21	0558-22-5700	伊澤庸之	伊 澤 庸 之	眼	
個人	菊池医院	415-0021	下田市1丁目18-20	0558-22-2128	菊池新	菊　池　新	内、小、消	
個人	下田ヒフ科クリニック	415-0035	下田市東本郷2丁目2-5	0558-25-4055	中村勤己	中 村 勤 己	皮、アレ	
個人	鈴木クリニック	415-0011	下田市河内277-8	0558-22-2562	鈴木ゆみ重	鈴 木 ゆ み 重	内	

病院一覧表

（令和８年７月31日）

開設種別	施設名称	郵便番号	所　在　地	電話番号	ＦＡＸ番号	診療科目	管理者	病床数
市町	下田メディカルセンター	415-0026	下田市6丁目4-10	0558-25-2525	0558-25-5050	内、小、外、整、脳神外、皮、ひ、婦、眼、耳、リハ、麻、循内、消内、糖内	伊 藤 和 幸	126
医療法人	医療法人社団桑寿会下田温泉病院	415-0013	下田市柿崎997-2	0558-22-5001	0558-22-0200	内、リハ	荒　井　充	100

歯科診療所一覧表

開設種別	施設名称	郵便番号	所　在　地	電話番号	開設者	管理者	診療科目	病床数
個人	勝田歯科医院	415-0021	下田市1丁目20-24	0558-22-0545	勝田洋平	勝田洋平	歯	
個人	菊池歯科医院	415-0022	下田市2丁目12-26	0558-22-0701	菊池毅	菊池毅	歯	
個人	キクチ歯科医院	415-0011	下田市河内149-4	0558-23-0568	菊池建司	菊池建司	歯	
個人	矯正歯科兼松医院	415-0035	下田市東本郷1丁目9-21	0558-22-7223	兼松淳子	兼松淳子	歯、矯歯	
個人	笹本歯科診療所	415-0022	下田市2丁目1-20	0558-22-0138	笹本牧男	笹本牧男	歯	
個人	杉山歯科診療所	415-0036	下田市西本郷1丁目7-20	0558-22-0205	杉山秀元	杉山秀元	歯	
個人	田原歯科医院	415-0025	下田市5丁目1-41	0558-22-0271	田原廣江	田原廣江	歯	
個人	土屋歯科医院	415-0035	下田市東本郷1丁目5-24	0558-22-1025	土屋正彦	土屋正彦	歯	
個人	細川歯科医院	415-0017	下田市東中10-9	0558-22-8062	細川玲奈	細川玲奈	歯、小歯	
個人	渡辺歯科医院	415-0036	下田市西本郷2丁目13-8	0558-22-3848	渡辺典	渡辺典	歯	

学校･こども園･保育園一覧表

（令和８年４月１日）

番号	学　校　名	所　在　地	構　造	電話番号	テント数
1	稲生沢こども園（民間）	下田市立野34	ＳＲＣ造・２階健	22-0374	
2	ひかり保育園（民間）	下田市西中9-4	Ｓ造・２階建	22-1685	
3	下田認定こども園	下田市敷根765-19	ＲＣ造・２階建	36-4501	
4	稲　梓　小　学　校	下田市椎原224	ＲＣ造・２階建	28-0004	2
5	稲生沢小学校	下田市立野6-1	ＲＣ造・３階建	22-0424	2
6	白　浜　小　学　校	下田市白浜1324-1	ＲＣ造・３階建	22-0860	2
7	浜　崎　小　学　校	下田市須崎1785-1	ＲＣ造・２階建	22-0441	1
8	下　田　小　学　校	下田市5丁目3-1	ＲＣ造・３階建	22-0055	2
9	大賀茂小学校	下田市大賀茂1429	ＲＣ造・２階建	22-0704	1
10	朝　日　小　学　校	下田市吉佐美544	ＲＣ造・２階建	22-0702	2
11	下　田　中　学　校	下田市敷根765-1	ＲＣ造・２階建	22-3443	2
12	県立下田高等学校	下田市蓮台寺152	ＲＣ造・４階建	22-3164	
	合　　計				14

下田市内指定文化財一覧表

（令和８年３月31日）

国指定文化財

No.	種別	名　　称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者
1	重文・彫刻	木造阿弥陀如来坐像	１躯	Ｔ8. 4.12	田牛156	長谷寺
2	重文・彫刻	木造大日如来坐像	１躯	Ｔ9. 4.15	蓮台寺352	天神神社
3	史　　跡	了仙寺		S26. 6. 9	3丁目12-12	了仙寺
4	史　　跡	玉泉寺		S26. 6. 9	柿崎31-6	玉泉寺
5	史　　跡	神子元島燈台		S44. 7.25	神子元島	下田市・国土交通省(海上保安庁)
6	天然記念物	八幡神社のイスノキ	１本	S16. 2.28	吉佐美1722-1	八幡神社
7	天然記念物	伊古奈比咩命神社のアオギリ自生地		S20. 2.22	白浜2741-1外	白浜神社(伊古奈比咩命神社)

静岡県指定文化財

No.	種別	名　　称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者
1	建　造　物	河内の宝篋印塔	１基	S63. 3.18	河内749	重福院
2	工　芸　品	鰐口	１口	S31.10.17	白浜2740	白浜神社(伊古奈比咩命神社)
3	工　芸　品	鰐口	１口	H30.4.3	横川	個人
4	工　芸　品	鰐口	１口	H30. 4.3	上大沢	地区自治会
5	史　　跡	吉田松陰寓寄処		S16.10.27	蓮台寺300	建物：下田市 土地：下田市（一部私有地）
6	天然記念物	田牛ハマオモト自生地		S27. 4. 1	田牛海後海岸	
7	天然記念物	白浜神社のビャクシン樹林	3.1ｈａ	S44. 5.30	白浜2741-1外	白浜神社(伊古奈比咩命神社)
8	天然記念物	偽層理		S54.11.19	柿崎122・123	鷺島神社 三島神社
9	天然記念物	報本寺のオガタマノキ	１本	S57.11.26	加増野420	報本寺
10	天然記念物	爪木崎の柱状節理		S57.11.26	須崎1237-1	須崎区

下田市指定文化財

No.	種別	名　　称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者
1	彫　　刻	不動明王坐像	1	S56. 8. 7	吉佐美1667	宝徳院
2	彫　　刻	薬師如来坐像	1	S56. 8. 7	白浜2740	白浜神社(伊古奈比咩命神社)
3	彫　　刻	阿弥陀如来坐像	1	S56. 8. 7	1丁目14-5	稲田寺

No.	種別	名　　称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者
4	彫　　刻	四天王像	4	S56. 8. 7	蓮台寺352	天神神社
5	彫　　刻	観音菩薩立像	1	S56. 8. 7	須崎615	観音寺
6	彫　　刻	薬師如来坐像	1	S56. 8. 7	須崎615	観音寺
7	彫　　刻	薬師如来坐像	1	H12. 8.30	大賀茂89	曹洞院
8	彫　　刻	二天立像	2	H13. 9. 4	大賀茂89	曹洞院
9	工　芸　品	鰐口	1	S44. 4.25	1丁目18-38	下田八幡神社
10	工　芸　品	御正躰（懸仏）	1	S56. 8. 7	白浜2740	白浜神社 (伊古奈比咩命神社)
11	工　芸　品	水草双鳥鏡	1	S56. 8. 7	白浜2740	白浜神社 (伊古奈比咩命神社)
12	工　芸　品	亀甲地双雀鏡	1	S56. 8. 7	白浜2740	白浜神社 (伊古奈比咩命神社)
13	工　芸　品	山吹双鳥鏡	1	S56. 8. 7	白浜2740	白浜神社 (伊古奈比咩命神社)
14	書　　籍	下田年中行事	87巻	S44. 4.25	4丁目6-16	下田市
15	書　　籍	寂用禅師語録	1	S60.12.23	横川342	太梅寺
16	古　文　書	吉田泰盛寺領寄進状	1	S60.12.23	横川342	太梅寺
17	古　文　書	北条家寺中安堵朱印状	1	S60.12.23	4丁目3-1	本覚寺
18	古　文　書	北条家寺中安堵朱印状	1	S60.12.23	横川342	太梅寺
19	古　文　書	佐野北条氏忠朱印状	1	S60.12.23	白浜2740	白浜神社 (伊古奈比咩命神社)
20	古　文　書	北条家寺中安堵朱印状	1	S60.12.23	4丁目3-1	本覚寺
21	古　文　書	安国寺恵瓊奉制札	1	S60.12.23	横川342	太梅寺
22	歴史資料	第三代下田奉行 石野八兵衛位牌	1	H18. 3.28	4丁目2-1	大安寺
23	歴史資料	豆州下田港之図	1	H18. 3.28	4丁目6-16	下田市
24	有形民俗 文化財	仏谷の十六羅漢 三十三観音		S51. 5.27	吉佐美2528外	宝徳院
25	有形民俗 文化財	小白浜三十三観音 エンマ		S51. 5.27	須崎1445外	観音寺
26	有形民俗 文化財	元理源寺三十三観音		S51. 5.27	5丁目1155-1外	泰平寺
27	無形民俗文化財 （民俗芸能）	三番叟		S48. 6.12	白浜2740 (白浜神社)	白浜神社三番叟保存会
28	無形民俗文化財 （風俗習慣）	鬼射		S51. 5.27	落合95 (高根神社)	落合鬼射保存会
29	無形民俗文化財 （風俗習慣）	山随院権現祭幡廻し		S51. 5.27	加増野433-1 (報本寺)	山随権現祭保存会
30	史　　跡	長楽寺		S46. 9. 6	3丁目13-19	長楽寺

No.	種別	名　　称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者
31	史　　跡	下田城址		S48. 6.12	3丁目	下田市
32	史　　跡	戸田忠次の墓		S48. 6.12	4丁目6-7	泰平寺
33	史　　跡	今村伝四郎等三代の墓		S48. 6.12	3丁目12-12	了仙寺
34	史　　跡	三穂ケ崎遺跡		S49. 3.20	白浜2754-1外	下田市
35	史　　跡	洗田遺跡		S49. 3.20	吉佐美2366外	私有地
36	史　　跡	夷子島遺跡		S49. 3.20	須崎1638-1	須崎財産区
37	史　　跡	遠国島遺跡		S49. 3.20	田牛釜ノ平	
38	史　　跡	火達山遺跡		S49. 3.20	白浜1547-4	白浜神社 (伊古奈比咩命神社)
39	史　　跡	カナヤマ古代製鉄遺跡		S51. 5.27	大賀茂228外	私有地
40	史　　跡	深根城址		S51. 5.27	堀之内80-1外	私有地
41	史　　跡	下田御番所跡		S51. 5.27	3丁目26-17	下田市
42	史　　跡	今村公勒功碑と浪よけ		S51. 5.27	武ガ浜	静岡県
43	史　　跡	薩摩十六烈士の墓		S51. 5.27	4丁目2-1	大安寺
44	史　　跡	下田奉行所跡		S51. 5.27	東中14	下田市
45	史　　跡	吉田松陰踏海の企跡		S51. 5.27	柿崎弁天島	下田市
46	史　　跡	吉田松陰拘禁跡 (長命寺跡)		S51. 5.27	4丁目6-16	下田市
47	史　　跡	欠乏所跡		S51. 5.27	3丁目1-4	私有地
48	史　　跡	三穂ヶ崎台場遺跡		H23.12. 1	白浜2754-10外	下田市
49	名　　勝	爪木崎一俵磯海岸		S51. 5.27	須崎	須崎財産区
50	名　　勝	タライ崎一釜の浦海岸		S51. 5.27	田牛	
51	天然記念物	はまぼう樹林		S44. 4.25	吉佐美（河川敷）	静岡県
52	天然記念物	大公孫樹	1	S46. 9. 6	横川323	諏訪神社
53	天然記念物	ヒカリモ	1	S48.10. 6	須崎816	旭洞院
54	天然記念物	枝垂れ桜	1	S51. 5.27	加増野433-1	報本寺
55	天然記念物	山ざくら	1	S51. 5.27	堀之内78-1	個人所有
56	天然記念物	しもだまいまい		S51. 5.27	市内全域	

社会教育施設一覧表

（令和８年３月31日）

施　設　名	所　　在　　地	電話番号
市立吉佐美運動公園	下田市吉佐美1900-1	
市　立　図　書　館	下田市4丁目7-16	２２－０３５２
田牛青少年海の家	下田市田牛217	２２－７７５３
中　央　公　民　館	下田市4丁目6-16	２３－５０５５
稲　生　沢　公　民　館	下田市立野191	２２－０５１９
朝　日　公　民　館	下田市吉佐美883-1	２２－０２１６
		２３－４６１１

広域受援計画（活動拠点）

自衛隊活動拠点

施　設　名	住　　所	最寄りのＩＣ（沼津IC）からの距離
県立下田高校グラウンド	下田市連台寺152	72km
須崎グリーンエリア	下田市須崎1243付近	77km

緊急消防援助隊活動拠点

施　設　名	住　　所	最寄りのＩＣ（沼津IC）からの距離
爪木崎駐車場	下田市須崎1237-1	77km
敷根公園健康広場駐車場	下田市敷根757	74km

警察活動拠点

施　設　名	住　　所	最寄りのＩＣ（沼津IC）からの距離
下田市消防団第５分団第１部詰所隣接地	下田市柿崎19-22	72km
認定こども園駐車場	下田市敷根765-19	74km

静岡県広域物資拠点

施　設　名	住　　所	最寄りのＩＣ（沼津IC）からの距離
株式会社河津建設資材倉庫	下田市箕作495	66km

要配慮者利用施設一覧表

（令和８年４月１日）

NO	施設名	住所	施設分類	津波災害警戒区域内	洪水浸水想定区域内	土砂災害警戒区域内
1	下田中学校	敷根 765-1	学校施設等			○
2	下田小学校	五丁目 3-1	学校施設等	○		○
3	稲生沢小学校	立野 6-1	学校施設等			○
4	朝日小学校	吉佐美 544	学校施設等	○		○
5	大賀茂小学校	大賀茂 1429	学校施設等			○
6	浜崎小学校	須崎 1785-1	学校施設等			○
7	下田高等学校	蓮台寺 152	学校施設等			○
8	伊豆の国特別支援学校伊豆下田分校	五丁目 3-1	学校施設等	○		○
9	下田メディカルセンター	六丁目 4-10	医療施設	○		
10	臼井医院	二丁目 3-27	医療施設	○	○	
11	河井医院	二丁目 13-3	医療施設	○	○	
12	のぞみ記念下田循環器・腎臓クリニック	高馬 147-1	医療施設	○	○	○
13	稲生沢こども園	立野 34	社会福祉施設等		○	

14	ひかり保育園	西中 9-4	社会福祉施設等		○	
15	下田市地域子育て支援センター	敷根 761	社会福祉施設等			○
16	下田小学校放課後児童クラブ	五丁目 3-1	社会福祉施設等	○		○
17	稲生沢小学校放課後児童クラブ	立野 6-1	社会福祉施設等			○
18	朝日地区放課後児童クラブ	吉佐美 544	社会福祉施設等	○		○
19	浜崎小学校放課後児童クラブ	須崎 1785-1	社会福祉施設等			○
20	下田デイサービスセンター	四丁目 1-1	社会福祉施設等	○		
21	デイハウスさとわ	六丁目 24-2	社会福祉施設等			○
22	デイサービス夕凪	二丁目 11-29	社会福祉施設等	○	○	
23	ケアビレッジ下田	五丁目 6-58	社会福祉施設等			○
24	デイサービス銀の鈴	西本郷二丁目 9-10	社会福祉施設等	○	○	○
25	ケアセンターうばめ櫧下田	東本郷二丁目 6-2	社会福祉施設等	○	○	
26	デイサービス銀の鈴西中	西中 5-3	社会福祉施設等		○	
27	イーズケアしもだ	西本郷二丁目 5-20	社会福祉施設等	○	○	

28	特別養護老人ホーム梓の里	加増野 181-1	社会福祉施設等			○
29	ワークあおぞら	宇土金 209-1	社会福祉施設等			○
30	伊豆つくし学園	加増野 375-1	社会福祉施設等			○
31	すぎのこ作業所	加増野 376-4	社会福祉施設等			○
32	第ニすぎのこ作業所わ	相玉 115	社会福祉施設等			○
33	介護老人福祉施設みくらの里	吉佐美 1086	社会福祉施設等			○
34	放課後等デイサービスわたもこ	西本郷１丁目 10 番６　２号	社会福祉施設等	○		
35	わたもこ kids	旧岡方村 696-135	社会福祉施設等			○